

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

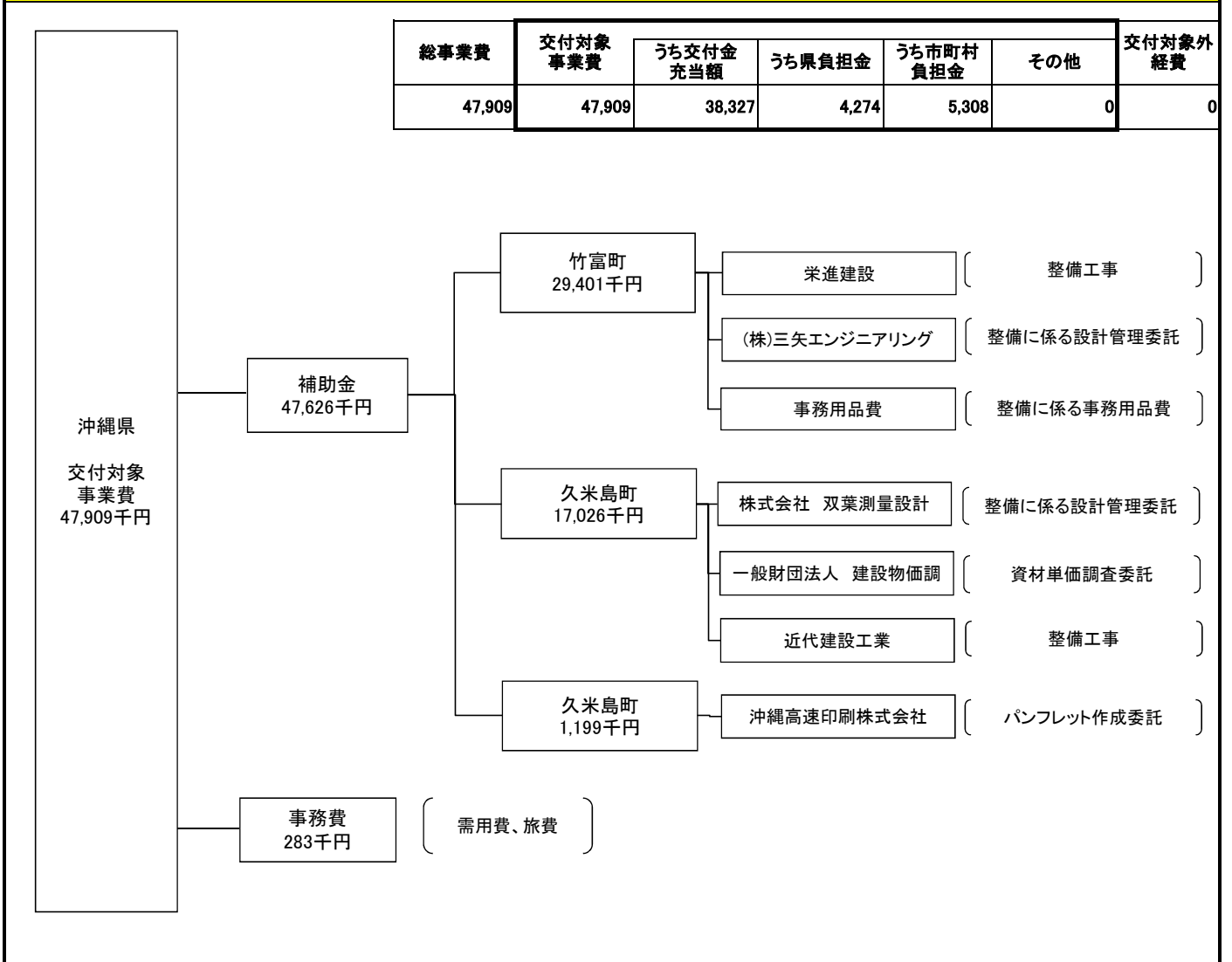
事業番号・事業名	169	環境共生型観光地づくり支援事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	環境に配慮した環境共生型観光を推進し、沖縄観光の持続的発展を図るため、市町村等の行う観光資源の保全、環境教育及び保全活動等や、環境に配慮した観光施設整備に対する支援を行う。 平成25年度は、木道、環境教育パンフレットの作成等への補助を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	49,396	—	49,055		
		(b) 予算現額	49,396	—	49,055		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		49,396	—	49,055		
	B. 執行済額		23,033	—	47,909		
	うち交付金充当額		18,427	—	38,327		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		46.6%	—	97.7%		
予算の状況の説明		計画通りに執行された。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・環境保全施設整備	目標	2箇所	2箇所			
		実績	1箇所	2箇所			
	・保全活動等支援数	目標	2地域	2地域			
		実績	1地域	1地域			
達成状況説明	竹富町と久米島町にて木道を整備した。久米島町では木道整備と連携した教育用パンフレットを作成した。活動支援が計画2地域に対し1地域となったが、必要箇所に効果的な支援が行えた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)
	・環境保全施設整備数2箇所	目標	—	・整備2箇所 ・活動2箇所	・整備2箇所 ・活動2箇所		—
		実績	—	・整備1箇所 ・活動1箇所	・整備2箇所 ・活動1箇所		—
	・保全活動数2地域	目標					
		実績					
	進捗状況説明	竹富町と久米島町にて木道を整備した。久米島町では木道整備と連携した教育用パンフレットを作成した。活動支援が計画2地域に対し1地域となったが、必要箇所に効果的な支援が行えた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設整備については、協働する市町村観光担当課の職員不足など組織的な問題がある。	対象地域の要件は、これまで観光客が訪れることが少なかった地域やすでに観光地として整備されているが、観光客が増加し環境負荷を与えている地域など、環境保全の観点からは必要性は高いが限定的で小規模なため、誘客につながりにくく市町村観光担当部局での取り組みが難しい。 環境保全と利活用のバランスを保つ環境共生型観光の主旨に鑑み、誘客につながる支援体制を検討し、市町村観光担当部局での重点的な人員配置、市町村他部局との連携促進を図る必要がある。

今後の取り組み方針

- ・他部局との連携により、保全意識が高く体験ツアーの質が高い、誘客に繋がる地域を抽出し重点的支援を検討する。
- ・重点的な支援箇所に対し、観光振興の他事業と連携し誘客に結びつく支援体制を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は市町村である。事業申請内容、現地踏査、活動状況等を調査し採択を決定しており妥当であった。 ○予算規模は事業主旨から概ね妥当な規模である。 ○観光利用に対する環境保全に対する公共性の高い事業への補助であり受益者との負担関係は妥当である。 ○事業の主旨に則した費目・使途である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

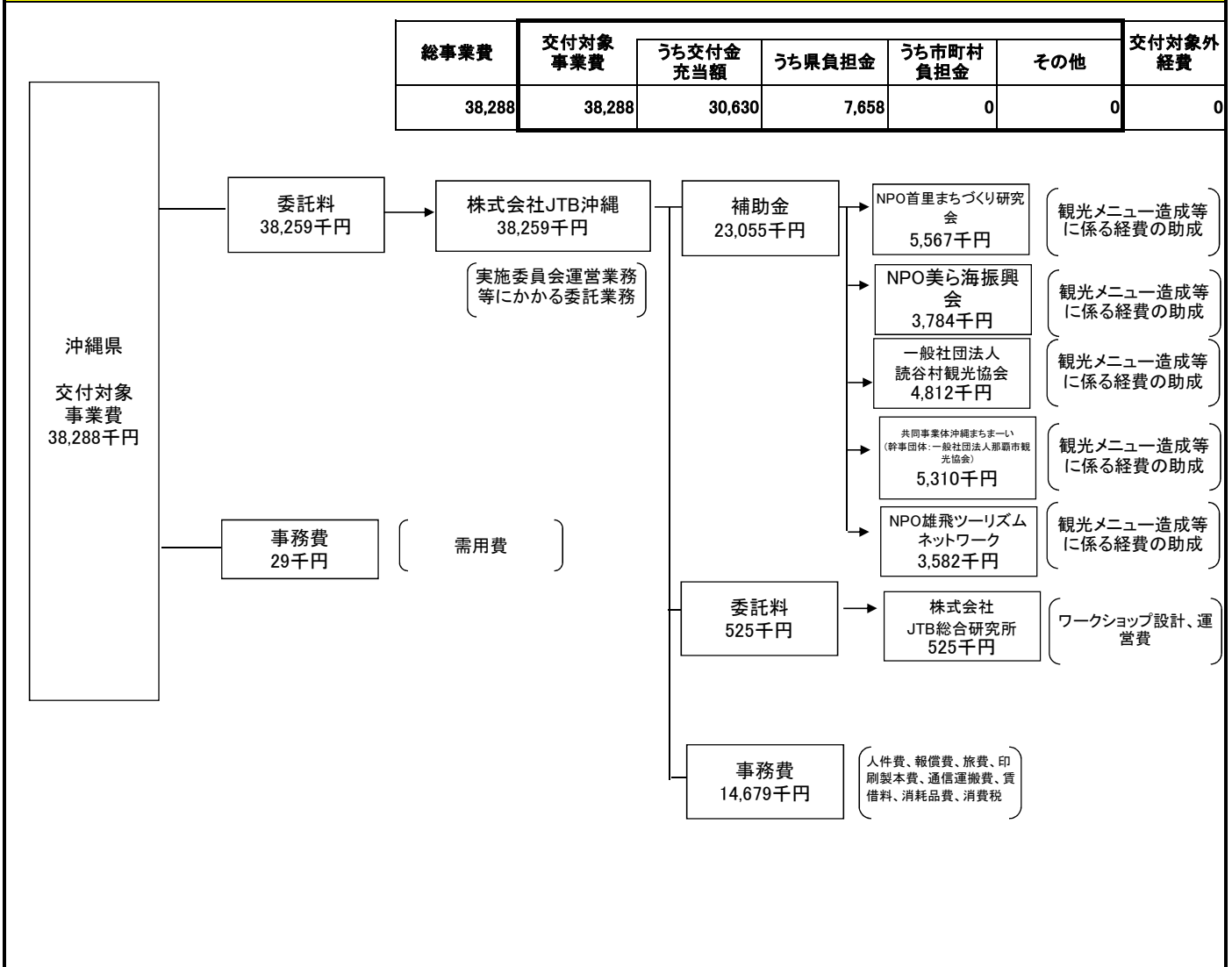
事業番号・事業名	170	地域観光資源創出支援事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア																																																															
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)																																																														
事業内容	多様化する観光客の観光ニーズに対応するため、地域が主体となった新たな観光資源の創出事業等に対して支援を行い、地域における観光メニューの充実を図る。 平成25年度は、①新たな観光資源の創出及びこれらを活用したモニターツアー実施に対する費用の一部補助 ②観光メニュー開発のためのアドバイザー派遣 ③専門家で構成される委員会における事業のブラッシュアップ ④地域の主体的な、新たな観光資源創出への取り組みを啓発するセミナー等の開催 を行う。																																																																		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()																																																																		
予算額・執行額 【単位:千円】	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>24年度(繰越)</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5"> 予算の状況 </td> <td>(a) 当初予算額</td> <td>49,387</td> <td>—</td> <td>47,004</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(b) 予算現額</td> <td>49,387</td> <td>—</td> <td>47,004</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(c) 増減額 (b-a)</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(d) 繰越額</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A. 計 (b+d)</td> <td>49,387</td> <td>—</td> <td>47,004</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"> B. 執行済額 </td> <td></td> <td>34,475</td> <td>—</td> <td>38,288</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち交付金充当額</td> <td>27,580</td> <td>—</td> <td>30,630</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C. 次年度繰越額</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 執行率 (%) (B/A) </td> <td>69.8%</td> <td>—</td> <td>81.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 予算の状況の説明 </td> <td colspan="5"> 助成事業の執行残、委託事業の精算等により、8,716千円の不用額となった。 </td> </tr> </tbody> </table>							24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	予算の状況	(a) 当初予算額	49,387	—	47,004		(b) 予算現額	49,387	—	47,004		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		(d) 繰越額	—	—	—		A. 計 (b+d)	49,387	—	47,004		B. 執行済額		34,475	—	38,288		うち交付金充当額	27,580	—	30,630		C. 次年度繰越額	0	—	0			執行率 (%) (B/A)	69.8%	—	81.5%			予算の状況の説明	助成事業の執行残、委託事業の精算等により、8,716千円の不用額となった。				
	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度																																																														
予算の状況	(a) 当初予算額	49,387	—	47,004																																																															
	(b) 予算現額	49,387	—	47,004																																																															
	(c) 増減額 (b-a)	0	—	0																																																															
	(d) 繰越額	—	—	—																																																															
	A. 計 (b+d)	49,387	—	47,004																																																															
B. 執行済額		34,475	—	38,288																																																															
	うち交付金充当額	27,580	—	30,630																																																															
C. 次年度繰越額	0	—	0																																																																
執行率 (%) (B/A)	69.8%	—	81.5%																																																																
予算の状況の説明	助成事業の執行残、委託事業の精算等により、8,716千円の不用額となった。																																																																		
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況																																																																	
観光資源創出に関する地域事業への支援件数		目標 実績	24年度 5件 5件	25年度 5件 5件	26年度	27年度																																																													
セミナー開催		目標 実績		2回 2回																																																															
達成状況説明	活動目標「観光資源創出に関する地域事業への支援件数」について、予定どおり5件の採択事業数となり、計画どおり事業を執行することができた。採択された各事業は、事業実施者を対象としたワークショップ・講座受講による基礎的知識の習得、アドバイザー支援、複数回のモニターツアー実施、取組に対する実施委員会でのアドバイス、地域によるプロジェクト会議の実施などPDCAを繰り返し、事業のブラッシュアップを図ることで、より魅力的な観光メニューの造成に結びついた。 また、活動目標「セミナー開催」について、予定どおり2回実施することができ、地域主体の着地型観光推進に関して広く普及啓発することができた。																																																																		
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値 (24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (〇〇年度)																																																													
地域資源を活用した新たな観光メニューの開発件数(累計)		目標 実績	— 5件	10件 10件																																																															
セミナー参加者数		目標 実績		100名 136名																																																															
進捗状況説明	活動目標の実施により成果目標について達成することができた。その結果、事業目的である、観光メニューの充実の実現に向けた、地域が主体となった新たな観光資源の創出効果に寄与した。																																																																		

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>旅行者ニーズを踏まえた、地域が主体となった着地型観光の推進を図るべく、本事業では、選定したモデル事業に対し、事業実施に係る経費の一部補助、実施委員会での助言やアドバイザー派遣等による事業のブラッシュアップを行った他、モデル事業実施者を対象とした講座・ワークショップを実施した。さらに、一般参加者を対象としたセミナーを開催した。講座・ワークショップは参加者から好評を得、着地型観光の取り組み推進に結びついたが、モデル事業実施者のみの効果に留まっている。</p>	<p>本事業の効果の更なる向上を図るため、モデル事業実施者以外にも、地域が主体となった着地型観光メニュー開発のノウハウを有した地域観光の担い手を育成し、組織体制の充実を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

県内各地に、広く、地域が主体となった着地型観光推進を啓発すべく、県内自治体、地域観光協会職員等を対象とした人材育成プログラム(講座、ワークショップ等)を開催する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・点検項目	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は企画提案公募により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	174 沖縄観光ブランド形成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア				
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施(予定)年度	平成25~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
事業内容	沖縄が持つ様々な資源を活用し、新たな付加価値を加えた沖縄観光ブランドの形成を図るため、医療ツーリズムの促進、文化資源を活用した観光振興の取組、「沖縄型リゾートダイビング」の構築、外国人向けを含む教育分野における新たな旅行メニューの創出、県内の県内観光の推進、離島観光の振興などにより、魅力あふれる観光を推進する。 平成25年度は、沖縄型医療ツーリズム及び関連ウェルネス産業に取り組む事業者に対するプロモーション活動の促進及び人材育成講座の開催等受入基盤の整備、文化資源を活用した新たな観光客向プログラム(公演)のブラッシュアップや、当該公演に関する情報発信及び観光客の公演会場への円滑な移動(巡回バス等)に関する検討、中央・内各県「沖縄型リゾートダイビング」の構築に向けた取組、新もも教育分野の産品開発の支援及び海外に沖縄の教育関係者の紹介等						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	332,532	—	249,417		
		(b) 予算現額	332,532	—	249,417		
		(c) 増減額(b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計(b+d)	332,532	—	249,417		
	執行状況	B. 執行済額	299,005	—	222,196		
		うち交付金充当額	239,204	—	177,757		
		C. 次年度繰越額	0	—	0		
	執行率(%) (B/A)	89.9%	—	89.1%			
予算の状況の説明	事業者支援の採択件数の減、商品化支援事業の助成にかかる経費の確定減、及び旅費の執行残により当初予算から27,221千円の不用が生じた。 活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて、適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズム受入体制整備への支援	目標	—	支援の実施			
		実績	—	支援の実施			
	沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズムコンテンツ開発への支援	目標	—	支援の実施			
		実績	—	支援の実施			
	リゾートダイビングセミナー実施回数	目標	2回	4回			
		実績	3回	5回			
	新たな教育旅行プログラムの商品化支援	目標	10件	10件			
		実績	12件	11件			
外国の教育関係者との相互交流回数	目標	6回	6回				
	実績	8回	7回				
国内・海外ブライダルフェアにおけるプロモーション	目標	—	6件				
	実績	—	14件				
・文化資源を活用した新たな観光コンテンツづくり	目標	40公演	40公演				
	実績	35公演	40公演				
・環境基盤を実証的・段階的に整備(交通機関の実証、にぎわいづくり等)	目標		環境基盤を実証的・段階的に整備				
	実績		環境基盤を実証的・段階的に整備				
達成状況説明	【医療ツーリズム・プラットフォーム形成事業】 ・受入体制整備への支援として、中国語、英語について言語の習得レベル別に実施し計88名を対象に医療関連語学講座の開催を行った。また、2医療機関に対し、計20名を対象に医療機関出張講座を開催した。また、昨年度、当事業において、医療通訳の派遣に係る手法の検討を実施しており、将来的に医療ツーリズムを拡大させる上で必要な受入体制の整備に向けた取り組みを行った。 ・コンテンツ開発への支援として、7件の応募のうち、1件は不採択とし、また1件が申請を取り下げたため結果的に5件の支援にとどまった。 【沖縄型リゾートダイビング戦略モデル構築事業】 先進地における受入体制の調査や、事業者への直接ヒアリング等及び観光統計調査等から分析を行い、本県における課題を明らかにするとともに、経営者及びダイバーを対象とした人材育成セミナー等を開催し、ダイバー受入に関する理解を深めるなど、一定の成果が上げられた。 【エデュケーション・ツーリズム推進事業】 新たな教育旅行プログラムの商品化支援は、県内事業者に公募したところ、15件の応募があり、選定審査委員会が審査した結果、11件を採択し支援を行うこととなった。(のち、1件は途中辞退があった) 外国の教育関係者との相互交流は、県内小・中・高校に公募したところ、6件の応募があり、全てを採択した。また、海外の学校の受入れ・交流を実施する学校について、1校を選定し、合計7校の交流を行った。 よって、両活動目標とも達成することができた。 【沖縄リゾートウェディング誘致強化事業】 14件のフェア等における来場者総数は、186万人に及ぶ。他事業と連携してプロモーション地域を増やすだけでなく、海外で最も組数が多い香港市場で旅行社現地研修を開催すること等を通して、沖縄リゾートウェディング商品を取扱う旅行代理店等の販売力の強化を図った。フェア等のイベント出展に限らず、顧客に直接働きかけられる費用対効果の高いプロモーションや、販路拡大に向けた県内事業者及び県外の代理店の販売力強化のための取組みを強化していくことが今後重要となる。 【文化観光戦略推進事業】 定時・定期的な公演実施を目指し、国立劇場おきなわ(小劇場)を中心として、40公演を実施した。 二次交通円滑化を目指し、モルレー駅などを巡回する巡回バスサービスや団体チャーターバスサービスの導入にかかる実証を行った。 重点的なセールスプロモーションに取り組むことで、旅行代理店でパッケージ商品を組成するとともにチケットの販売を取り扱うなど、これまでの手売りだけでなく新たな販売ネットワークが確立できた。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (27年度)
			目標	-	-	体制強化	
沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズム受入体制強化		実績	-	-	体制強化		-
		目標	-	-	4件		18件
沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズムコンテンツ開発数		実績	-	-	5件		-
		目標	-	-	120人		
リゾートダイビングセミナーの参加者		実績	-	-	156人		
		目標	-	3件	3件		15件
支援した新たな教育旅行プログラムの商品化実現数		実績	-	6件	10件		-
		目標	-	-	45人		135人
海外からの学校交流受入人数(累計)		実績	-	19人	29人		-
		目標	9,118組	-	10,500組		
沖縄リゾートウエディング挙式組数		実績	-	-	10,921組		
		目標	-	5,000人	5,000人		
・文化資源を活用したマグネットコンテンツの観客動員数		実績	-	5,194人	5,905人		
		進捗状況説明 【医療ツーリズム・プラットフォーム形成事業】 受入体制強化として、医療関連語学講座(英語・中国語)を開催するとともに、医療通訳の派遣に係る手法の検討を行った。事業者支援については7件の応募があったが1件を不採択とし、また、1件が途中で申請を取り下げたため、結果的に5件の支援となった。 【沖縄型リゾートダイビング戦略モデル構築事業】 経営者及びダイバーを対象とした人材育成セミナー等を開催して参加者が目標(120人)を上回り、ダイバー受入に関する理解を深めるなど一定の成果が上げられた。 【エデュケーショナル・ツーリズム推進事業】 商品化支援については、申請前の時点から相談を受けアドバイスを行う支援を行い、新たな教育旅行プログラムの商品化実現数は、目標3件に対して10件となった。相互交流支援については、海外からの学校交流受入人数(累計)目標45人に対して29人であった。平成25年度は、海外から来沖した学校が1校と少なかったことが要因である。 【沖縄リゾートウエディング誘致強化事業】 当取組みは順調に計画値を達成しており、目標値を達成する可能性は十分にある。リゾートウエディングは経済効果も高く、今後の伸びしろも大きい。将来的に沖縄観光振興にますます貢献することが見込まれるため、積極的に推進していくべき施策である。 ※沖縄リゾートウエディング統計調査結果は沖縄県ホームページにおいて公表 http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/yuchi/h25wedding2.html 【文化観光戦略推進事業】 ホームページ作成やFacebookを活用したプロモーション、その他テレビ・ラジオCMだけでなく、国際通り大型ビジョンを活用したプロモーションや機内誌への特集記事の掲載など、様々なプロモーションを実施した。継続したプロモーションを実施することで、公演そのものだけでなく演出家の認知度も向上した。これにより、誘客に繋げることが出来た。					

H25-No.174

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>【医療ツーリズム・プラットフォーム形成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療ツーリズムに対応すべく、医療分野に係る外国語対応を意識しながら、一般外国人観光客の救急医療にも対応できるような受入体制の構築を図っていくことで、安心かつ安全な旅行地としての観光ブランド形成を図る。 <p>【沖縄型リゾートダイビング戦略モデル構築事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県では、受入側である地域のダイビング事業者間の連携に不足が見られることから、ダイビング事業者である経営者及び従業員を対象としたセミナー等を実施し、事業者間で認識を共有するなど、連携強化を図る必要がある。 <p>【エデュケーショナル・ツーリズム推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品化支援については、事業者がもつノウハウ・コンテンツについて、顧客のニーズや、売り手の視点を意識したうえで、より訴求力のある商品づくりを行うことが今後の課題となる。 相互交流については、海外から沖縄へ来る学校数を増やすことが課題となる。 <p>【沖縄リゾートウエディング誘致強化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウエディングは一般観光とは異なり、一生に一度の記念となることから、顧客満足度の向上が特に重要であり、誘客と受入体制強化のバランスを取りながら施策を推進していく必要がある。 ・今後、国内の人口及び婚姻数は減少していくことが予想されるため、沖縄リゾートウエディングの潜在層である若年層や、アニバーサリーウエディングの潜在層である年配層にも響くウエディングの魅せ方を検討していく必要がある。 ・(一社)沖縄リゾートウエディング協会による業界の連携体制構築と、(一財)沖縄観光コンベンションビューローによる観光業界・沖縄リゾートウエディング業界・地域の連携コーディネートを推進していく。 <p>【文化観光戦略推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演のつくり込みおよびプロモーションに十分な時間を確保することができなかった。 ・継続して公演を行っても、マグネットコンテンツとして作り上げることが困難な公演があった。 ・演出家の作品によって、集客に偏りが生じた。 	<p>【医療ツーリズム・プラットフォーム形成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療ツーリズム分野(検診等)については、県内において少なからずプレイヤーが存在するものの、純粋な医療ツーリズム(治療等)となると、日本の医療制度の状況も含め、誘客拡大にあたっては、まだハードルがある。 ・ウェルネス分野についても、単に健康に良いという括りではなく、検診や治療等との関連性を重視し、体質改善に繋がるコンテンツを重点的に開拓していくなど、将来的に健康保養型や外国人観光客にとって安心安全な観光地としてのブランド形成につながるよう取組む必要がある。 <p>【沖縄型リゾートダイビング戦略モデル構築事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界水準のダイビングリゾート沖縄」に向けて、方向性及び課題、今後の取り組みについての協議を更に促進させる必要がある。 ・多くの県内ダイビング事業者が参画できるような受入体制の整備に取り組む必要がある。 <p>【エデュケーショナル・ツーリズム推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品化支援については、熟度の高い商品企画の応募を増加させるため、支援を希望する企業に対し、申請前の時点から相談を受け、本事業の趣旨、支援スキーム等の理解を促進させるとともに、事業計画のブラッシュアップ等をアドバイスできる体制の充実が必要である。 相互交流については、沖縄の学校を受け入れた海外の学校への来沖の働きかけに加え、参加学校の新規開拓を行うことを検討する。 <p>【沖縄リゾートウエディング誘致強化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーションを継続実施する一方で、顧客満足度調査や受け皿となる県内事業者の人材確保、特に海外への安定的販路獲得に取り組む必要がある。 ・顧客満足度アンケート等により、顧客のニーズを把握し、施策に反映させる。 ・国の基金事業の活用により、現場の人材確保・育成に取組み、顧客満足度の向上に繋げる。 ・インバウンドについて、各国・地域のリゾートウエディング市場についてのマーケティングに基づくプロモーション及び商談会等を実施することにより、県内事業者の海外販路開拓に取り組む。 ・リゾートウエディング客の滞在期間延長・消費額向上に向けた関係者連携の場が必要である。 <p>【文化観光戦略推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早い時期から事業に取り組む、十分な準備期間を確保する必要がある。 ・継続して今年度も上演し、ブラッシュアップを図る公演の取捨選択をする必要がある。 ・作品の質そのもので集客の偏りがでたというよりも、演出家・出演者の支持母体や販売ネットワークの有無が大きく影響していると考えられるため、新たなチケット販売ネットワークを構築する必要がある。

今後の取り組み方針

【医療ツーリズム・プラットフォーム形成事業】
 ・従来、当事業で実施してきた医療通訳講座による人材育成は、他の観光人材育成関連事業を活用することとし、当事業では海外からの検診や治療目的の旅行の促進及び外国人観光客の救急医療対応も念頭においた、専門性の高い医療通訳の派遣や人材養成に特化して受入体制整備を進める。

【沖縄型リゾートダイビング戦略モデル構築事業】
 ・事業者間の連携に不足がみられることから、ワーキンググループ等や連絡体制の構築による地域間の情報共有の推進等により、地域間の連携強化に努めるとともに、平成25年度の調査報告をもとに新たなビジネスモデル戦略の構築を検討し、国内外からのダイビング客の誘客増加を意識した受入体制の整備を進める。

【エデュケーショナル・ツーリズム推進事業】
 商品化支援については、前年度までに実施した助成事業から手法を変更し、商品化を目指す事業者と、旅行会社等具体的に旅行商品を販売する事業者とをマッチングさせる取組を実施する。

相互交流支援については、海外からの教育旅行を受け入れる環境を早期に整えるため、交流可能学校を可能な限り早期に増加させる必要がある。沖縄県内の参加学校を公募する際、海外に行くだけでなく受入対応が可能な学校を優先的に選定する。また、事業のさらなる周知を図り、新規で参加する学校を増やす。

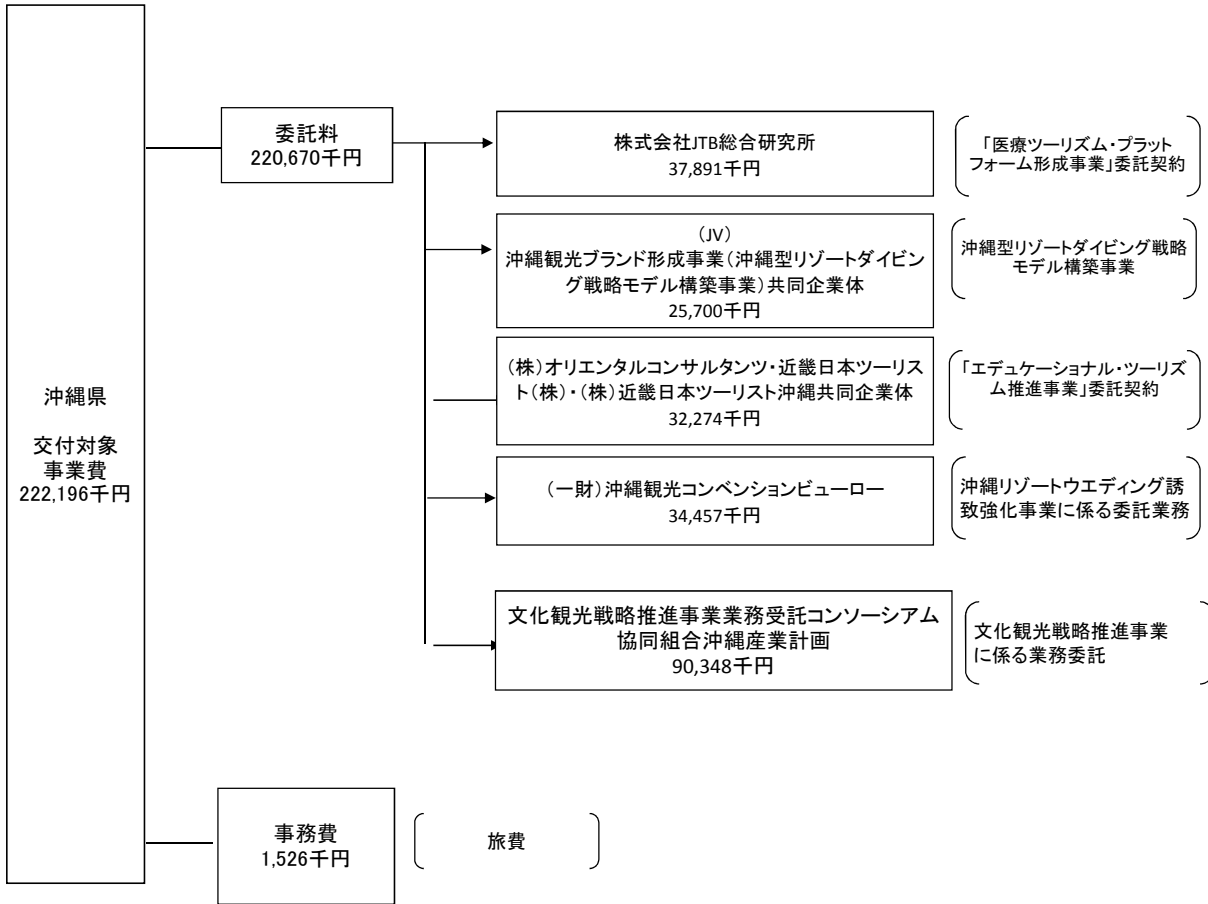
【沖縄リゾートウェディング誘致強化事業】
 ・顧客満足度アンケート等により、顧客のニーズを把握し、施策に反映させる。
 ・国の基金事業の活用により、現場の人材確保・育成に取組み、顧客満足度の向上に繋げる。
 ・世界各国・地域におけるリゾートウェディング市場動向調査により、マーケティングに基づくプロモーション施策を展開する。
 ・商談会等の開催により、県内事業者の海外販路開拓に取り組む。
 ・情報共有に留まらず、地域経済活性化に向けた連携の視点から関係者の連携を促進する。

【文化観光戦略推進事業】
 ・早い時期(4月)に事業に着手し、準備時間を十分に確保することで、公演の作り込み、効果的なプロモーションを実施する。
 ・昨年度実施した公演の継続について、取捨選択を行い、継続公演は更なるブラッシュアップを図る一方で、新たな演出家の掘り起こしを行い、公演制作を支援する。
 ・新たなチケット販売ネットワークを構築したものの、当該ネットワークを活用したチケット販売に繋がらなかったため、チケット販売まで繋げることができるようプロモーションを行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
222,196	222,196	177,757	44,439	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各細事業にて、過去の実績等に基づき委託先を選定しており、妥当と考えている。 ・費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	174-1	沖縄観光ブランド形成事業(医療ツーリズム・プラットフォーム形成事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア																																																																
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	平成 25 ~ 27 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)																																																															
事業内容	沖縄型医療ツーリズム(健診・検診や治療を目的とした旅行及び医療と親和性の高い「長寿」「癒やし」「体質改善」「健康」などに関連したウェルネスツーリズム等を含む。)に取り組む県内事業者・医療機関及び関連旅行商品を造成する県内旅行社などに対して、プロモーション費、情報発信ツール作成費等の助成支援を行う。あわせて、医療通訳などの人材育成を通して、外国人観光客の緊急時医療にも対応可能な「安心・安全」な観光地としてのブランド構築を図る。																																																																			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()																																																																			
予算額・執行額【単位:千円】	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;"></th> <th style="width:15%;">24年度</th> <th style="width:15%;">24年度(繰越)</th> <th style="width:15%;">25年度</th> <th style="width:15%;">26年度</th> <th style="width:15%;">27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5"> 予算の状況 </td> <td>(a) 当初予算額</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">42,455</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(b) 予算現額</td> <td></td> <td style="text-align: right;">42,455</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(c) 増減額 (b-a)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(d) 繰越額</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A. 計 (b+d)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">42,455</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">B. 執行済額</td> <td></td> <td style="text-align: right;">37,969</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> うち交付金充当額</td> <td></td> <td style="text-align: right;">30,376</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">C. 次年度繰越額</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">執行率 (%) (B/A)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">89.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 予算の状況の説明 </td> <td colspan="4"> 事業者支援の採択件数の減及び旅費の執行残により、当初予算から 4,486千円の不要が生じた。 </td> </tr> </tbody> </table>							24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	予算の状況	(a) 当初予算額	-	42,455			(b) 予算現額		42,455			(c) 増減額 (b-a)	0	-	0		(d) 繰越額	-	-	-		A. 計 (b+d)	0	-	42,455		B. 執行済額			37,969			うち交付金充当額			30,376			C. 次年度繰越額		0	-	0		執行率 (%) (B/A)		-	-	89.4%		予算の状況の説明		事業者支援の採択件数の減及び旅費の執行残により、当初予算から 4,486千円の不要が生じた。			
	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度																																																															
予算の状況	(a) 当初予算額	-	42,455																																																																	
	(b) 予算現額		42,455																																																																	
	(c) 増減額 (b-a)	0	-	0																																																																
	(d) 繰越額	-	-	-																																																																
	A. 計 (b+d)	0	-	42,455																																																																
B. 執行済額			37,969																																																																	
うち交付金充当額			30,376																																																																	
C. 次年度繰越額		0	-	0																																																																
執行率 (%) (B/A)		-	-	89.4%																																																																
予算の状況の説明		事業者支援の採択件数の減及び旅費の執行残により、当初予算から 4,486千円の不要が生じた。																																																																		
活動目標(指標)及び達成状況	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width:30%;">H25活動目標(指標)</th> <th colspan="5">達成状況</th> </tr> <tr> <th style="width:10%;"></th> <th style="width:15%;">24年度</th> <th style="width:15%;">25年度</th> <th style="width:15%;">26年度</th> <th style="width:15%;">27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"> 沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズム受入体制整備への支援 </td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>支援の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>支援の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"> 沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズムコンテンツ開発への支援 </td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>支援の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>支援の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 達成状況説明 </td> <td colspan="5"> ・受入体制整備への支援として、中国語、英語について言語の習得レベル別に実施し計88名を対象に医療関連語学講座の開催を行った。また、2医療機関に対し、計20名を対象に医療機関出張講座を開催した。また、昨年度、当事業において、医療通訳の派遣に係る手法の検討を実施しており、将来的に医療ツーリズムを拡大させる上で必要な受入体制の整備に向けた取り組みを行った。 ・コンテンツ開発への支援として、7件の応募のうち、1件は不採択とし、また1件が申請を取り下げたため結果的に5件の支援にとどまった。 </td> </tr> </tbody> </table>						H25活動目標(指標)	達成状況						24年度	25年度	26年度	27年度	沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズム受入体制整備への支援	目標	-	支援の実施			実績	-	支援の実施			沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズムコンテンツ開発への支援	目標	-	支援の実施			実績	-	支援の実施			達成状況説明	・受入体制整備への支援として、中国語、英語について言語の習得レベル別に実施し計88名を対象に医療関連語学講座の開催を行った。また、2医療機関に対し、計20名を対象に医療機関出張講座を開催した。また、昨年度、当事業において、医療通訳の派遣に係る手法の検討を実施しており、将来的に医療ツーリズムを拡大させる上で必要な受入体制の整備に向けた取り組みを行った。 ・コンテンツ開発への支援として、7件の応募のうち、1件は不採択とし、また1件が申請を取り下げたため結果的に5件の支援にとどまった。																											
H25活動目標(指標)	達成状況																																																																			
		24年度	25年度	26年度	27年度																																																															
沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズム受入体制整備への支援	目標	-	支援の実施																																																																	
	実績	-	支援の実施																																																																	
沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズムコンテンツ開発への支援	目標	-	支援の実施																																																																	
	実績	-	支援の実施																																																																	
達成状況説明	・受入体制整備への支援として、中国語、英語について言語の習得レベル別に実施し計88名を対象に医療関連語学講座の開催を行った。また、2医療機関に対し、計20名を対象に医療機関出張講座を開催した。また、昨年度、当事業において、医療通訳の派遣に係る手法の検討を実施しており、将来的に医療ツーリズムを拡大させる上で必要な受入体制の整備に向けた取り組みを行った。 ・コンテンツ開発への支援として、7件の応募のうち、1件は不採択とし、また1件が申請を取り下げたため結果的に5件の支援にとどまった。																																																																			
成果目標(指標)及び進捗状況	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;"></th> <th style="width:10%;"></th> <th style="width:15%;">基準値(24年度)</th> <th style="width:15%;">24年度</th> <th style="width:15%;">25年度</th> <th style="width:15%;">26年度</th> <th style="width:15%;">目標値(27年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"> 沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズム受入体制強化 </td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>体制強化</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>体制強化</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"> 沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズムコンテンツ開発数 </td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>4件</td> <td></td> <td style="text-align: center;">18件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>5件</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td> 進捗状況説明 </td> <td colspan="5"> 受入体制強化として、医療関連語学講座(英語・中国語)を開催するとともに、医療通訳の派遣に係る手法の検討を行った。事業者支援については7件の応募があったが1件を不採択とし、また、1件が途中で申請を取り下げたため、結果的に5件の支援となった。 </td> </tr> </tbody> </table>								基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズム受入体制強化	目標	-	-	体制強化		-	実績	-	-	体制強化		-	沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズムコンテンツ開発数	目標	-	-	4件		18件	実績	-	-	5件		-	進捗状況説明	受入体制強化として、医療関連語学講座(英語・中国語)を開催するとともに、医療通訳の派遣に係る手法の検討を行った。事業者支援については7件の応募があったが1件を不採択とし、また、1件が途中で申請を取り下げたため、結果的に5件の支援となった。																											
		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)																																																														
沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズム受入体制強化	目標	-	-	体制強化		-																																																														
	実績	-	-	体制強化		-																																																														
沖縄型医療(ウェルネス)ツーリズムコンテンツ開発数	目標	-	-	4件		18件																																																														
	実績	-	-	5件		-																																																														
進捗状況説明	受入体制強化として、医療関連語学講座(英語・中国語)を開催するとともに、医療通訳の派遣に係る手法の検討を行った。事業者支援については7件の応募があったが1件を不採択とし、また、1件が途中で申請を取り下げたため、結果的に5件の支援となった。																																																																			

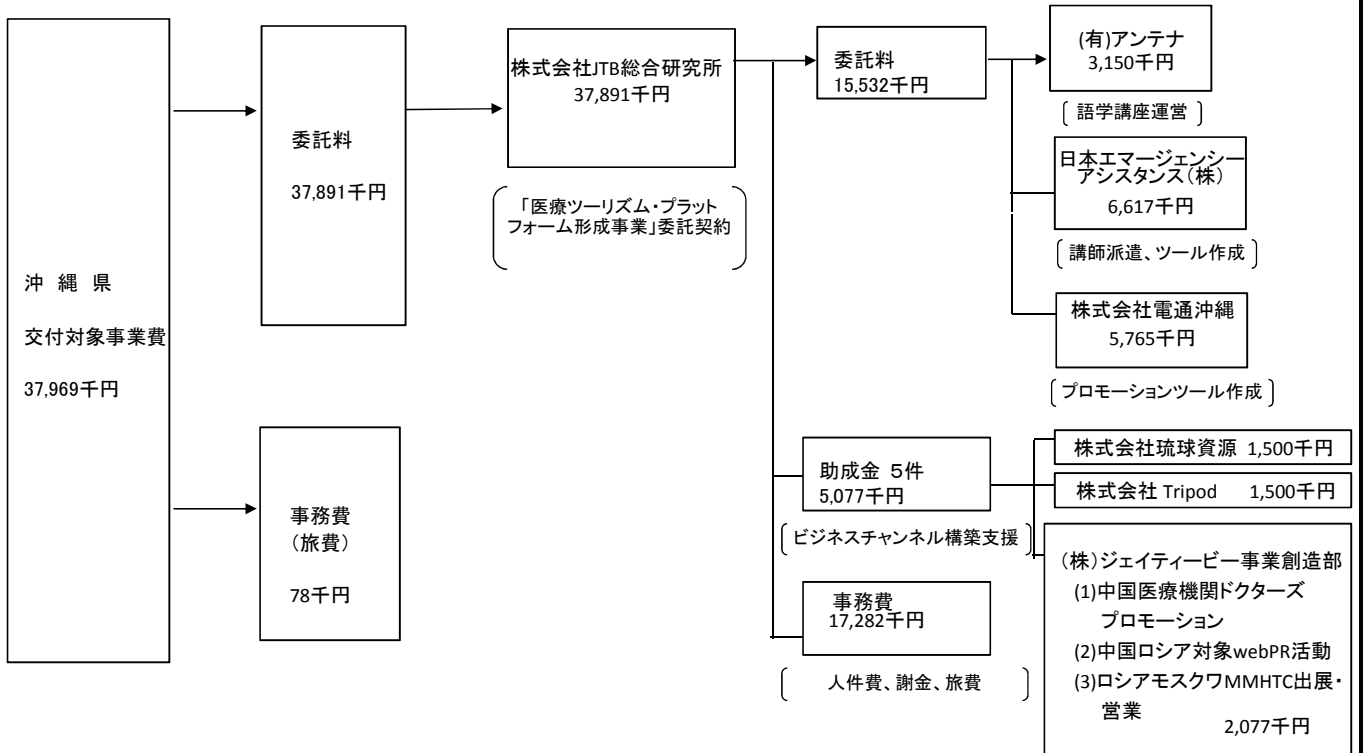
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・医療ツーリズムに対応すべく、医療分野に係る外国語対応を意識しながら、一般外国人観光客の救急医療にも対応できるような受入体制の構築を図っていくことで、安心かつ安全な旅行地としての観光ブランド形成を図る。</p>	<p>・医療ツーリズム分野(検診等)については、県内において少なからずプレイヤーが存在するものの、純粋な医療ツーリズム(治療等)となると、日本の医療制度の状況も含め、誘客拡大にあたっては、まだハードルがある。</p> <p>・ウェルネス分野についても、単に健康に良いという括りではなく、検診や治療等との関連性を重視し、体質改善に繋がるコンテンツを重点的に開拓していくなど、将来的に健康保養型や外国人観光客にとって安心安全な観光地としてのブランド形成につながるよう取組む必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・従来、当事業で実施してきた医療通訳講座による人材育成は、他の観光人材育成関連事業を活用することとし、当事業では海外からの検診や治療目的の旅行の促進及び外国人観光客の救急医療対応も念頭に、専門性の高い医療通訳の派遣や人材養成に特化して受入体制整備を進める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額(80%)	うち県負担金(20%)	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
37,969	37,969	30,376	7,593	0	0	0



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は企画提案公募により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

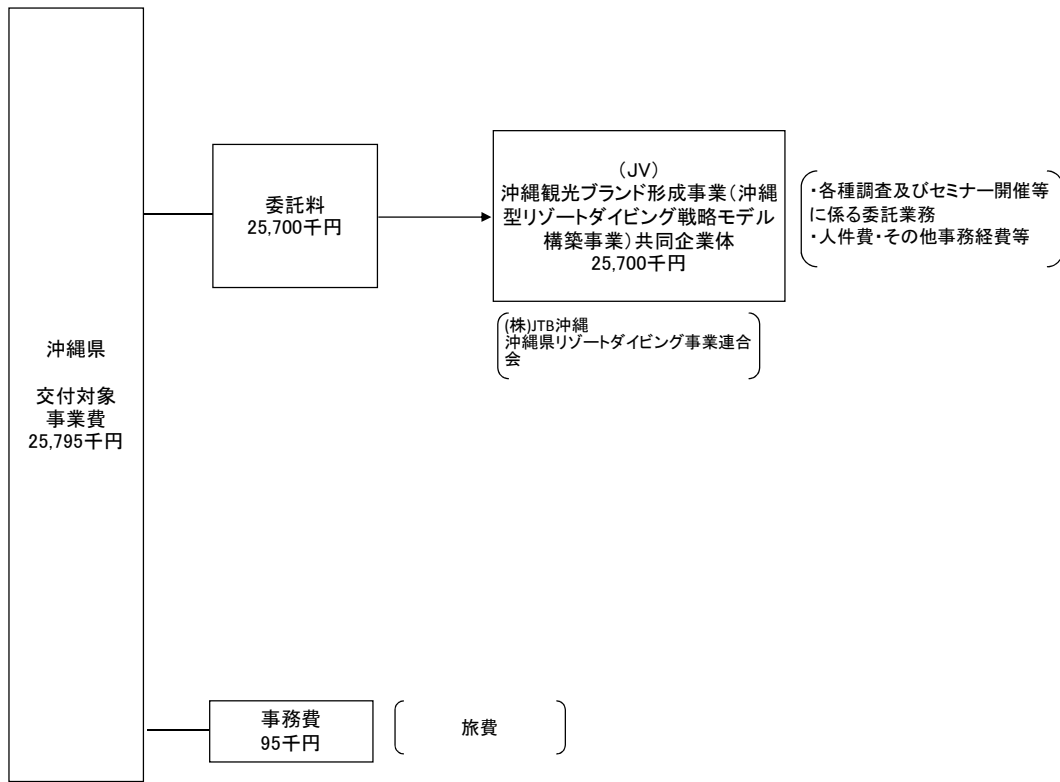
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	174-2 沖縄観光ブランド形成事業(沖縄型リゾートダイビング戦略モデル構築事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア				
担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	<p>安心・安全なダイビングが提供できるような新しい「沖縄型リゾートダイビング」環境を構築し、ダイビング目的の観光客の増加を図る。</p> <p>具体的には、</p> <p>①受入体制の整備 海外や国内の他地域との差別化を図るため、経営者層向けのセミナーやガイドダイバーの人材育成等を行う。</p> <p>②ビジネスモデルの構築 沖縄のダイビングを世界にアピールするため、欧米等からのモニターツアーやセミナーなどを実施し、効果検証を行い事業モデルを構築する。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	58,638	—	26,310		
		(b) 予算現額	58,638	—	26,310		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	58,638	—	26,310		
	執行状況	B. 執行済額	53,777	—	25,795		
		うち交付金充当額	43,022	—	20,636		
		C. 次年度繰越額	0	—	0		
		執行率 (%) (B/A)	91.7%	—	98.0%		
予算の状況の説明	旅費610千円について執行残が515千円あったが、委託費25,700千円については、100%執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	リゾートダイビングセミナー実施回数	目標	2回	4回			
		実績	3回	5回			
	目標	目標	—				
実績		—					
達成状況説明	先進地における受入体制の調査や、事業者への直接ヒアリング等及び観光統計調査等から分析を行い、本県における課題を明らかにするとともに、経営者及びダイバーを対象とした人材育成セミナー等を開催し、ダイバー受入に関する理解を深めるなど、一定の成果が上げられた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(〇〇年度)	
	リゾートダイビングセミナーの参加者	目標	—	—	120人		
		実績	—	—	156人		
	目標	目標	—				
		実績	—				
進捗状況説明	経営者及びダイバーを対象とした人材育成セミナー等を開催して参加者が目標(120人)を上回り、ダイバー受入に関する理解を深めるなど一定の成果が上げられた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・沖縄県では、受入側である地域のダイビング事業者間の連携に不足が見られることから、ダイビング事業従業者である経営者及び従業員を対象としたセミナー等を実施し、事業者間で認識を共有するなど、連携強化を図る必要がある。</p>	<p>・「世界水準のダイビングリゾート沖縄」に向けて、方向性及び課題、今後の取り組みについての協議を更に促進させる必要がある。</p> <p>・多くの県内ダイビング事業者が参画できるような受入体制の整備に取り組む必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・事業者間の連携に不足がみられることから、ワーキンググループ等や連絡体制の構築による地域間の情報共有の推進等により、地域間の連携強化に努めるとともに、平成25年度の調査報告をもとに新たなビジネスモデル戦略の構築を検討し、国内外からのダイビング客の誘客増加を意識した受入体制の整備を進める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
25,795	25,795	20,636	5,159	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	174-3	沖縄観光ブランド形成事業(エデュケーショナル・ツーリズム推進事業)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 沖繩振興基本方針該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
	担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度		平成 24 ~ 26 年度	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	教育分野における沖縄観光の魅力の多様化・高度化を図るため、新たな教育旅行プログラムの商品化を支援するとともに、外国からの教育旅行の誘致に必要となる「学校交流」を実現する環境を整備するため、国内外の学生、教育関係者が互いの地域を訪れる相互交流活動を支援する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	49,979	-	34,607		
		(b) 予算現額	49,979	-	34,607		
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)		49,979	-	34,607		
	B. 執行済額		44,074	-	32,571		
	うち交付金充当額		35,259	-	26,057		
	C. 次年度繰越額		0	-	0		
	執行率 (%) (B/A)		88.2%	-	94.1%		
予算の状況の説明		商品化支援事業の助成にかかる経費の確定減及び旅費の執行残により、当初予算から2,036千円の不要が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	新たな教育旅行プログラムの商品化支援	目標	10件	10件			
		実績	12件	11件			
	外国の教育関係者との相互交流回数	目標	6回	6回			
		実績	8回	7回			
達成状況説明	新たな教育旅行プログラムの商品化支援は、県内事業者に公募したところ、15件の応募があり、選定審査委員会で審査した結果、11件を採択し支援を行うこととなった。(のち、1件は途中辞退があった) 外国の教育関係者との相互交流は、県内小・中・高校に公募したところ、6校の応募があり、全てを採択した。また、海外の学校の受入れ・交流を実施する学校について、1校を選定し、合計7校の交流を行った。 よって、両活動目標とも達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	支援した新たな教育旅行プログラムの商品化実現数	目標	-	3件	3件		15件
		実績	-	6件	10件		-
	海外からの学校交流受入人数(累計)	目標	-	-	45人		135人
実績		-	19人	29人		-	
進捗状況説明	商品化支援については、申請前の時点から相談を受けアドバイスをを行う支援を行い、新たな教育旅行プログラムの商品化実現数は、目標3件に対して10件となった。 相互交流支援については、海外からの学校交流受入人数(累計)目標45人に対して29人であった。平成25年度は、海外から来沖した学校が1校と少なかったことが要因である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>商品化支援については、事業者がもつノウハウ・コンテンツについて、顧客のニーズや、売り手の視点を意識したうえで、より訴求力のある商品づくりを行うことが今後の課題となる。</p> <p>相互交流については、海外から沖縄へ来る学校数を増やすことが課題となる。</p>	<p>商品化支援については、熟度の高い商品企画の応募を増加させるため、支援を希望する企業に対し、申請前の時点から相談を受け、本事業の趣旨、支援スキーム等の理解を促進させるとともに、事業計画のブラッシュアップ等をアドバイスできる体制の充実が必要である。</p> <p>相互交流については、沖縄の学校を受け入れた海外の学校への来沖の働きかけに加え、参加学校の新規開拓を行うことを検討する。</p>

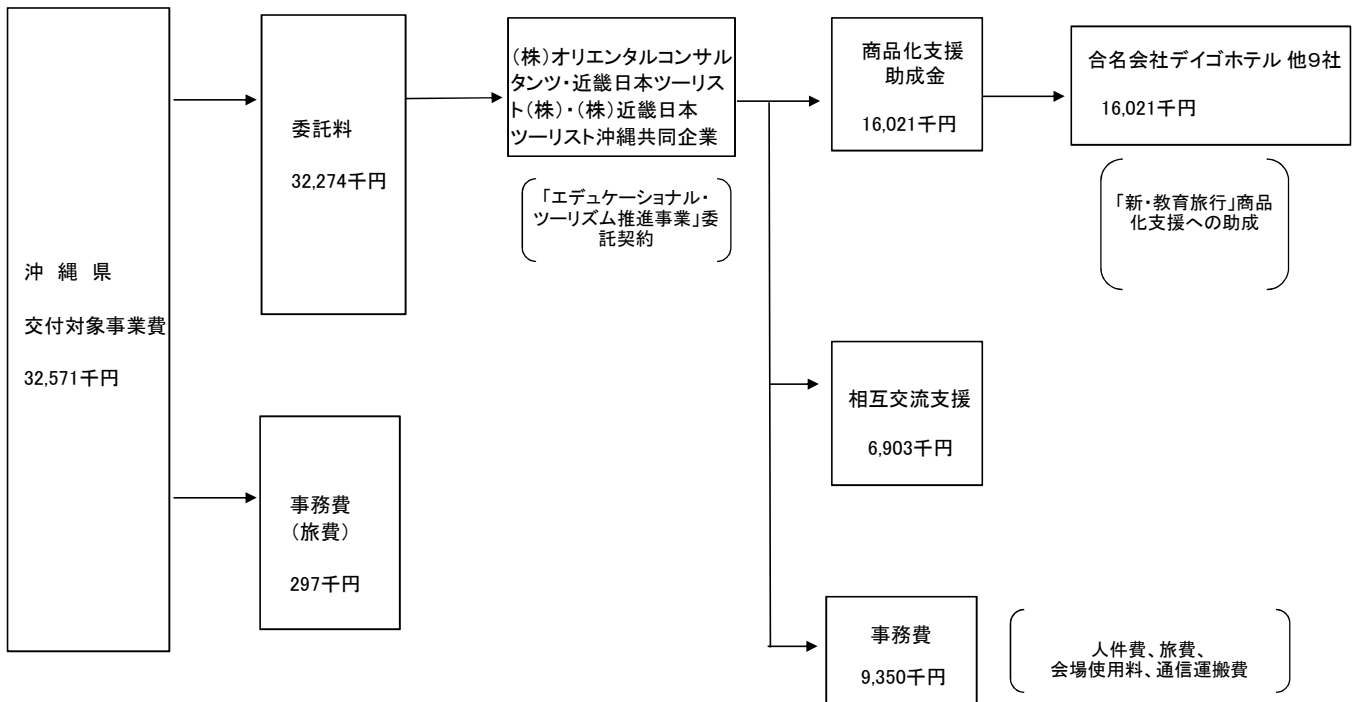
今後の取り組み方針

商品化支援については、前年度までに実施した助成事業から手法を変更し、商品化を目指す事業者と、旅行会社等具体的に旅行商品を販売する事業者とをマッチングさせる取組を実施する。

相互交流支援については、海外からの教育旅行を受け入れる環境を早期に整えるため、交流可能学校を可能な限り早期に増加させる必要がある。沖縄県内の参加学校を公募する際、海外に行くだけでなく受入対応が可能な学校を優先的に選定する。また、事業のさらなる周知を図り、新規で参加する学校を増やす。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
32,571	32,571	26,057	6,514	0	0	0



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察したうえで選定しており、妥当と考える。費目・用途については、額の確定時において、事業目的達成のための必要性等を支出に関する書類等により確認し、適正と判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

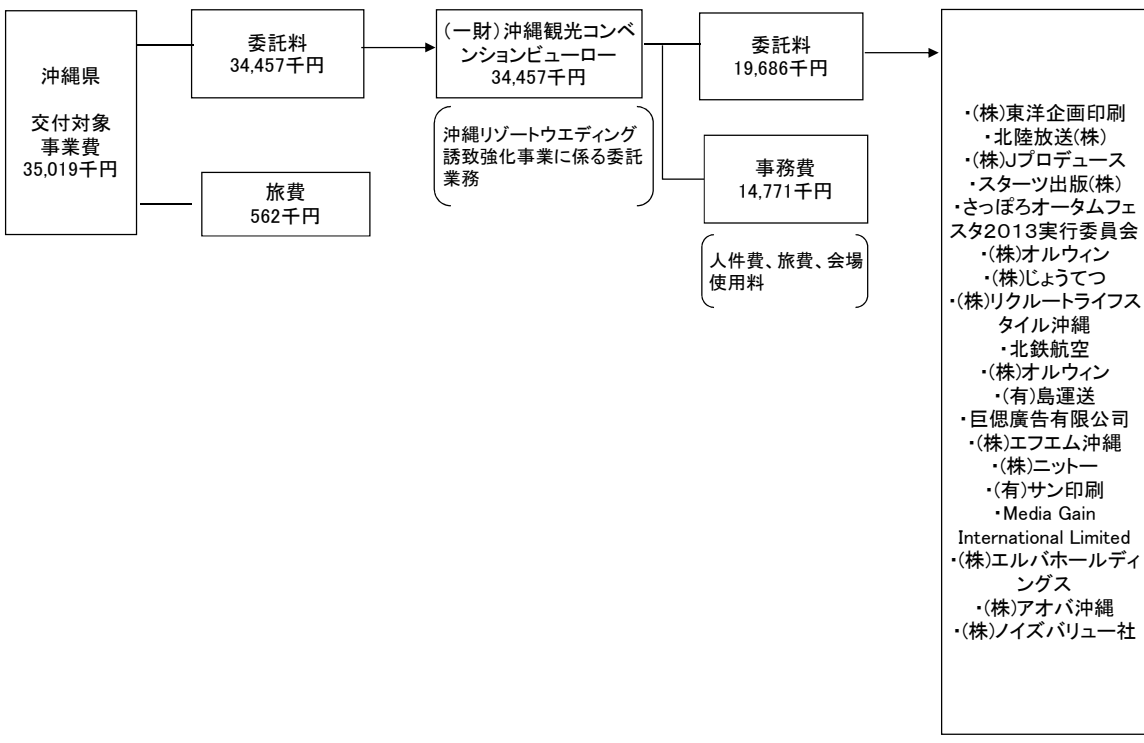
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	174-4 沖縄観光ブランド形成事業(沖縄リゾートウエディング誘致強化事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア			
担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	平成25~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所		国際的な沖縄観光ブランドの確立	
事業内容	<p>沖縄リゾートウエディングの安定需要と発展的市場展開に向け、沖縄リゾートウエディングの「ブランド形成」を図り、入域客数の増加を目的に以下の事業を実施する。</p> <p>①沖縄リゾートウエディングの認知度向上及びPRのための国内外のブライダルフェア開催告知事業の実施 ②継続的な沖縄リゾートウエディングのブランド定着を図るため、各種メディア媒体プロモーション実施 ③外国人カップルに対応した多言語PR素材の作成</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	—	35,019		
		(b) 予算現額	0	—	35,019		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	0	—	—		
		A. 計 (b+d)	0	—	35,019		
	執行額	B. 執行済額	0	—	35,019		
		うち交付金充当額	0	—	28,015		
		C. 次年度繰越額	0	—	0		
		執行率 (%) (B/A)	—	—	100.0%		
予算の状況の説明							
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	国内・海外ブライダルフェアにおけるプロモーション	目標	—	6件			
		実績	—	14件			
		目標	—				
実績		—					
達成状況説明	<p>14件のフェア等における来場者総数は、186万人に及ぶ。他事業と連携してプロモーション地域を増やすだけでなく、海外で最も組数が多い香港市場で旅行社現地研修を開催すること等を通して、沖縄リゾートウエディング商品を取扱う旅行代理店等の販売力の強化を図った。フェア等のイベント出展に限らず、顧客に直接働きかけられる費用対効果の高いプロモーションや、販路拡大に向けた県内事業者及び県外の代理店の販売力強化のための取組みを強化していくことが今後重要となる。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(24年)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年)
	沖縄リゾートウエディング挙式組数	目標	9,118組	—	10,500組	13,000組	
		実績	—	—	10,921組	—	
		目標					
		実績	—				
進捗状況説明	<p>当取組みは単年度毎に目標設定しており、現在順調に計画値を達成している。リゾートウエディングは経済効果も高く、今後の伸びしろも大きいことから、将来的に沖縄観光振興にますます貢献することが見込まれるため、積極的に推進していくべき施策である。</p> <p>※沖縄リゾートウエディング統計調査結果は沖縄県ホームページにおいて公表 http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/yuchi/h25wedding2.html</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ウエディングは一般観光とは異なり、一生に一度の記念となることから、顧客満足度の向上が特に重要であり、誘客と受入体制強化のバランスを取りながら施策を推進していく必要がある。 今後、国内の人口及び婚姻数は減少していくことが予想されるため、沖縄リゾートウエディングの潜在層である若年層や、アニバーサリーウエディングの潜在層である年配層にも響くウエディングの魅せ方を検討していく必要がある。 (一社)沖縄リゾートウエディング協会による業界の連携体制構築と、(一財)沖縄観光コンベンションビューローによる観光業界・沖縄リゾートウエディング業界・地域の連携コーディネートを推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> プロモーションを継続実施する一方で、顧客満足度調査や受け皿となる県内事業者の人材確保、特に海外への安定的販路獲得に取り組む必要がある。 顧客満足度アンケート等により、顧客のニーズを把握し、施策に反映させる。 沖縄県緊急雇用創出事業等臨時特例基金の活用により、現場の人材確保・育成に取組み、顧客満足度の向上に繋げる。 インバウンドについて、各国・地域のリゾートウエディング市場についてのマーケティングに基づくプロモーション及び商談会等を実施することにより、県内事業者の海外販路開拓に取り組む。 リゾートウエディング客の滞在期間延長・消費額向上に向けた関係者連携の場が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度アンケート等により、顧客のニーズを把握し、施策に反映させる。 沖縄県緊急雇用創出事業等臨時特例基金を活用し、現場の人材確保・育成に取組み、顧客満足度の向上に繋げる。 世界各国・地域におけるリゾートウエディング市場動向調査により、マーケティングに基づくプロモーション施策を展開する。 商談会等の開催により、県内事業者の海外販路開拓に取り組む。 情報共有に留まらず、地域経済活性化に向けた連携の視点から関係者の連携を促進する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
35,019	35,019	28,015	7,004	0	0	0



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は沖縄リゾートウエディング関連事業者と連携を図り官民一体となってリゾートウエディングの誘致・促進を行うものであるため、公的性質を持ち、かつ、県のリゾートウエディング関連施策及び全県的なリゾートウエディングに関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。 費目・用途については委託料の検査時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

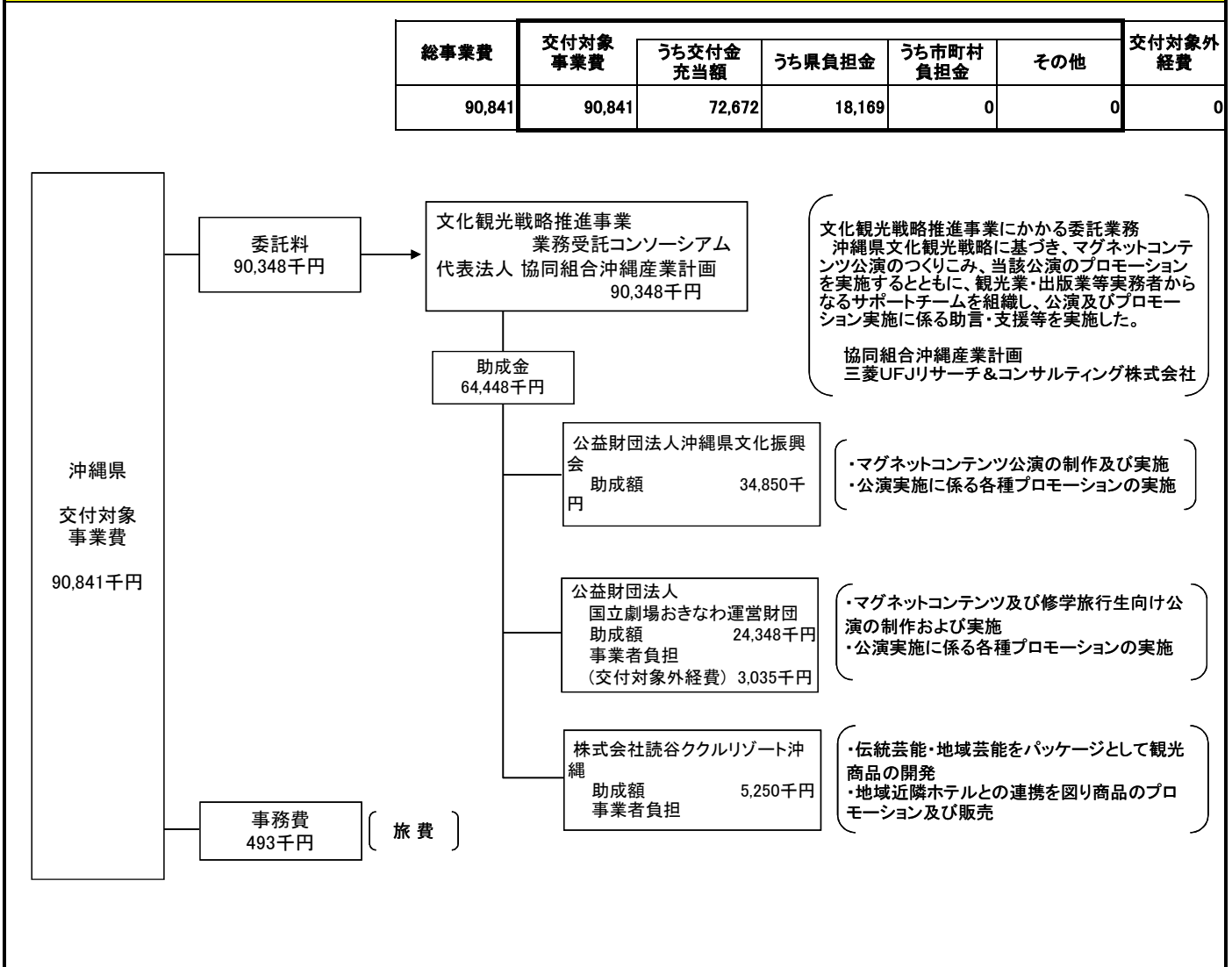
事業番号・事業名	174-5	沖縄観光ブランド形成事業(文化観光戦略推進事業)	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立																																																																									
担当部課名	文化観光スポーツ部 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)																																																																								
事業内容	沖縄が持つ様々な資源を活用し、新たな付加価値を加えた沖縄観光ブランドの形成を図るため、医療ツーリズムの促進、文化資源を活用した観光振興の取組、「沖縄型リゾートダイビング」の構築、外国人向けを含む教育分野における新たな旅行メニューの創出、県民の県内観光の推進、離島観光の振興などにより、魅力あふれる観光を推進する。 平成25年度は、文化資源を活用した新たな観光客向プログラム(公演)のブラッシュアップや、当該公演に関する情報発信及び観光客の公演会場への円滑な移動(巡回バス等)に関する検証等を実施する。																																																																												
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()																																																																												
予算額・執行額【単位:千円】	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>24年度</th> <th>24年度(繰越)</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5"> 予算の状況 </td> <td>(a) 当初予算額</td> <td>112,053</td> <td>—</td> <td>111,026</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(b) 予算現額</td> <td>112,053</td> <td>—</td> <td>111,026</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(c) 増減額 (b-a)</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(d) 繰越額</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A. 計 (b+d)</td> <td>112,053</td> <td>—</td> <td>111,026</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"> 予算の状況の説明 </td> <td>B. 執行済額</td> <td>102,103</td> <td>—</td> <td>90,841</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち交付金充当額</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>72,672</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C. 次年度繰越額</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 執行率 (%) (B/A) </td> <td>91.1%</td> <td>—</td> <td>81.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7"> 公演助成事業において一定以上の入場料収入が確保出来たことに伴う助成金の減額及び、公演事業の事業実績の減による執行減 </td> </tr> </tbody> </table>								24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	予算の状況	(a) 当初予算額	112,053	—	111,026			(b) 予算現額	112,053	—	111,026			(c) 増減額 (b-a)	0	—	0			(d) 繰越額	—	—	—			A. 計 (b+d)	112,053	—	111,026			予算の状況の説明	B. 執行済額	102,103	—	90,841			うち交付金充当額	0	—	72,672			C. 次年度繰越額	0	—	0			執行率 (%) (B/A)		91.1%	—	81.8%			公演助成事業において一定以上の入場料収入が確保出来たことに伴う助成金の減額及び、公演事業の事業実績の減による執行減						
		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度																																																																							
予算の状況	(a) 当初予算額	112,053	—	111,026																																																																									
	(b) 予算現額	112,053	—	111,026																																																																									
	(c) 増減額 (b-a)	0	—	0																																																																									
	(d) 繰越額	—	—	—																																																																									
	A. 計 (b+d)	112,053	—	111,026																																																																									
予算の状況の説明	B. 執行済額	102,103	—	90,841																																																																									
	うち交付金充当額	0	—	72,672																																																																									
	C. 次年度繰越額	0	—	0																																																																									
執行率 (%) (B/A)		91.1%	—	81.8%																																																																									
公演助成事業において一定以上の入場料収入が確保出来たことに伴う助成金の減額及び、公演事業の事業実績の減による執行減																																																																													
活動目標(指標)及び達成状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">H25活動目標(指標)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">達成状況</th> </tr> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"> ・文化資源を活用した新たな観光コンテンツづくり </td> <td>目標</td> <td>40公演</td> <td>40公演</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>35公演</td> <td>40公演</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"> ・環境基盤を実証的・段階的に整備(交通機関の実証、にぎわいづくり等) </td> <td>目標</td> <td></td> <td>環境基盤を実証的・段階的に整備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>環境基盤を実証的・段階的に整備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成状況説明</td> <td colspan="5"> 定時・定常的な公演実施を目指し、国立劇場おきなわ(小劇場)を中心として、40公演を実施した。 二次交通円滑化を目指し、モノレール駅などを巡回する巡回バスサービスや団体チャーターバスサービスの導入にかかる実証を行った。 重点的なセールスプロモーションに取り組むことで、旅行代理店でパッケージ商品を組成するとともにチケットの販売を取り扱うなど、これまでの手売りだけでなく新たな販売ネットワークが確立できた。 </td> </tr> </tbody> </table>						H25活動目標(指標)		達成状況				24年度	25年度	26年度	27年度	・文化資源を活用した新たな観光コンテンツづくり	目標	40公演	40公演			実績	35公演	40公演			・環境基盤を実証的・段階的に整備(交通機関の実証、にぎわいづくり等)	目標		環境基盤を実証的・段階的に整備			実績		環境基盤を実証的・段階的に整備			達成状況説明	定時・定常的な公演実施を目指し、国立劇場おきなわ(小劇場)を中心として、40公演を実施した。 二次交通円滑化を目指し、モノレール駅などを巡回する巡回バスサービスや団体チャーターバスサービスの導入にかかる実証を行った。 重点的なセールスプロモーションに取り組むことで、旅行代理店でパッケージ商品を組成するとともにチケットの販売を取り扱うなど、これまでの手売りだけでなく新たな販売ネットワークが確立できた。																																					
H25活動目標(指標)		達成状況																																																																											
		24年度	25年度	26年度	27年度																																																																								
・文化資源を活用した新たな観光コンテンツづくり	目標	40公演	40公演																																																																										
	実績	35公演	40公演																																																																										
・環境基盤を実証的・段階的に整備(交通機関の実証、にぎわいづくり等)	目標		環境基盤を実証的・段階的に整備																																																																										
	実績		環境基盤を実証的・段階的に整備																																																																										
達成状況説明	定時・定常的な公演実施を目指し、国立劇場おきなわ(小劇場)を中心として、40公演を実施した。 二次交通円滑化を目指し、モノレール駅などを巡回する巡回バスサービスや団体チャーターバスサービスの導入にかかる実証を行った。 重点的なセールスプロモーションに取り組むことで、旅行代理店でパッケージ商品を組成するとともにチケットの販売を取り扱うなど、これまでの手売りだけでなく新たな販売ネットワークが確立できた。																																																																												
成果目標(指標)及び進捗状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">H25成果目標(指標)</th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">基準値</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>目標値(〇〇年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・文化資源を活用したマグネットコンテンツの観客動員数 </td> <td>目標</td> <td>—</td> <td>5,000人</td> <td>5,000人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td>—</td> <td>5,194人</td> <td>5,905人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"> 進捗状況説明 </td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7"> ホームページ作成やFacebookを活用したプロモーション、その他テレビ・ラジオCMだけでなく、国際通り大型ビジョンを活用したプロモーションや機内誌への特集記事の掲載など、様々なプロモーションを実施した。 継続したプロモーションを実施することで、公演そのものだけでなく演出家の認知度も向上したことにより、誘客に繋げることが出来た。 </td> </tr> </tbody> </table>						H25成果目標(指標)		基準値	24年度	25年度	26年度	目標値(〇〇年度)	・文化資源を活用したマグネットコンテンツの観客動員数	目標	—	5,000人	5,000人				実績	—	5,194人	5,905人			進捗状況説明	目標						実績						ホームページ作成やFacebookを活用したプロモーション、その他テレビ・ラジオCMだけでなく、国際通り大型ビジョンを活用したプロモーションや機内誌への特集記事の掲載など、様々なプロモーションを実施した。 継続したプロモーションを実施することで、公演そのものだけでなく演出家の認知度も向上したことにより、誘客に繋げることが出来た。																																				
H25成果目標(指標)		基準値	24年度	25年度	26年度	目標値(〇〇年度)																																																																							
			・文化資源を活用したマグネットコンテンツの観客動員数	目標	—	5,000人	5,000人																																																																						
	実績	—	5,194人	5,905人																																																																									
進捗状況説明	目標																																																																												
	実績																																																																												
ホームページ作成やFacebookを活用したプロモーション、その他テレビ・ラジオCMだけでなく、国際通り大型ビジョンを活用したプロモーションや機内誌への特集記事の掲載など、様々なプロモーションを実施した。 継続したプロモーションを実施することで、公演そのものだけでなく演出家の認知度も向上したことにより、誘客に繋げることが出来た。																																																																													

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・公演のつくり込みおよびプロモーションに十分な時間を確保することができなかった。 ・継続して公演を行っても、マグネットコンテンツとして作り上げるのが困難な公演があった。 ・演出家の作品によって、集客に偏りが生じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早い時期から事業に取り組み、十分な準備期間を確保する必要がある。 ・継続して今年度も上演し、ブラッシュアップを図る公演の取捨選択をする必要がある。 ・作品の質そのもので集客の偏りがでたというよりも、演出家・出演者の支持母体や販売ネットワークの有無が大きく影響していると考えられるため、新たなチケット販売ネットワークを構築する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・早い時期(4月)に事業に着手し、準備時間を十分に確保することで、公演の作り込み、効果的なプロモーションを実施する。
- ・昨年度実施した公演の継続について、取捨選択を行い、継続公演は更なるブラッシュアップを図る一方で、新たな演出家の掘り起こしを行い、公演制作を支援する。
- ・新たなチケット販売ネットワークを構築したものの、当該ネットワークを活用したチケット販売に繋がらなかったため、チケット販売まで繋げることができるようプロモーションを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○本事業は平成23年度に策定された「文化観光戦略」に基づく推進事業として実施しているが、当該戦略においてH24年度からH26年度を重点プロジェクトの実施期間と位置づけられている。当該重点プロジェクトを効果的・効率的に推進するためには、前年度の事業成果や課題等を踏まえ継続的に事業を推進させる必要があることから、随意契約により前年度と同一業者との契約を締結した。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

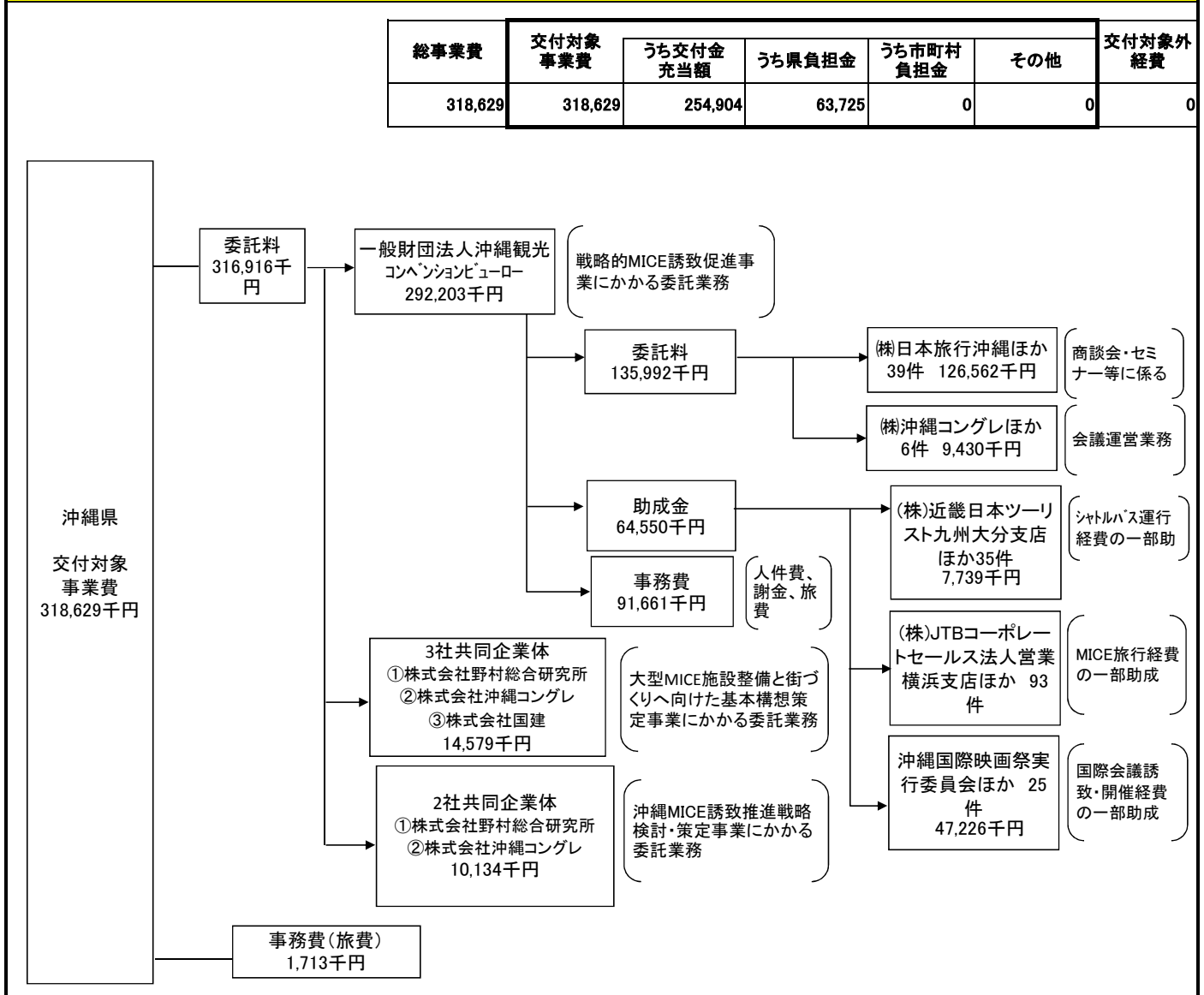
事業番号・事業名	177	戦略的MICE誘致促進事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	MICE市場の拡大・多様化を目的に、①商談会・見本市参加、セミナー開催等の誘致・広報活動、②シャトルバス運行支援、歓迎式典開催・芸能団派遣等の開催支援、③受入体制整備拡充、④MICE戦略策定等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	310,354	—	353,963		
		(b) 予算現額	616,433	—	353,963		
		(c) 増減額 (b-a)	306,079	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		616,433	—	353,963		
	B. 執行済額		569,742	—	318,629		
	うち交付金充当額		455,794	—	254,904		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		92.4%	—	90.0%		
予算の状況の説明		35,334千円の不用額が生じており、その主な原因として助成金の交付対象となる団体からの申請数が少なかったため執行残となった。ただし、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	プロモーション実施国・地域数	目標	4件	18件			
		実績	8件	26件			
	MICE開催支援件数(歓迎支援)	目標	100件	100件			
		実績	279件	188件			
	MICE戦略(誘致・受入・人材育成)の検討・策定	目標		戦略検討・策定			
		実績		戦略検討・策定			
	大型MICE施設整備と街づくりに向けた基本構想策定	目標		基本構想策定			
		実績		基本構想策定			
達成状況説明	国内外のMICEパイヤー向け見本市・商談会に26件出展し、MICE開催地としての沖縄の認知度向上を図った。また、芸能アトラクション派遣や空港歓迎式典の実施等のMICE開催支援(歓迎支援)を188件実施し、沖縄でのMICE開催決定を誘引するとともに、沖縄県内で開催されるMICEの質の向上・参加者増加に寄与した。 MICE戦略(誘致・受入・人材育成)及び大型MICE施設整備と街づくりに向けた基本構想を検討・策定した。 ※大型MICE施設整備と街づくりに向けた基本構想については、沖縄県ホームページにおいて公表 http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/kihonkousou_gaiyou_h26.html						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (H23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (H33年度)
	MICE開催件数	目標	—	544件	565件		1,000件 (33年度)
		実績	486件	531件	558件		—
	MICE参加者数	目標	—	74,138人	91,500人		200,000人 (33年度)
		実績	66,195人	85,963人	131,207人		—
	進捗状況説明	海外・県外・県内それぞれにおける誘致活動や開催支援により、MICE開催件数及びMICE参加者数は概ね目標を達成できた。これにより、国内、海外からの新たな需要の取り込みに成功し、沖縄MICE産業の発展に寄与した。 なお、MICE参加者数の増加の主な要因として、第6回沖縄国際映画祭への参加者数の大幅増が考えられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> MICEの開催ニーズは年々多種多様化してきており、今後も変化することが推測される。 県内関連業者や県民におけるMICE受入体制が整備されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 常にMICE市場の動向を把握・分析するマーケティング活動が必要である。 MICE受入の基礎となるMICE対応人材の拡充や、参加者の満足度向上に繋がる体制整備が必要である。

今後の取り組み方針

・これまでの商談案件やキーパーソン情報をデータベース化し、誘致活動に活用していく。
 ・官民の枠を超えた県内MICE関係者の協働体制のあり方について検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れの点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れの点検・費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 本事業はMICE関連事業者等と連携を図り官民一体となってMICEの誘致・促進を行うものであるため、公的性質を持ち、かつ、県のMICE関連施策及び全県的なMICEに関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。 費目・使途については委託料の検査時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	190	スポーツツーリズム戦略推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア			
担当部課名	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	沖縄観光の新たな魅力の創出や着地型観光の拡充を目的とし、スポーツの活用により観光を推進・活性化するスポーツ・ツーリズムを沖縄に根付かせるためのモデル事業と連携した誘客促進等の実施と新たなスポーツ・ツーリズム受入体制の整備を行う。 平成25年度は、これまでの取組のほか、新たにワンストップサービス構築への補助とスポーツ観光誘客のプロモーション等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	373,996	—	480,682		
		(b) 予算現額	373,996	—	480,682		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	373,996	—	480,682		
		B. 執行済額	353,022	—	437,877		
		うち交付金充当額	282,418	—	350,302		
		C. 次年度繰越額	0	—	0		
		執行率 (%) (B/A)	94.4%	—	91.1%		
	予算の状況の説明	スポーツツーリズム戦略推進事業: スポーツイベントに対する助成金額が、当初の予定より下回ったため不用が生じたものである。 スポーツアイランド受入体制整備事業: スポーツコミッション沖縄(仮称)のPR等のために予定していた、印刷製本費の執行について、WEB構築等の委託費で対応できたことによる経費節減によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	スポーツイベント支援の実施	目標	6件	6件			
		実績	9件	10件			
	離島等スポーツイベント支援の実施	目標	10件	10件			
		実績	22件	26件			
	誘客プロモーションの実施件数	目標	—	10件			
		実績	—	15件			
	スポーツキャンプ受入支援及び広報・宣伝の実施	目標	20件	27件			
		実績	20件	27件			
ワンストップサービス構築	目標	—	1件				
	実績	—	1件				
達成状況説明	○スポーツツーリズム戦略推進事業: 新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるなど、スポーツイベントの定着化を図られるよう、支援枠を設定して、スポーツイベントの支援を行った。また、市町村及びスポーツ団体等を対象にセミナー等を開催しスポーツツーリズムの意識啓発を行った。 ○離島等スポーツ交流活性化事業: 琉球ゴールデンキングスを活用したバスケットボール教室、交流試合を多良間島、伊良部島、竹富島、小浜島、黒島、波照間島、与那国島、来間島、石垣島で実施。FC琉球を活用したサッカー教室、交流試合を伊江島、南大東島、伊是名島、北大東島、伊平屋島、石垣島で実施。各種スポーツ選手を活用したスポーツ教室を鳩間島、伊良部島、西表島、久高島、津堅島、伊平屋島、小浜島で実施。 児童・生徒だけでなく、離島のスポーツ関係者を対象に講習を行うなど、より効果的な実施に努めた。より多くの離島でのスポーツ教室が行えるよう事業開始時期を早めた。また、受託事業者間で、実施する場所が重ならないよう、調整を行った。 ○スポーツ観光誘客促進事業: 沖縄のスポーツ環境をPRするため、スポーツロゴを作成し、本ロゴを活用した統一的なプロモーション展開を図り、PR効果を高め、さらに、DVD、ポスター、ガイドブックなどのプロモーションツールを作成し、それを見本市等で活用するなど、各プロモーションが相関しながらプロモーションを実施した。 ○スポーツキャンプ訪問観光促進事業: キャンプ来訪へのPR活動、広報・宣伝プロ野球キャンプ情報WEBサイトの構築、情報発信拠点の設置を行い、キャンプ来訪者の利便性の向上を図るとともに、新規誘客に向けた広報・宣伝を行った。 ○スポーツアイランド受入体制整備事業: ワンストップサービス構築のため、沖縄観光コンベンションビューローへの補助金交付とともに、受入体制を構築するうえで、重要な競技団体関係を構築するために、沖縄県体育協会など関係機関との連携を図るなどして、効果的な実施						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値 (24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (26年度)
	スポーツイベントの支援件数	目標	—	6件	6件	
	実績	—	9件	10件		—
離島等スポーツイベント支援件数	目標	10件	10件	10件		27件
	実績	22件	22件	26件		—
誘客プロモーションの実施件数	目標	—	—	10件		—
	実績	—	—	15件		—
キャンプ受入市町村との協同ブース出展数	目標	9件	9件	9件		10件
	実績	9件	9件	9件		10件
スポーツコミッション沖繩(仮称)設立準備事務局の立ち上げ	目標	—	—	1件		—
	実績	—	—	1件		—
[参考指標] モデル事業による県外・海外からの参加者数	目標	—	2,500人	2,500人		2,500人
	実績	—	1,041人	2,105人		—
進捗状況説明	<p>○スポーツツーリズム戦略推進事業:新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し、2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるなど、スポーツイベントの定着化を図れるよう、支援枠を設定して、スポーツイベントの支援を行った。市町村及びスポーツ団体等を対象にセミナー等を開催しスポーツツーリズムの意識啓発を行った。県外・海外からの集客に対してより積極的に取り組めるよう、新たな誘客に資する取組に対して支援を行った。10件のイベントを実施し、県外集客人数が合計で2千人を超えるなど、一定の成果があった。</p> <p>○離島等スポーツ交流活性化事業:多くの離島で、スポーツ教室、交流試合を通して、成果目標を達成した。当事業の実施にあたり、地元教育委員会や、学校、競技団体の協力を得ることができ、事業目的であるスポーツ・ツーリズム受入時の地域連携や、スポーツへの理解・関心呼び起こすことに寄与した。</p> <p>○スポーツ観光誘客促進事業:沖繩のスポーツ環境をPRするためにプロモーションツールを作成し、見本市等により、県外・海外で出店等を行い、本県のスポーツ環境PRに一定程度寄与できた。</p> <p>○スポーツキャンプ訪問観光促進事業:関係機関との連携・協力を強化したことで、受入市町村、スポーツキャンプ実施団体、野球関係企業等との協同の取り組みを実施することができ、キャンプ期間中の魅力的な旅行商品や、コンテンツを開発することができた。</p> <p>○スポーツアイランド受入体制整備事業:スポーツコミッション沖繩(仮称)の平成27年度本格稼働に向けてOCVB内に準備事務局を設置し、県外からのスポーツキャンプ合宿等の問い合わせ等に対する、きめ細かな対応が図られた。</p>					

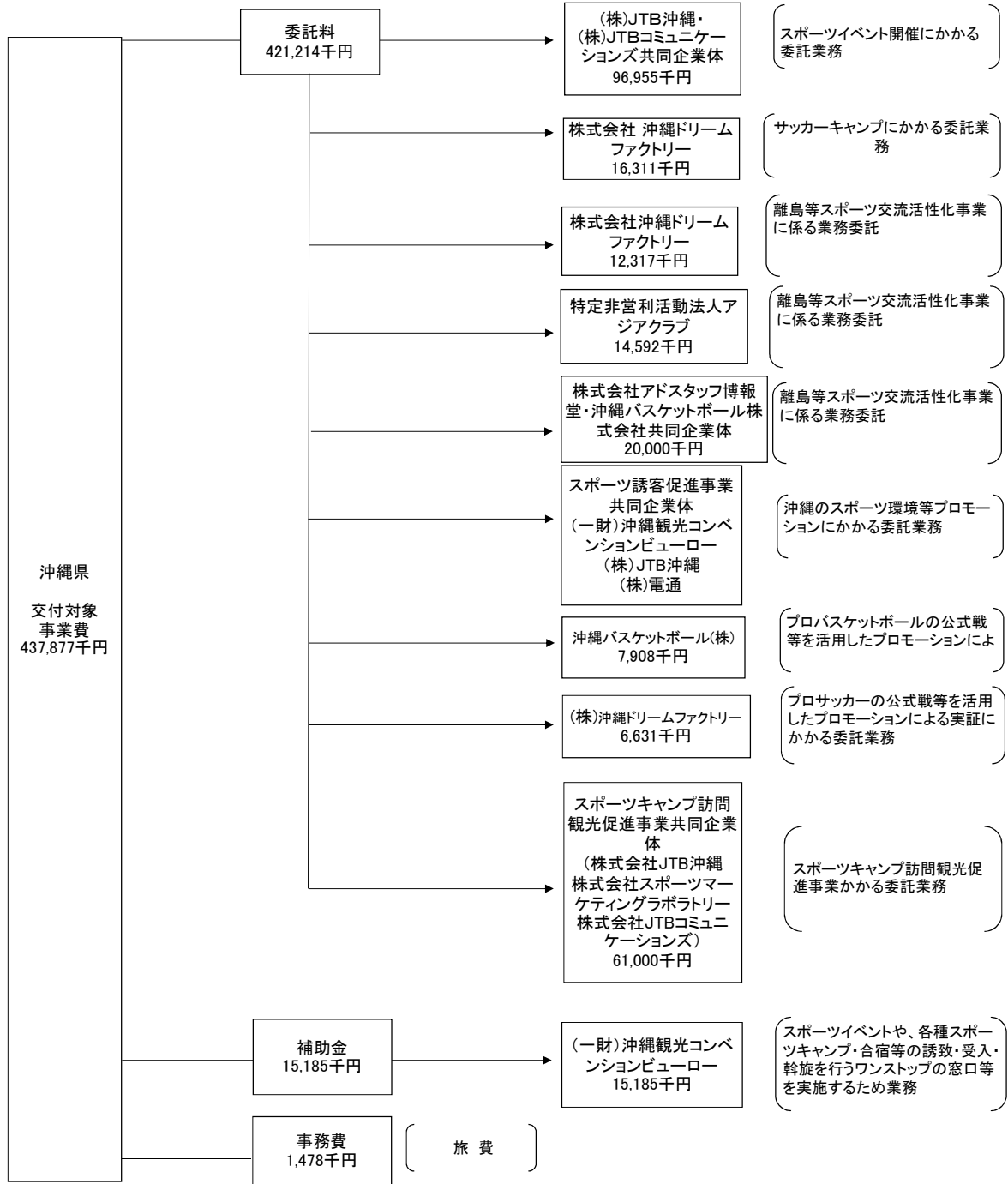
H25-No.190

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<p>○スポーツツーリズム戦略推進事業:スポーツイベント開催にあたって、各種競技団体や関係市町村との連携は、イベントの定着化を図るうえで重要である。</p> <p>○離島等スポーツ交流活性化事業:離島でのスポーツ教室や交流の受入れについては、教育委員会や学校、競技団体との協力体制が不可欠であるが、平成25年度について、協力体制は良好であった今後は、上記以外の関係者も、積極的に参加を促す取り組みが必要。</p> <p>○スポーツ観光誘客促進事業:スポーツの見本市等における出展などのスポーツ環境プロモーションを通じた、スポーツアイランド沖繩PRは、一定程度の効果はあったが、県内のスポーツ環境の認知度向上を図るためのプロモーションは今後も重要である。</p> <p>○スポーツキャンプ訪問観光促進事業:スポーツキャンプ受入れ市町村や、スポーツキャンプ実施団体等に事前のヒヤリングを行い、より効果的に事業が執行できるよう図った。</p> <p>今後は、スポーツキャンプ集積地ならではの取り組みが必要である。キャンプを活用した誘客等については、キャンプ実施主体や受入れ市町村、関係者との協力が不可欠であるが、球団、県、市町村との連携が不十分である。</p> <p>○スポーツアイランド受入体制整備事業:スポーツコンベンションの誘致によるスポーツが持つ集客効果が期待できるが、効果的に誘致・受入を行う組織体制が整っていないのが現状である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○スポーツツーリズム戦略推進事業:定着化に向けた取組を促進するため、市町村及び関係団体を対象としたイベント実施事業者による取組事例発表を行う。</p> <p>○離島等スポーツ交流活性化事業:平成26年度は、離島関係者とスポーツチーム・団体等とのネットワークの強化を促し、事業の継続性等に向けた地元離島等との協力関係の構築等を図ることとしている。</p> <p>○スポーツ観光誘客促進事業:今後は、bjリーグの琉球ゴールデンキングス、J3リーグのFC琉球、ハンドボールの琉球コラソンなど、県内のプロチーム等の知名度を活かし、各チームの県外で開催される公式戦を活用したプロモーションを図り、沖繩のスポーツアイランド沖繩の認知度向上に努める。</p> <p>○スポーツキャンプ訪問観光促進事業:事業実施前に各市町村、スポーツキャンプ実施団体等との意見交換等を実施し、スポーツキャンプを活用した新規誘客や地域活性の取り組みについての認識、課題等を共有することで、より効果的な事業実施に努める。スポーツキャンプを活用した誘客のためには、キャンプ実施団体の協力が不可欠であり、キャンプ実施団体にもメリットのある誘客施策や実施体制が構築できるよう図る。</p> <p>○スポーツアイランド受入体制整備事業:平成25年度に設置した、スポーツコミッション沖繩(仮称)設立準備事務局により、ワンストップ窓口として、沖繩観光コンベンションビューローや沖繩県体育協会等の関連団体との連携を図りやすくとともに、県内外のスポーツ団体にとっての利便性も高め、スポーツコンベンションの誘致及びスポーツツーリズムの競争力を強化する。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
437,877	437,877	350,302	87,575	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企画提案方式により実績、実施体制、事業内容等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については額の確定時において支出等に関する書類により確認した上で適正と判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

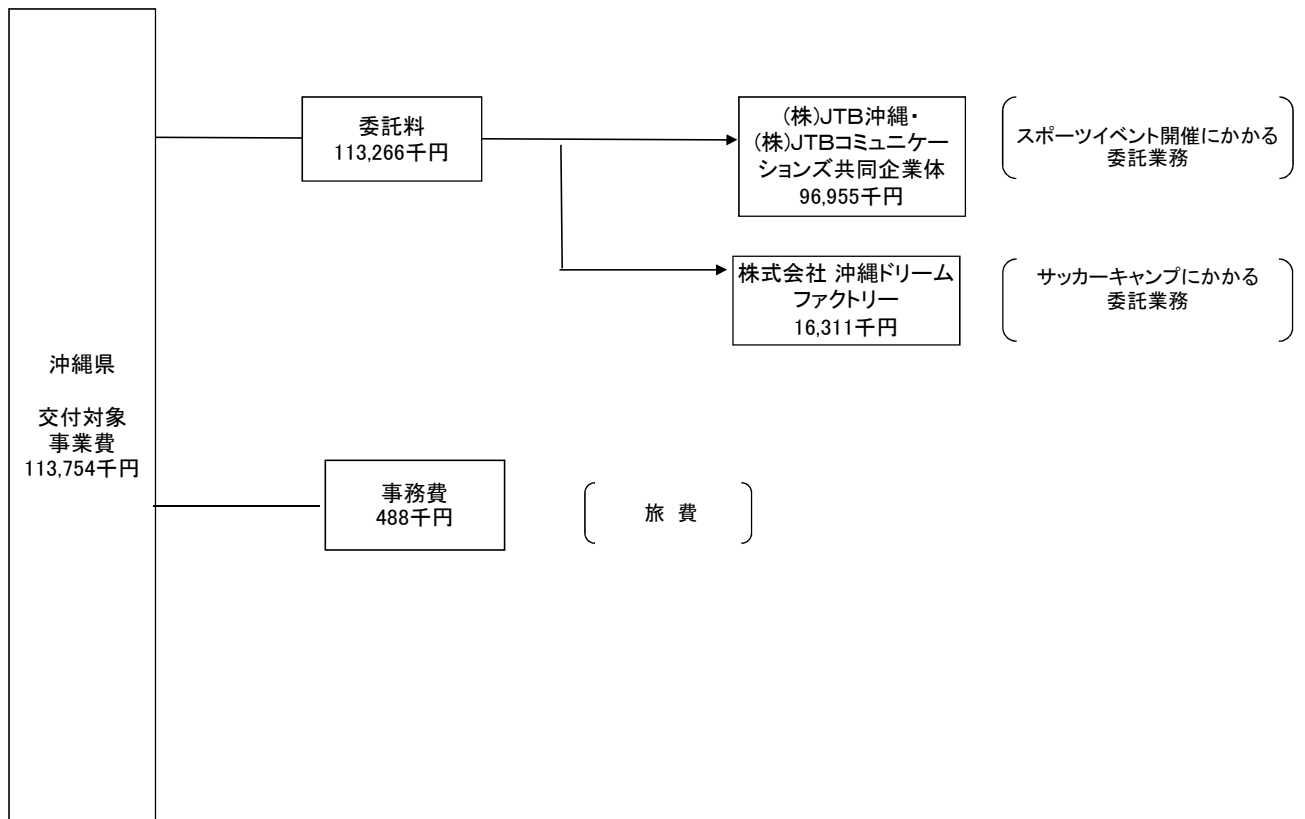
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	190-1	スポーツツーリズム戦略推進事業(スポーツツーリズム戦略推進事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア		
	担当部課名			事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	国際的な沖縄観光ブランドの確立	
文化観光スポーツ部スポーツ振興課					III-1-(1)		
事業内容							
沖縄観光の新たな魅力の創出や着地型観光の拡充を目的とし、スポーツの活用により観光を推進・活性化するスポーツ・ツーリズムを沖縄に根付かせるためのモデル事業と連携した誘客促進等の実施と新たなスポーツ・ツーリズム受入体制の整備を行う。							
実施方法							
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	159,062	-	147,426		
		(b) 予算現額	159,062	-	147,426		
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計 (b+d)	159,062	-	147,426		
	B. 執行済額		146,497	-	113,754		
	うち交付金充当額		0	-	91,004		
	C. 次年度繰越額		0	-	0		
	執行率 (%) (B/A)		92.1%	-	77.2%		
予算の状況の説明		スポーツイベントに対する助成金額が、当初の予定より下回ったため不用が生じたものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	スポーツイベント支援の実施	目標	6件	6件			
		実績	9件	10件			
		目標					
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し、2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるなど、スポーツイベントの定着化を図れるよう、支援枠を設定して、スポーツイベントの支援を行った。 市町村及びスポーツ団体等を対象にセミナー等を開催しスポーツツーリズムの意識啓発を行った。 県外・海外からの集客に対してより積極的に取り組めるよう、新たな誘客に資する取組に対して支援を行った。 10件のイベントを実施し、県外集客人数が合計で2千人を超えるなど、一定の成果があった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
	スポーツイベントの支援件数	目標	-	6件	6件		-
		実績	-	9件	10件		-
	【参考指標】モデル事業による県外・海外からの参加者数	目標	-	2,500人	2,500人		2,500人
		実績	-	1,041人	2,105人		-
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し、2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるなど、スポーツイベントの定着化を図れるよう、支援枠を設定して、スポーツイベントの支援を行った。 また、市町村及びスポーツ団体等を対象にセミナー等を開催しスポーツツーリズムの意識啓発を行った。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・スポーツイベント開催にあたって、各種競技団体や関係市町村との連携は、イベントの定着化を図るうえで重要である。	・新規スポーツイベントの立ち上げを支援するとともに、支援した事業の定着化を図る必要がある。 ・イベント開催にあたっての地域の理解を得るため、関係市町村等にスポーツツーリズムの効果を伝え、理解を深めることが必要である。
今後の取り組み方針		
・定着化に向けた取組を促進するため、市町村及び関係団体を対象にしたイベント実施事業者による取組事例発表を行う。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
113,754	113,754	91,003	22,751	0	0	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企画提案方式により実績、実施体制、事業内容等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・用途については額の確定時において支出等に関する書類により確認した上で適正と判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	190-2	スポーツツーリズム戦略推進事業(離島等スポーツ交流活性化事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア		
			国際的な沖縄観光ブランドの確立				
担当部課名	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針該当箇所		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	離島等で県内スポーツ資源を活用したスポーツ教室の開催や島外の児童生徒とのスポーツ交流などにより、スポーツを通じた離島の活性化を促す。 これらの取り組みにより離島におけるスポーツへの関心や理解を喚起し、スポーツ・ツーリズムに対する理解を深める。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	60,000	-	48,049		
		(b) 予算現額	60,000	-	48,049		
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計 (b+d)	60,000	-	48,049		
	執行率 (%) (B/A)	B. 執行済額	51,815	-	47,113		
		うち交付金充当額	41,452	-	37,690		
		C. 次年度繰越額	0	-	0		
	予算の状況の説明		予算は概ね予定通り執行した。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	離島等スポーツイベント支援の実施	目標	10件	10件			
		実績	22件	26件			
		目標					
		実績					
達成状況説明	琉球ゴールデンキングスを活用したバスケットボール教室、交流試合を多良間島、伊良部島、竹富島、小浜島、黒島、波照間島、与那国島、来間島、石垣島で実施。FC琉球を活用したサッカー教室、交流試合を伊江島、南大東島、伊是名島、北大東島、伊平屋島、石垣島で実施。各種スポーツ選手を活用したスポーツ教室を鳩間島、伊良部島、西表島、久高島、津堅島、伊平屋島、小浜島で実施。 児童・生徒だけでなく、離島のスポーツ関係者を対象に講習を行うなど、より効果的な実施に努めた。 より多くの離島でのスポーツ教室が行えるよう事業開始時期を早めた。また、受託事業者間で、実施する場所が重ならないよう、調整を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
	離島等スポーツイベント支援件数	目標	10件	10件	10件		27件
		実績	22件	22件	26件		
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	多くの離島で、スポーツ教室、交流試合を通して、成果目標を達成した。 当事業の実施にあたり、地元教育委員会や、学校、競技団体の協力を得ることができ、事業目的であるスポーツ・ツーリズム受入時の地域連携や、スポーツへの理解・関心を呼び起こすことに寄与した。					

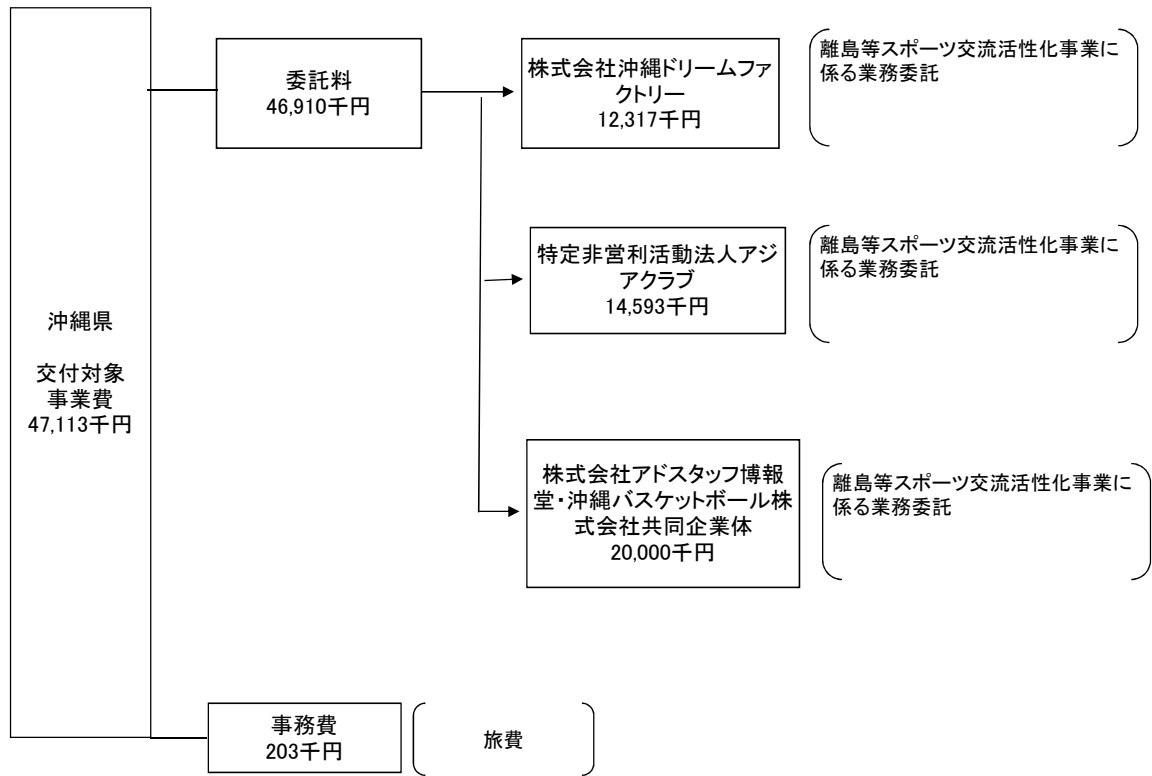
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・離島でのスポーツ教室や交流の受入れについては、教育委員会や学校、競技団体との協力体制が不可欠であるが、平成25年度について、協力体制は良好であった ・今後は、上記以外の関係者も、積極的に参加を促す取り組みが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各離島の団体等が主体的にスポーツコンベンションの企画・運営を行うことが継続的な開催の観点からは望ましい。そのためには、県内のトップアスリートを抱えるスポーツチームや団体等と各離島とのネットワークの強化や、当事業の目的・趣旨に対する理解を促し、民間企業等の支援も獲得するなどの工夫が必要である。

今後の取り組み方針

・平成26年度は、離島関係者とスポーツチーム・団体等とのネットワークの強化を促し、事業の継続性等に向けた地元離島等との協力関係の構築等を図ることとしている。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
47,113	47,113	37,690	9,423	0	0	0



資金の流し、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は企画提案方式により実績、実施体制、事業内容等を助案した上で選定しており、妥当であったと考える。費目・用途については額の確定時において支出等に関する書類により確認した上で適正と判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

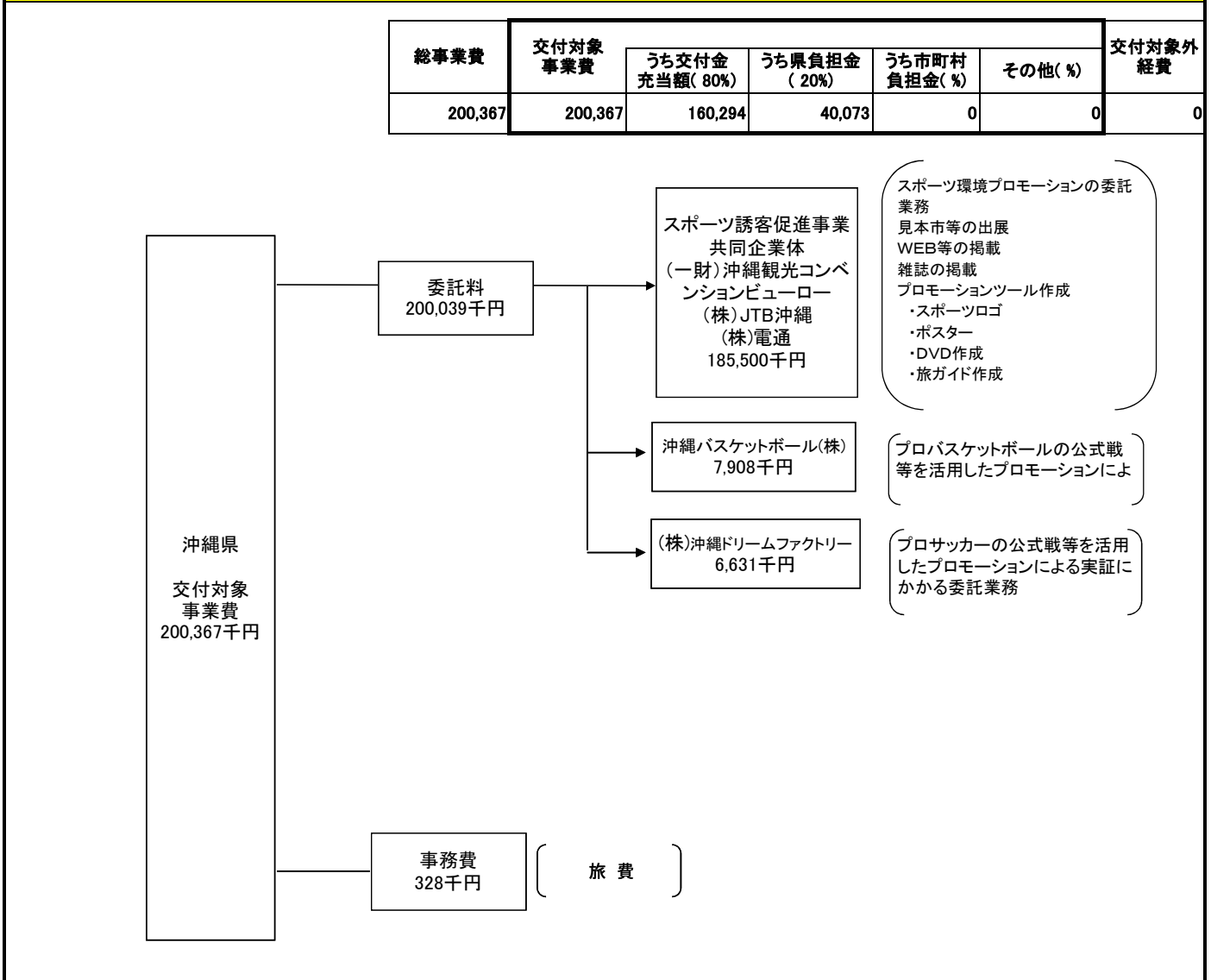
事業番号・事業名	190-3	スポーツツーリズム戦略推進事業(スポーツ観光誘客促進事業)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部課名	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成 25 ~ 27 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	県外・海外などの観光客を戦略的に誘致するため、マラソン、サイクリングイベントやゴルフなど沖縄のスポーツイベント及びスポーツ環境の 프로모ーション等を行う。またスポーツ観戦を目的とした来訪促進を図るため、プロスポーツの公式戦等を活用したプロモーションによる実証を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	202,426		
		(b) 予算現額	0	-	202,426		
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)		0	-	202,426		
	B. 執行済額		0	-	200,367		
	うち交付金充当額		0	-	160,293		
	C. 次年度繰越額		0	-	0		
	執行率 (%) (B/A)		-	-	99.0%		
予算の状況の説明		予算は概ね予定通り執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・誘客プロモーションの実施件数	目標		10件			
		実績		15件			
		目標					
		実績					
達成状況説明	沖縄のスポーツ環境をPRするため、スポーツロゴを作成し、本ロゴを活用した統一的なプロモーション展開を図り、PR効果を高め、さらに、DVD、ポスター、ガイドブックなどのプロモーションツールを作成し、それを見本市等で活用するなど、各プロモーションが相関しながらプロモーションを実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(〇〇年度)
	・誘客プロモーションの実施件数	目標			10件		
		実績			15件		
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	沖縄のスポーツ環境をPRするためにプロモーションツールを作成し、見本市等により、県外・海外で出店等を行い、本県のスポーツ環境PRに一定程度寄与できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・スポーツの見本市等における出展などのスポーツ環境プロモーションを通じた、スポーツアイランド沖縄PRは、一定程度の効果はあったが、県内のスポーツ環境の認知度向上を図るためのプロモーションは今後とも重要である。</p>	<p>・見本市の出展など平成25年度実施したプロモーション活動に加えて、プロモーションする場を幅広く展開することで、スポーツに起因した誘客を促進する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・サイクルイベントやマラソンイベントなどの見本市の出展など平成25年度実施したプロモーションを継続的に実施することにより、県内の認知度向上を図ることに努め、さらに、bjリーグの琉球ゴールデンキングス、J3リーグのFC琉球、ハンドボールの琉球コラソンなど、県内のプロチーム等の知名度を活かし、各チームの県外で開催される公式戦等を活用したプロモーションを図り、沖縄のスポーツアイランド沖縄の認知度向上に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は企画提案方式により実績、実施体制、事業内容等を提案した上で選定しており、妥当であったと考える。費目・用途については額の確定時において支出等に関する書類により確認した上で適正と判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	190-4	スポーツツーリズム戦略推進事業(スポーツキャンプ訪問観光促進事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立				
担当部課名	文化観光スポーツ部 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)			
事業内容	キャンプ開催チーム、受入関係団体等との連携を図り、スポーツキャンプ集積地ならではの全県的な取り組みを行い、スポーツキャンプ開催地としてのブランド化や、スポーツキャンプ来訪者の増加、経済効果の向上を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	96,261	-	61,155			
		(b) 予算現額	96,339	-	61,155			
		(c) 増減額 (b-a)	78	-	0			
		(d) 繰越額	-	-	-			
		A. 計 (b+d)	96,339	-	61,155			
	B. 執行済額		96,337	-	61,155			
	うち交付金充当額		77,070	-	48,924			
	C. 次年度繰越額		0	-	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	-	100.0%			
予算の状況の説明		予算は予定通り執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・スポーツキャンプ受入支援及び広報・宣伝の実施	目標	20件	27件				
		実績	20件	27件				
			目標					
		実績						
達成状況説明	キャンプ来訪へのPR活動、広報・宣伝プロ野球キャンプ情報WEBサイトの構築、情報発信拠点の設置を行い、キャンプ来訪者の利便性の向上を図るとともに、新規誘客に向けた広報・宣伝を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)	
	キャンプ受入市町村との協同ブース出展数		目標	9件	9件	9件		10件
			実績	9件	9件	9件		10件
			目標					
			実績					
進捗状況説明	関係機関との連携・協力を強化したことで、受入市町村、スポーツキャンプ実施団体、野球関係企業等との協同の取り組みを実施することができ、キャンプ期間中の魅力的な旅行商品や、コンテンツを開発することができた。							

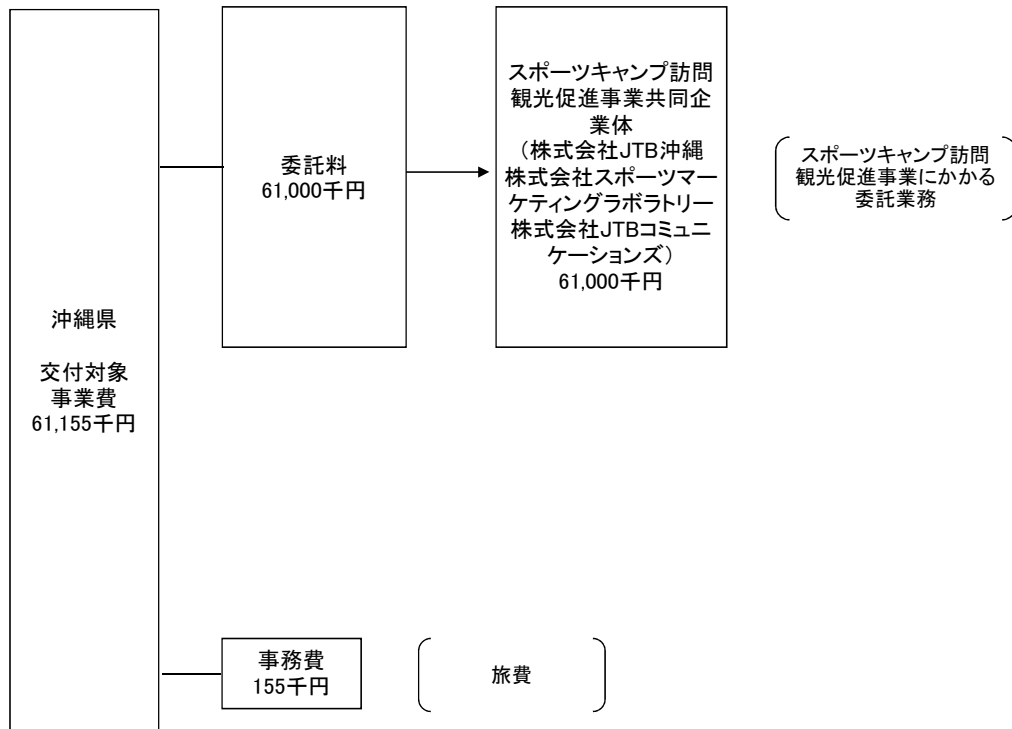
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツキャンプ受入れ市町村や、スポーツキャンプ実施団体等に事前のヒヤリングを行い、より効果的に事業が執行できるよう図った。 ・今後は、スポーツキャンプ集積地ならではの取り組みが必要である。キャンプを活用した誘客等については、キャンプ実施主体や受入れ市町村、関係者との協力が不可欠であるが、球団、県、市町村との連携が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツキャンプを活用した新規誘客のためには、キャンプ地やキャンプ実施球団との連携が不可欠であるが、キャンプ実施団体、県、市町村、三者の連携が不十分である。今まで以上の連携を図ることができる体制の構築が必要である。

今後の取り組み方針

・事業実施前に各市町村、スポーツキャンプ実施団体等との意見交換等を実施し、スポーツキャンプを活用した新規誘客や地域活性の取り組みについての認識、課題等を共有することで、より効果的な事業実施に努める。
 ・スポーツキャンプを活用した誘客のためには、キャンプ実施団体の協力が不可欠であり、キャンプ実施団体にもメリットのある誘客施策や実施体制が構築できるよう図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
61,155	61,155	48,924	12,231	0	0	0



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は企画提案方式により実績、実施体制、事業内容等を助案した上で選定しており、妥当であったと考える。 費目・用途については額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	190-5	スポーツツーリズム戦略推進事業(スポーツアイランド受入体制整備事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立																																																																
担当部課名	文化観光スポーツ部 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成 25 ~ 27 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)																																																															
事業内容	スポーツイベントや、各種スポーツキャンプ・合宿等の誘致・受入・斡旋を行うワンストップの窓口としてスポーツコミッション沖縄(仮称)設立準備事務局を設置し、スポーツを目的とした来訪者の利便性向上など受入体制の整備を行うと共に、スポーツアイランドとしての沖縄の認知度向上を図り、沖縄への誘客拡充を図る。																																																																			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()																																																																			
予算額・執行額【単位:千円】	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>24年度</td> <td>24年度(繰越)</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5"> 予算の状況 </td> <td>(a) 当初予算額</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>21,661</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(b) 予算現額</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>21,661</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(c) 増減額 (b-a)</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(d) 繰越額</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A. 計 (b+d)</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>21,661</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">B. 執行済額</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>15,487</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> うち交付金充当額 </td> <td>0</td> <td>-</td> <td>12,390</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">C. 次年度繰越額</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 執行率 (%) (B/A) </td> <td>-</td> <td>-</td> <td>71.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 予算の状況の説明 </td> <td colspan="4"> スポーツコミッション沖縄(仮称)のPR等のために予定していた、印刷製本費の執行について、WEB構築等の委託費で対応できたことによる経費節減による。 </td> </tr> </table>		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	21,661		(b) 予算現額	0	-	21,661		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0		(d) 繰越額	-	-	-		A. 計 (b+d)	0	-	21,661		B. 執行済額		0	-	15,487		うち交付金充当額		0	-	12,390		C. 次年度繰越額		0	-	0		執行率 (%) (B/A)		-	-	71.5%		予算の状況の説明		スポーツコミッション沖縄(仮称)のPR等のために予定していた、印刷製本費の執行について、WEB構築等の委託費で対応できたことによる経費節減による。								
	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度																																																															
予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	21,661																																																																
	(b) 予算現額	0	-	21,661																																																																
	(c) 増減額 (b-a)	0	-	0																																																																
	(d) 繰越額	-	-	-																																																																
	A. 計 (b+d)	0	-	21,661																																																																
B. 執行済額		0	-	15,487																																																																
うち交付金充当額		0	-	12,390																																																																
C. 次年度繰越額		0	-	0																																																																
執行率 (%) (B/A)		-	-	71.5%																																																																
予算の状況の説明		スポーツコミッション沖縄(仮称)のPR等のために予定していた、印刷製本費の執行について、WEB構築等の委託費で対応できたことによる経費節減による。																																																																		
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況																																																																	
			24年度	25年度	26年度	27年度																																																														
・ワンストップサービス構築		目標		1件																																																																
		実績		1件																																																																
		目標																																																																		
		実績																																																																		
達成状況説明	ワンストップサービス構築のため、沖縄観光コンベンションビューローへの補助金交付とともに、受入体制を構築するうえで、重要な競技団体関係を構築するために、沖縄県体育協会など関係機関との連携を図るなどして、効果的な実施に努めた。																																																																			
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(〇〇年度)																																																													
・スポーツコミッション沖縄(仮称)設立準備事務局の立ち上げ		目標			1件																																																															
		実績			1件																																																															
		目標																																																																		
		実績																																																																		
進捗状況説明	スポーツコミッション沖縄(仮称)の平成27年度本格稼働に向けてOCVB内に準備事務局を設置し、県外からのスポーツキャンプ合宿等の問い合わせ等に対する、きめ細かな対応が図られた。																																																																			

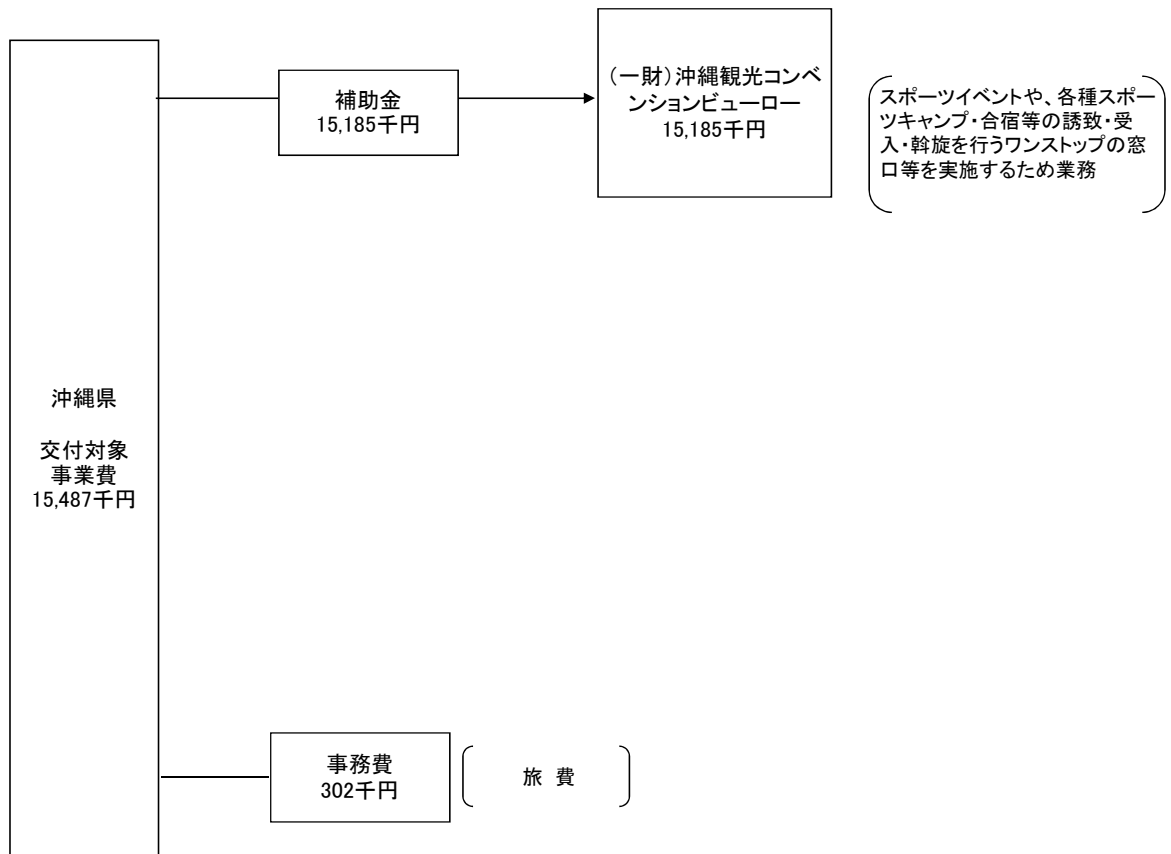
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・スポーツコンベンションの誘致によるスポーツが持つ集客効果が期待できるが、効果的に誘致・受入を行う組織体制が整っていないのが現状である。</p>	<p>・ワンストップ窓口が効率的に図られるよう、関係機関との連携を密にする必要がある。平成27年4月のスポーツコンベンション沖縄(仮称)の本格稼働を見据えた事業展開を図る。</p>

今後の取り組み方針

・平成25年度に設置した、スポーツコンベンション沖縄(仮称)設立準備事務局により、ワンストップ窓口として、沖縄観光コンベンションビューローや沖縄県体育協会等の関連団体との連携を図りやすくするとともに、県内外のスポーツ団体にとっての利便性も高め、スポーツコンベンションの誘致及びスポーツツーリズムの競争力を強化する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金				交付対象外経費
		充当額(80%)	うち県負担金(20%)	うち市町村負担金(%)	その他(%)	
15,487	15,487	12,390	3,097	0	0	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>補助事業者は、受入市町村やホテル業界など観光関連組織との連絡調整がスムーズに行えること等を勧告し、妥当であったと考える。</p> <p>費目・使途については額の確定時において支出等に関する書類により確認した上で適正と判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

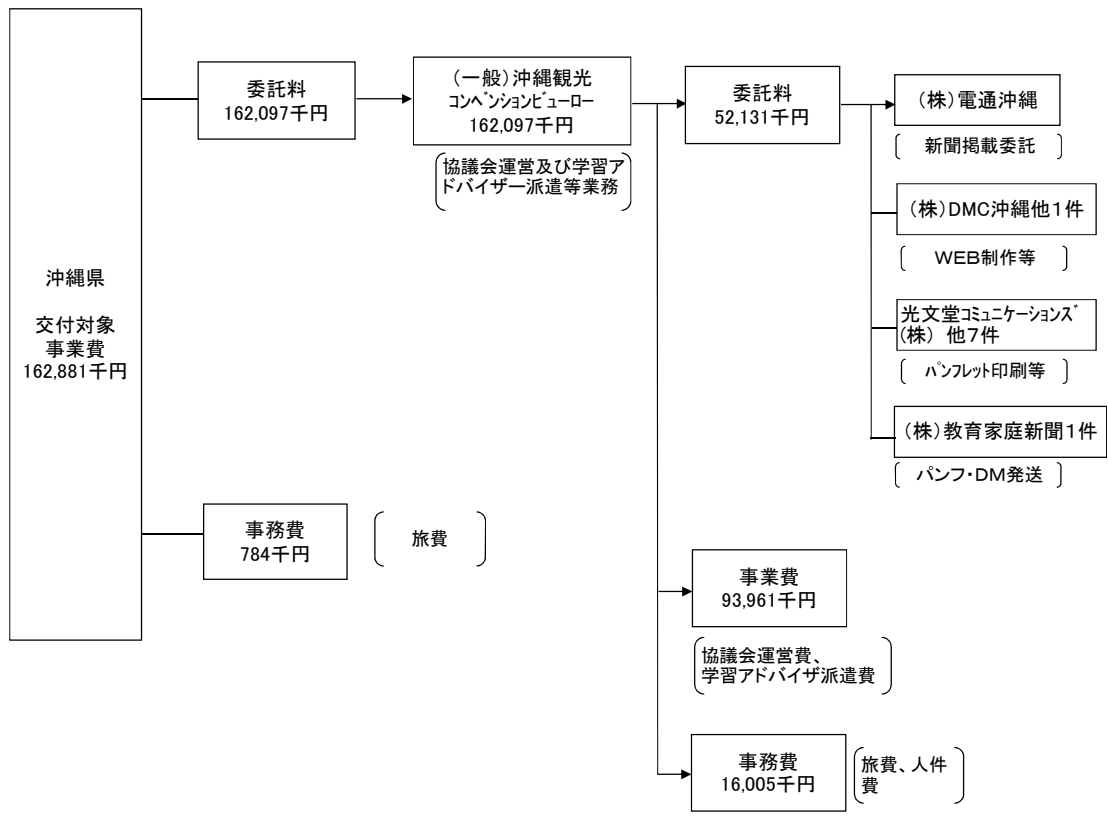
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	175 修学旅行推進強化事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ				
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	平成25~27年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の 展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	修学旅行市場の変化等に対応し、修学旅行を安定的に確保するため、学校に対する事前・事後学習支援、継続実施学校に対する新たなメニュー等の提案・提供、県外説明会、関係者招聘事業等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	0	—	170,598		
		(b) 予算現額	0	—	170,598		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	0	—	170,598		
	B. 執行済額		0	—	162,881		
	うち交付金充当額		0	—	130,305		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		—	—	95.5%		
予算の状況の説明		・交付決定時期の遅れや、事業メニューの周知不足により、予算額170,598千円に対して、実績額162,880千円で、7,718千円の不用額が発生した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	事前・事後学習支援学校数	目標	—	250件			
		実績	—	196件			
	新たなメニュー支援学校数	目標	—	150件			
		実績	—	113件			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・県外学校へのアドバイザー派遣件数は、当初予定件数:250件に対して196件と、目標値を下回った。 ・当事業は、国からの交付決定(5月30日)後、6月に委託契約締結したのち、委託業者においてアドバイザー派遣の要綱作成、アドバイザー登録などに取りかかったが、一定期間を要してしまい、8月に入ってから初めてのアドバイザー派遣を実施することとなった。 ・平成25年8月から12月までにおいて、実施は49校にとどまった。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (〇〇年度)
	沖縄への修学旅行者数 43.1万人(H24)→ 44万人超	目標	43.1万人	—	44万人超		
		実績	—	—	※集計中		
		目標					
		実績					
進捗状況説明	※8月上旬に別途公表予定						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・沖縄県の施策を全国の学校や旅行会社等に周知し、活用を促進することが必要である。</p>	<p>・県外に出向いて、沖縄への教育旅行のPRをするだけでなく、沖縄への教育旅行を決定するにあたってキーマンとなる人物(担当教諭又は旅行会社担当者)を沖縄に招聘し、体感してもらうことで、沖縄の良さがさらに伝わるものと考えられる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・県外小中学校の先生や旅行会社の修学旅行担当者等を沖縄に招聘した上で、沖縄県側からも観光協会や観光施設等が出展した展示会を開催するなどし、効率的な沖縄の教育旅行PRを図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
162,881	162,881	130,305	32,576	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○当事業の執行にあたっては、県内外の観光関係者に公的性格及び中立的な性格を有すると認識され、かつ、総合的な対応窓口としての機能を有する必要があるが、(一財)沖縄観光コンベンションビューローはその要件に該当し、適当である。</p> <p>○予算規模、費目・使途についても、適当である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	176	LCC仮設ターミナル交通対策事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H24年10月～H28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	那覇空港旅客ターミナルの狭隘化のために貨物ターミナル内に暫定的に設置されたLCC(格安航空会社)仮設ターミナルの交通環境を改善し、利用者の利便性を確保するとともにLCCの新規誘致及び事業拡大を促進するため、LCC仮設ターミナルとモノレール駅やバス停等の交通機関がある旅客ターミナル地域間を結ぶ巡回バスを運行する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	24,539	—	56,210		
		(b) 予算現額	24,539	—	56,210		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	0	—	—		
	A. 計 (b+d)		24,539	—	56,210		
	B. 執行済額		18,334	—	48,790		
	うち交付金充当額		14,667	—	39,032		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		74.7%	—	86.8%		
予算の状況の説明		LCC就航便数、LCCの遅延によるバス運行時間増加が当初の想定を下回ったことにより不用額が7,419千円発生しているが、巡回バスは概ね順調に運行されており、事業目的は達成できたものと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	巡回バス運行回数	目標	10,000回	30,000回			
		実績	9,992回	23,200回			
		目標					
		実績					
達成状況説明	目標をやや下回ったものの概ね達成しており、LCC利用者の利便性が確保できている状況である。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)
	巡回バスの運行によるLCCターミナル利用者の利便性向上	目標		巡回バス運行による利便性向上	巡回バス運行による利便性向上	巡回バス運行による利便性向上	巡回バス運行による利便性向上
		実績		巡回バス運行による利便性向上	巡回バス運行による利便性向上		
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	現在のところ、航空機の遅延や欠航等に対しても、適切に対応できており、円滑に観光客を送客している。					

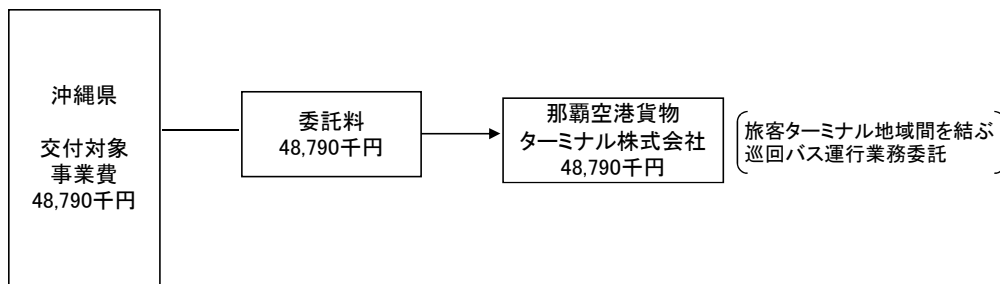
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	LCCの路線計画の増減変動に伴い、巡回バスの運航回数等を随時見直す必要がある。	エアラインの運航計画情報を巡回バスの運営を行うターミナルビルとの間で早期の共有化を図ることにより、より円滑な巡回バス運航計画の見直しが行なえるよう努める。

今後の取り組み方針

引き続き、エアラインの運航計画を関係者で情報共有を行い、LCC運航計画に対応した円滑な巡回バスの運用を実施し、LCC利用者の利便性向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
48,790	48,790	39,032	9,758	0	0	



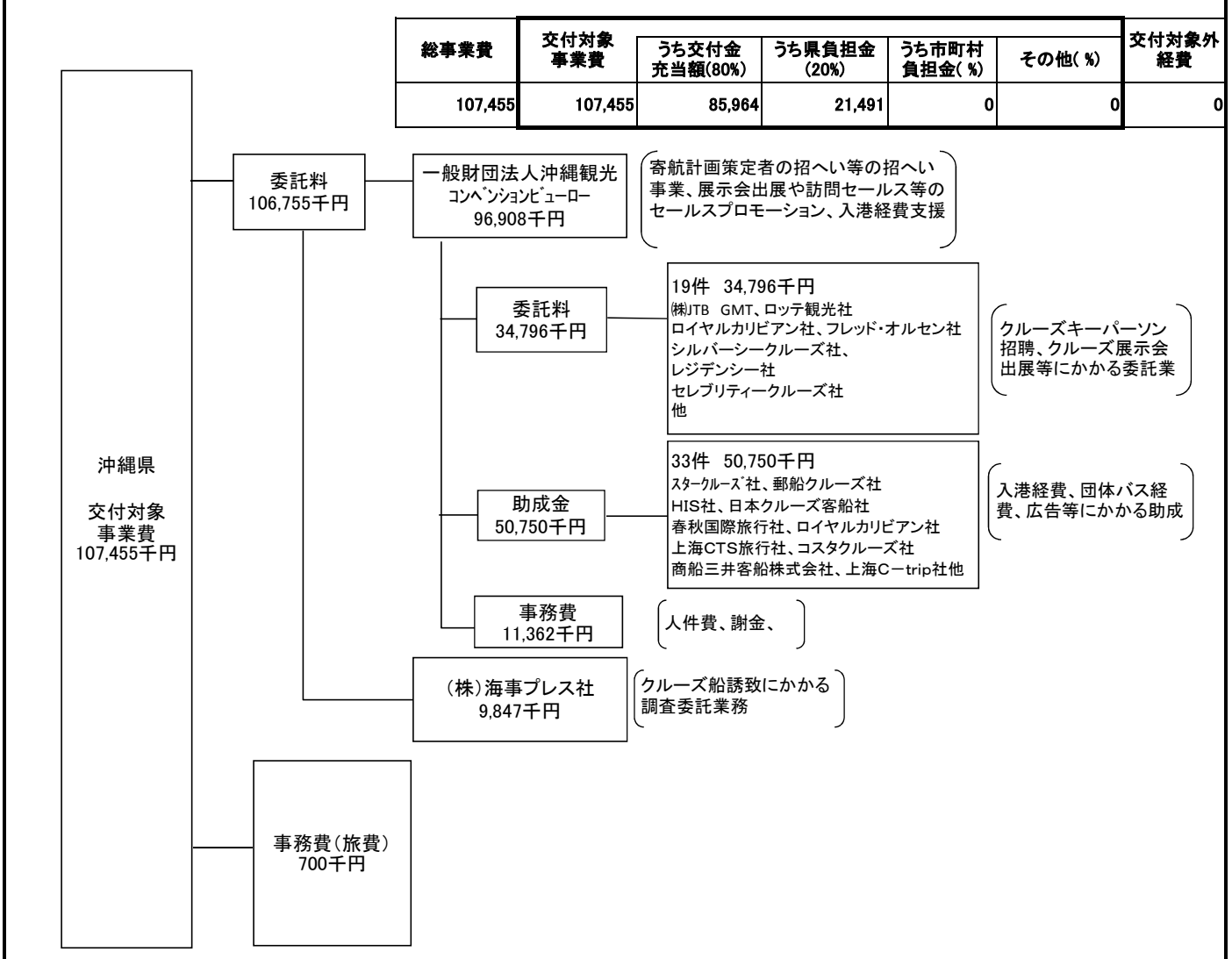
資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約を行っているが、LCCターミナルの立地上、管理ノウハウを要することから選定方法は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○今後のLCC就航計画に合わせ、適性な予算措置を行っていく必要がある。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から、額の確定時における支出等に関する書類により確認したところ、適正であったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	178	クルーズ船プロモーション事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ			
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	クルーズ船の寄航促進を目的に、①寄航計画策定者の招へい等の招へい事業、②展示会出展、訪問セールス等のセールスプロモーション、③入港経費支援、④クルーズ誘致戦略策定等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	51,000	—	110,461		
		(b) 予算現額	111,136	—	110,461		
		(c) 増減額 (b-a)	60,136	—	0		
		(d) 繰越額	0	—	—		
	A. 計 (b+d)		111,136	—	110,461		
	B. 執行済額		105,096	—	107,455		
	うち交付金充当額		84,077	—	85,964		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		94.6%	—	97.3%		
予算の状況の説明		予算は概ね予定通り執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	プロモーション地域数	目標	7地域	7地域			
		実績	7地域	7地域			
	寄港地決定キーパーソン招聘	目標		2名			
		実績		8名			
	クルーズ誘致戦略の策定	目標	-	策定			
実績		-	策定				
達成状況説明	プロモーション活動については、台湾、中国、イギリス、フランス、ドイツ、米国、日本の7地域において、船社訪問、クルーズ展示会出展等を実施し寄港地のPRを行った。 キーパーソン招聘については、6社8名を招聘し、現地視察及び意見交換を実施し寄港検討に必要な情報を提供した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・外国人観光客数(海路) ※特例上陸者除く	目標	—	14.2万人	13.2万人		
		実績	11.9万人	14.4万人	11.0万人		
	・クルーズ船寄港回数(参考・暦年)	目標	-	-	-		
		実績	111回	126回	126回		
進捗状況説明	外国人観光客数(海路)は、クルーズ船の寄港回数の増や船の大型化に伴い増加傾向にある。平成25年度は、尖閣問題の影響で寄港回数の減少が見込まれたが、プロモーション活動が功を奏し前年度と同様の寄港回数となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○東アジアのクルーズ市場は拡大の一途をたどっている。 ○並行して国内外のクルーズ船誘致活動も年々活発化しており寄港誘致競争が激化している。</p>	<p>○さらなるクルーズ船寄港促進に向けて効果的なセールスプロモーションを実施する。 ○クルーズ船の継続的な寄港には、乗客の沖縄滞在時の満足度向上が不可欠であり、歓送迎行事によるおもてなし、各観光地における多言語対応の充実等が必要。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○クルーズマーケットが拡大している中国や、寄港の少ない欧米を中心に沖縄の認知度向上のためのプロモーション活動を展開する。 ○受入体制強化にかかる事業を実施し、乗客の満足度向上を図る。 ○クルーズ船の受入主体である地元自治体へ受入体制充実の必要性を周知する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○本事業は観光関係業界等と連携を図り官民一体となってクルーズ船の誘致・受入れの取組をしていくものであるため、公的性質を持ち、かつ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。 ○事業当初の活動目標及び成果目標を達成しており、適正な予算規模であった。 ○費目・用途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

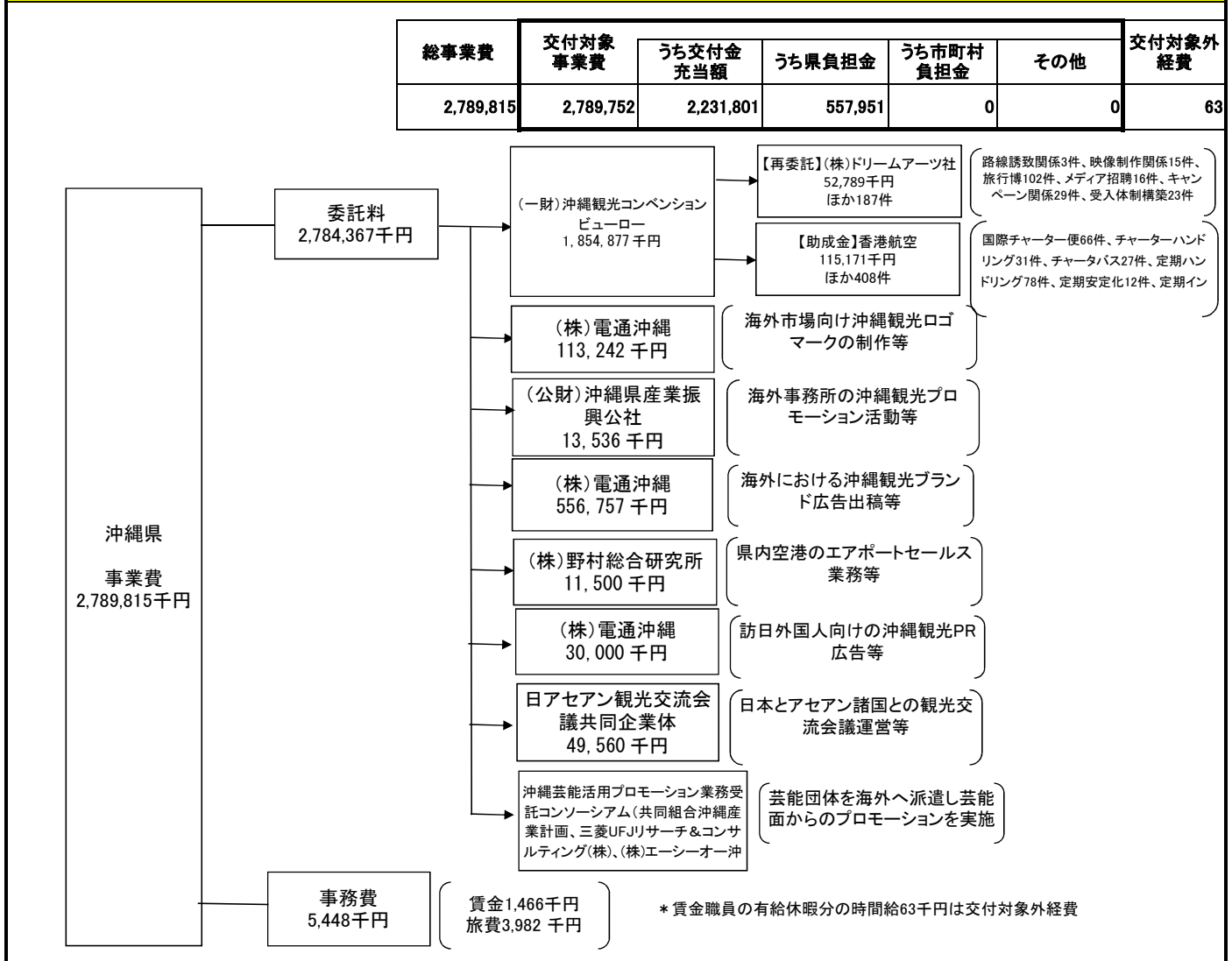
事業番号・事業名	179	沖縄観光国際化ビッグバン事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	市場特性に対応した誘客活動の 展開			
事業内容	外国人観光客数の拡大を目的に、①航空路線の就航や増便等を促す交通アクセスの拡充、②映画やTV等のマス媒体も活用した一般旅行者の認知度向上、③セールス活動の拡充によるビジネスチャネルの強化、④県内の外国人受入体制の拡充等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	1,919,290	-	2,932,333		
		(b) 予算現額	3,429,113	-	2,932,333		
		(c) 増減額 (b-a)	1,509,823	-	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)		3,429,113	-	2,932,333		
	B. 執行済額		2,975,062	-	2,789,752		
	うち交付金充当額		2,380,050	-	2,231,801		
	C. 次年度繰越額		0	-	0		
	執行率 (%) (B/A)		86.8%	-	95.1%		
予算の状況の説明		執行率については、中国からの春節期チャーター便にキャンセルがあり、当初執行予定していた交付額より減額になったこと、団体バス支援では法令で定める最低借上額を下回る事案が多く判明し当該申請を却下したこと等により、当初予想していた交付額より減額となったこと、1月~2月の定期便の送客実績に応じた支援実績が、当初予定していた搭乗率を下回ったことにより、申請額が少なかったこと等による。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	新規就航定期便への支援件数	目標	-	50件			
		実績	25件	31件			
	海外映画・ドラマ誘致数	目標	-	5件			
		実績	8件	6件			
	プロモーション地域数	目標	14箇所	14箇所			
		実績	18箇所	20箇所			
	旅行社・メディア招聘数	目標	-	150社			
		実績	577社	368社			
SNS情報発信言語数	目標	-	11言語				
	実績	6言語	11言語				
民間施設wifi化・翻訳等支援件数	目標	-	150件				
	実績	154件	157件				
達成状況説明	新規就航定期便への支援件数は50件を目標としていたが、中国からの春節期チャーター便にキャンセルがあったこと等により、31件の実績となった。それ以外については、活動目標を達成することが出来た。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (H23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (H33年度)
	那覇空港の週間国際定期便数	目標	-	-	60便		-
		実績	45便	49便	78便		-
	外国人観光客数	目標	-	45万人	50万人		200万人
		実績	28.2万人	38.2万人	62.7万人		-
	地域別外国人観光客数(台湾)	目標	-	-	18万人		-
		実績	11.6万人	14.9万人	25.4万人		-
	地域別外国人観光客数(香港)	目標	-	-	8万人		-
		実績	5.5万人	5.6万人	9.2万人		-
	地域別外国人観光客数(韓国)	目標	-	-	8万人		-
実績		2.6万人	4.5万人	9.8万人		-	
地域別外国人観光客数(中国)	目標	-	-	10万人		-	
	実績	4.5万人	5.9万人	6.9万人		-	
地域別外国人観光客数(その他)	目標	-	-	6万人		-	
	実績	6.1万人	7.3万人	7.3万人		-	
外国人観光客の満足度 (インターネット環境に関する項目)	目標	-	-	満足度増加		-	
	実績	-	-	19.30%		-	
進捗状況説明	中国国際航空の北京~那覇路線の復活(平成25年7月)、アジアナ航空の釜山~那覇路線の新規就航(平成25年11月)、中国東方航空の上海~那覇路線のデイリー運航復活(平成25年6月)、Peach Aviationの台北~那覇路線の新規就航(平成25年9月)、吉祥航空の上海~那覇路線の新規就航(平成26年1月)など、那覇空港の週間就航便数は平成24年度末の週49便から平成25年度末に78便へと63%の増加となった。 その結果、平成25年度の外国人観光客数は62.7万人(うち空路43.6万人、海路19.1万人)となり、前年度比64%の大幅増加となった。国別の内訳は、台湾25.4万人(前年度比70.1%増)、韓国9.8万人(同118.2%増)、香港9.2万人(同64.4%増)、中国6.9万人(同16.6%増)、その他11.4万人(同55.8%増)という状況。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 航空各社の新規参入増、既存定期便の運航機材大型化などにより、那覇空港新国際線ターミナルの平日昼間時間帯のチェックインカウンター数の限界が近づいている。 平成25年7月よりタイおよびマレーシアからの訪日短期滞在観光客がノービザとなった。 平成26年3月にシンガポールチャンギ空港グループと沖縄県が相互連携協定を締結した。 平成26年6月に極東ロシア(ウラジオストク、ハバロフスク)から那覇への連続チャーター予定。 平成25年度はタイ、シンガポール、欧米豪など直行便未就航地からの観光客の伸びも顕著。 <p>*対前年度伸び率:タイ343%(2,100人→7,200人)、シンガポール206%(1,600人→3,300人)、アメリカ140%(6,200人→8,700人)、カナダ152%(2,500人→3,800人)、イギリス188%(2,600人→4,900人)、オーストラリア238%(1,600人→3,800人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本でも数少ない24時間空港である那覇空港のメリットを活かした取り組みの検討。 海外プロモーションの実施場所と投資費用の選択と集中。 相互連携協定を活かした路線誘致活動の推進。 基幹路線(成田、関空、仁川、北京、上海、香港、台北等⇄那覇)を活用した欧米豪からのトランジット送客の推進。

今後の取り組み方針

- 深夜早朝枠へチャーター便を誘導するため、CIQやハンドリング会社への受入体制の整備を要請するとともに、現行支援助制度の単価についても、深夜早朝枠の増額を検討する。
- 過去2,3年、チャーター便の就航実績のあるタイ(バンコク)とシンガポール、連続チャーターが予定されている極東ロシアを注力市場と位置づけ、集中的に予算と人員を投入する。
- チャンギ空港グループの協力を得て、航空会社や主要旅行社へのセールス活動を展開する。
- 長距離路線のトランジット送客支援の仕組みを構築する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業は観光関係業界等と連携を図り官民一体となって外国人観光客の誘致・受入れの取組をしているものであるため、公的性質を持ち、かつ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの随意契約は妥当であった。 ○事業当初の活動目標及び成果目標を達成しており、適正な予算規模であった。 ○費目・使途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。 ○交付対象外経費は賃金職員の有給休暇取得分の時間給実績であり、適切に処理されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	182	フィルムツーリズム推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ			
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施（予定）年度	平成 25 ～ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	沖縄のロケ地としての魅力を内外へ発信し、ロケ誘致を図る。ロケ隊の受入とともに、撮影された映像ツールを活用し、沖縄の魅力を国内外の映画祭、コンテンツマーケットへ出展しPRを行ない、将来的にロケツアーへつなげることを目的に、国内外への映画祭ブース出展、プロモーション、映像関係者の招請・招聘事業の実施、沖縄ロケ地魅力発信事業、情報発信・宣伝ツールの制作等を行なう。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	—	—	55,383		
		(b) 予算現額	—	—	55,383		
		(c) 増減額 (b-a)	—	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		—	—	55,383		
	B. 執行済額		—	—	54,029		
	うち交付金充当額		—	—	43,223		
	C. 次年度繰越額		—	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		—	—	97.6%		
予算の状況の説明		概ね計画通りに執行された。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	国内外の沖縄をロケ地候補とする事業者への支援	目標		25件			
		実績		20件			
	国内外映画祭等出展	目標		5件			
		実績		7件			
達成状況説明	・国内外で開催される映画祭等へ出展することにより沖縄のロケ地としての魅力を映像制作関係者にアピール。また、関係者とのネットワーク構築でその後のロケーションハンティングやシナリオハンティングへつなぐ。主要な映画祭への出展は達成。 ・事業者支援にはロケ支援申請によるものと制作者やプロデューサー等招聘によるロケ案内がある。支援の申請のあった事業者は20件であったが、プロデューサーや監督等映像制作関係者の招聘が相手方の日程の都合がつかずに実現できなかったため目標数の達成ができなかった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（〇〇年度）
	ロケ誘致数	目標			20件		
		実績			20件		
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	・国内外への映画祭出展によるロケ誘致活動、海外における上映活動による沖縄認知度の向上、沖縄国際映画祭支援によるメディアへの露出効果を図ったことにより、沖縄フィルムオフィスによるロケの実現は目標数を達成した。但し、民間コーディネート事業者の数は含んでいない。					

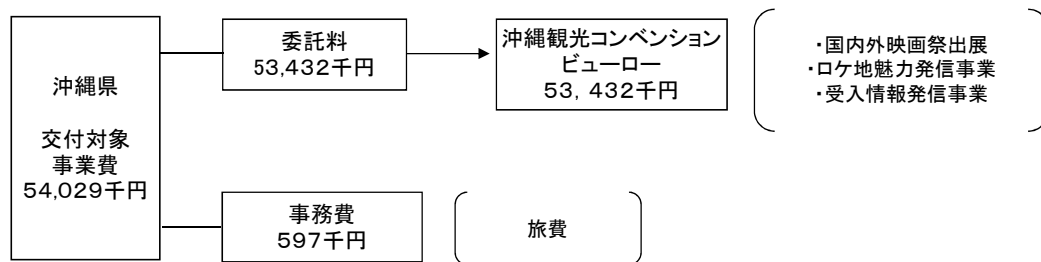
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績及び成果実績ともに目標を達成した。 ロケのワンストップサービス機能としての公的役割と民間コーディネート事業者との役割分担が重なる部分が発生している。 これまでいくつもの作品が沖縄をロケ地に撮影を実施しているが、作品を活用しての地元観光誘客及び地域活性化の取組みが弱い。そのため、フィルムツーリズムの形とするための地元との密な連携が欠かせない。 プロダクトプレイスメント(映像を活用した広告手法)が十分に機能していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ロケ受入に関し、無償で公的機関が担う部分がかえって制作者側の経費削減としての位置づけにされることが懸念され、民業圧迫を招きかねない。そのため、最低限の支援ラインを決め、事業者が必要とした時にロケ支援を実施することで2段階の受入制度を確立することが必要である。 撮影地となる地元自治体との連絡体制を築き、環境保全に努める撮影を実現する。あわせて地域資源の発掘や再発見を映像コンテンツを活用して観光誘客につなげる仕組みを地元と協議する。

今後の取り組み方針

・映像コンテンツを活用した沖縄の魅力発信に繋がるようロケの誘致活動を実施する。
 ・沖縄フィルムオフィス設立時の周辺環境の状況と、民間事業者によるコーディネート請負業務が増加した現状を踏まえ改めて沖縄フィルムオフィスに求められる役割について整理を行う。(事業者ヒアリング、アンケートなど)

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
54,029	54,029	43,223	10,806	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は沖縄全域をカバーするフィルムコミッションの機能を持っており、設立時からそのノウハウを蓄積している県内で唯一の機関である。企業組織、実績、知識等を勘案した上で随意委託をしており、妥当であったと考えている。 ○額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

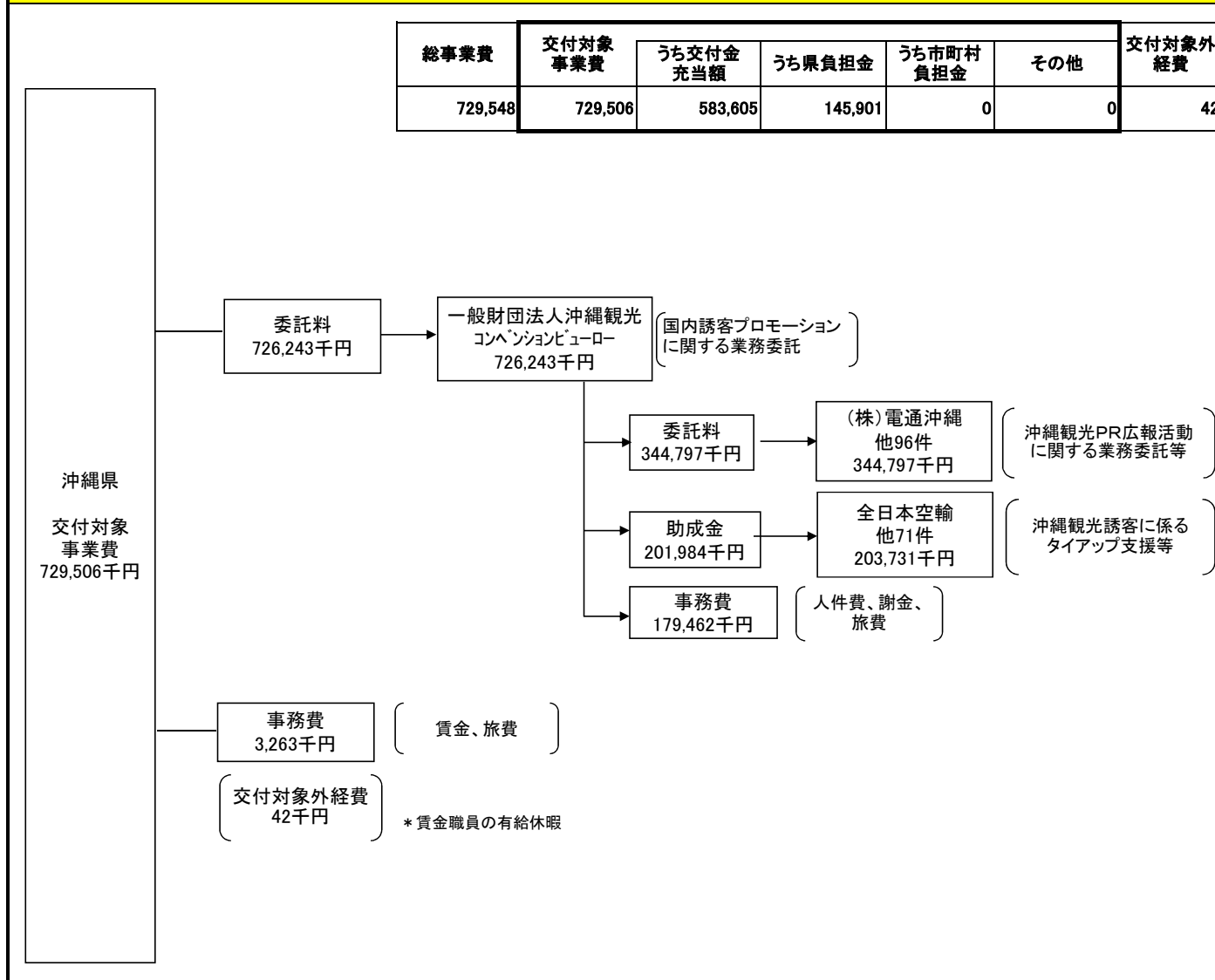
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	180	国内需要安定化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ		
	担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	国内観光客の安定的かつ継続的な確保を目的に、①シーズンごとにターゲットを設定したプロモーションの展開、②シーズンプロモーションと連動した民間事業者の旅行商品造成を促すタイアップ支援及び沖縄観光PRイベントの開催、③路線拡大に伴う又は促すためのタイアップ支援及びイベント開催を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	264,182	-	783,649		
		(b) 予算現額	798,495	-	783,649		
		(c) 増減額 (b-a)	534,313	-	0		
		(d) 繰越額	0	-	-		
	A. 計 (b+d)		798,495	-	783,649		
	B. 執行済額		668,750	-	729,506		
	うち交付金充当額		535,001	-	583,605		
	C. 次年度繰越額		0	-	0		
	執行率 (%) (B/A)		83.8%	-	93.1%		
予算の状況の説明		不用額が54,143千円発生しているが、OCVBからの助成金について、航空会社及び旅行会社からの申請額が予算枠に満たなかったこと及び助成金確定額が当初申請額を下回ったことによる。その他の事業については、概ね実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	シーズンプロモーションタイアップ旅行社数	目標	24件	40件			
		実績	67件	44件			
	路線別プロモーション・タイアップ路線数	目標	-	12件			
		実績	-	20件			
達成状況説明	夏=家族旅行及び学生旅行、秋=女子旅、冬=アクティブシニア層向け旅行、春=卒業旅行及び三世代旅行というように、各シーズンごとに、それぞれ沖縄観光誘客のターゲットを設定し、きめ細かなシーズンキャンペーンと連動し、それぞれの沖縄観光誘客ターゲットに合わせ、各航空会社、旅行会社のタイアッププロモーション並びに路線別プロモーションを実施した。当初の活動目標以上にタイアップを実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(-年度)
	シーズンプロモーションタイアップで支援した旅行商品での誘客数	目標	-	24,000人	100,000人		-
		実績	-	79,559人	144,516人		-
	新規路線就航数及び既存路線増便数	目標			3便		
		実績			新規就航 5便 増便 4便 季節便の通年化1便		
	進捗状況説明	県がプロモーション費等を助成した旅行商品により、一定程度の沖縄への送客を実現した。昨年度の実績並びに予算等を踏まえ、タイアップ旅行商品造成による送客を10万人と見込んでいたが、それを上回る送客が達成された。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・LCCの相次ぐ新規就航など航空業界を取り巻く著しい構造変化 ・国内総人口の減少による少子高齢社会の到来に伴う、観光支出を含めた国内消費全体の低迷 ・円安や需要増による燃料高騰に伴う航空運賃の値上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・発地側の地域特性や市場状況を踏まえたきめ細かなプロモーションによる重要開拓が必要である。 ・地方都市における新規路線や増便等による需要の創出 ・オール沖縄体制で市場を盛り上げ、需要を創出する必要がある

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・発地側の情報を得やすい、沖縄県やOCVBの県外事務所との情報共有及び施策実施における連携を強化する。 ・沖縄県として、季節ごとに、各季節特性に応じた、又は、誘客したいターゲットを特定するなど、県全体の方向性を示した上で、観光業界の取組みを県施策と同様の方向に誘導する。県と観光業界が一体となって観光誘客に取組むことで、事業者個々が行う各プロモーションについても厚みを持たせた展開が図られるようにする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は観光関係業界等と連携を図り官民一体となって国内観光客の誘致の取組をしていくものであるため、公的性質を持ち、かつ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業当初の活動目標及び成果目標を達成しており、適正な予算規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使用については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○交付対象外経費は賃金職員の有給休暇取得分の時間給実績であり、適切に処理されている。

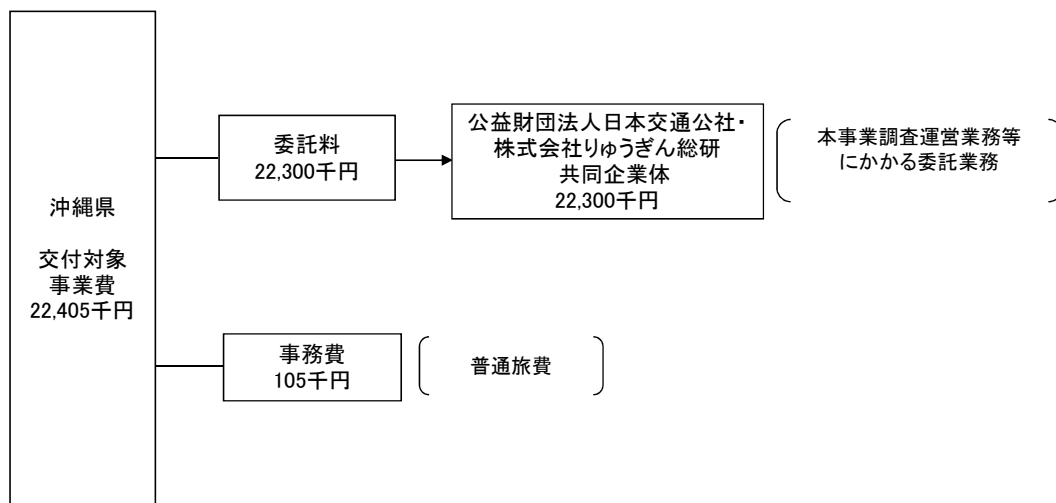
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	168	誰にでもやさしい観光地づくり形成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	<p>沖縄の観光産業の高付加価値化を図るため、観光関連事業者向けのバリアフリーにおける接遇スキルアップセミナー等を開催することにより、観光バリアフリーに対する意識啓発を図るとともに、障害者等の観光客の受入れを行っているNPO団体等を支援する。平成25年度においては、有識者から構成された検討委員会において、昨年度整理した課題を解決するための具体的な主要施策並びに基本戦略を検討し、沖縄観光におけるバリアフリー化を推進する。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	50,500	-	23,027		
		(b) 予算現額	50,500	-	23,027		
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)		50,500	-	23,027		
	B. 執行済額		49,774	-	22,405		
	うち交付金充当額		39,819	-	17,924		
	C. 次年度繰越額		0	-	0		
	執行率 (%) (B/A)		98.6%	-	97.3%		
予算の状況の説明		<p>・予算額は、観光関連事業者等を対象としたセミナーや、観光バリアフリーの推進を図るモデル事業の実施等に係る委託料と旅費の経費を計上したところであり、平成24年度に比べ約27,000千円減額となっているのは、モデル事業の規模を縮小したことなどによる。 ・執行率は97.3%であり、旅費の節減による不用額(622千円)が発生したことによるものである。</p>					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	接遇スキルアップセミナー開催数	目標	10回	10回			
		実績	11回	5回			
	沖縄観光におけるバリアフリーを推進するNPO等団体への支援数	目標	3件	3件			
		実績	4件	4件			
達成状況説明	<p>平成25年度本事業において障害者・高齢者の接遇セミナーを開催し、5地区、計97人のセミナー参加者があった。また、本事業において、公募したモデル事業を4件選定のうえ実施した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
	沖縄バリアフリーツアーセンター(那覇空港障害者・高齢者観光案内所)利用者数	目標	-	8,600人	8,800人		9,000人
		実績	8,491人	9,626人	10,785人		-
	接遇スキルアップセミナー参加者数	目標	-	200人	200人		-
		実績	-	266人	97人		-
	進捗状況説明	<p>セミナーの開催数が目標より下回ったことにより、セミナー参加者数も目標より下回ったが、沖縄バリアフリーツアーセンターの利用者数は、目標の8,800人に対し、約2,000人上回っている。</p>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者等の観光客を受け入れる際の留意事項等を取りまとめた「観光バリアフリーマニュアル」を策定したが、受入側の接遇など人材育成が不十分であり、バリアフリーの意識啓発が充分定着していない。 ・受入体制の整備を図っているが、障害者等の観光客の積極的な誘客につながっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「観光バリアフリーマニュアル」に基づく取組を定着させ、県内観光事業者等のバリアフリーの意識啓発を図る必要がある。 ・障害者等の観光客の誘客につながるツールを作成する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・「観光バリアフリーマニュアル」に基づく取組を定着させるための表彰制度等を検討し、県内観光事業者等のバリアフリーの意識啓発を図る。 ・障害者等の観光客の誘客を目的に、県内においてバリアフリー対応がなされている交通機関や、バリアフリー観光ツアー等を紹介する沖縄観光バリアフリーガイドブック「バリアフリーOKINAWA(仮称)」を作成する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
22,405	22,405	17,924	4,481	0	0	0



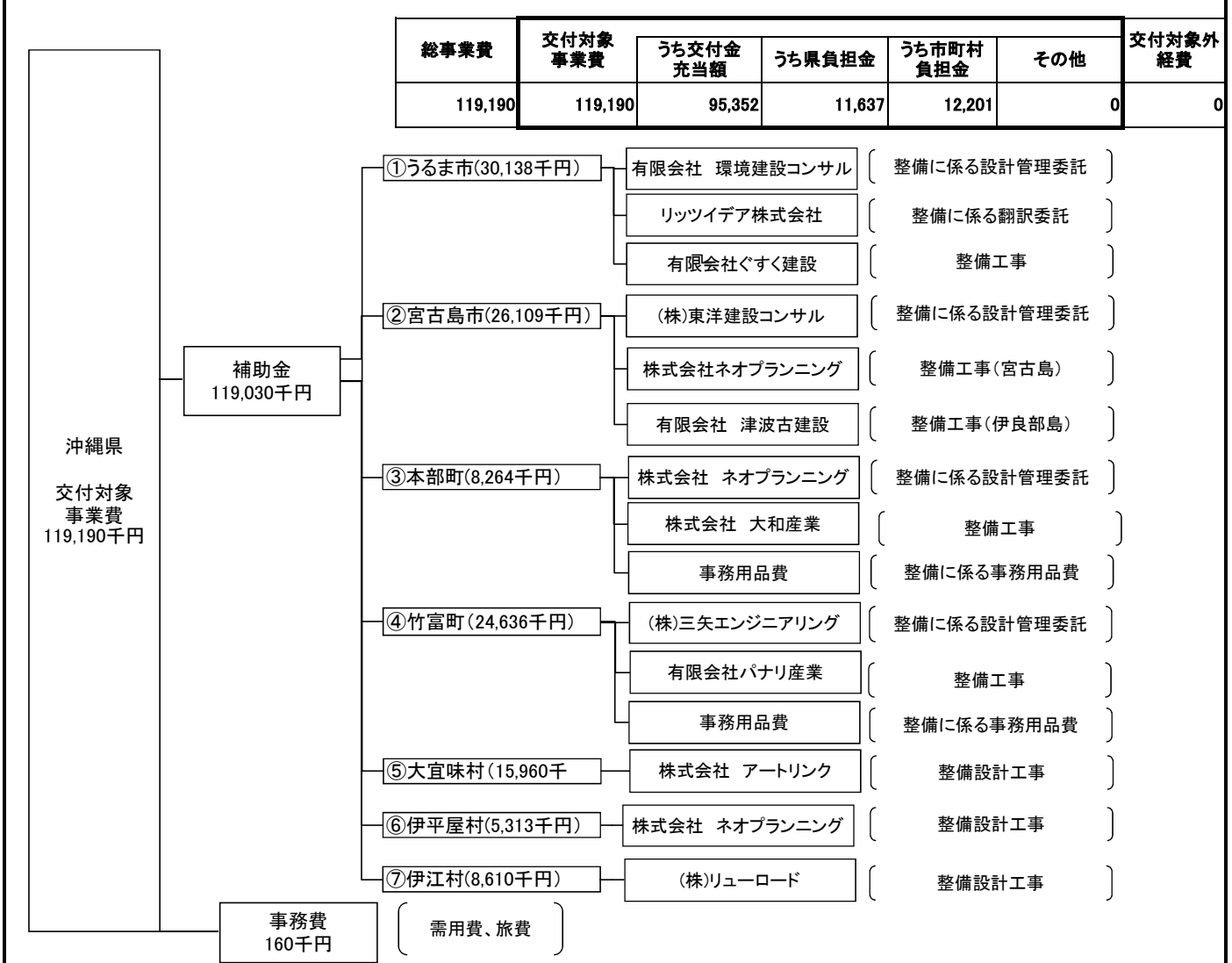
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途が事業目的達成の観点から必要なものかなどについて、額の確定検査時に支出に関する書類確認を行った結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	171	多言語観光案内サイン整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	外国人を含む観光客の利便性向上・観光客の周遊促進による観光消費の拡大を図るため、多言語観光案内サインの統一的な整備を行う。 平成25年度は多言語観光案内サイン整備を行う市町村への支援を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	138,424	—	134,169		
		(b) 予算現額	138,424	—	134,169		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		138,424	—	134,169		
	B. 執行済額		120,760	—	119,190		
	うち交付金充当額		96,608	—	95,352		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		87.2%	—	88.8%		
予算の状況の説明		・本事業は市町村への整備支援補助を行う事業である。 ・複数市町村への交付決定に際しての配置計画、単価等の精査の結果、執行残が生じたが、整備予定市町村への適切規模の補助及び整備が実施されており、予算は適切に執行されている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	案内サイン整備数	目標	40箇所	31箇所			
		実績	29箇所	31箇所			
		目標					
		実績					
達成状況説明	計7市町村へ支援し、31基の周辺案内版と102基の誘導案内版を整備した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)
	重点整備箇所整備率	目標	—	74.40%	75% (60/80箇所)		—
		実績	0% (0/80箇所)	36% (29/80箇所)	75% (60/80箇所)		—
	【参考指標】 外国人観光客の満足度(案内表記)	目標	—	74.40%	77.00%		84.95%
		実績	71.70%	74.70%	—		—
	進捗状況説明	・計画通り進捗している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 地名は地域固有で、その翻訳は技術的に難易度が高く、既存表記で不統一が生じている。 公共性の高い施設での英語表記による施設案内は十分であるが、多言語化された施設案内や観光サインの整備が不十分である。 今後は外国人観光客が大幅に増加し、活動範囲もより多様化することが予想され、観光著名地点を基準とした過年度調査では不足することが予測される。 	<ul style="list-style-type: none"> 地名の表記を全県的に統一するための調査、有識者によるルール作りなどが必要。 公共性の高い施設へ補助対象を拡大し、沖縄県が重点的に誘客を図っているアジア圏の観光客への対応を促進する必要がある。 外国人観光客の観光活動の実態を調査し、外国人観光客対応重要度等のゾーニングを行い、整備必要箇所を再検証する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>翻訳表記の統一を検討する有識者会議の体制検討と、必要箇所の再検証の手法を検討する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・費用	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金は市町村であり事業申請内容、現地踏査等により採択を決定しており妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、本年度は入札残が発生したため執行残が発生したが、事業主旨から概ね妥当な規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○観光案内サインに対する公共性の高い事業への補助であり受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業の主旨に則した費目・使途である。

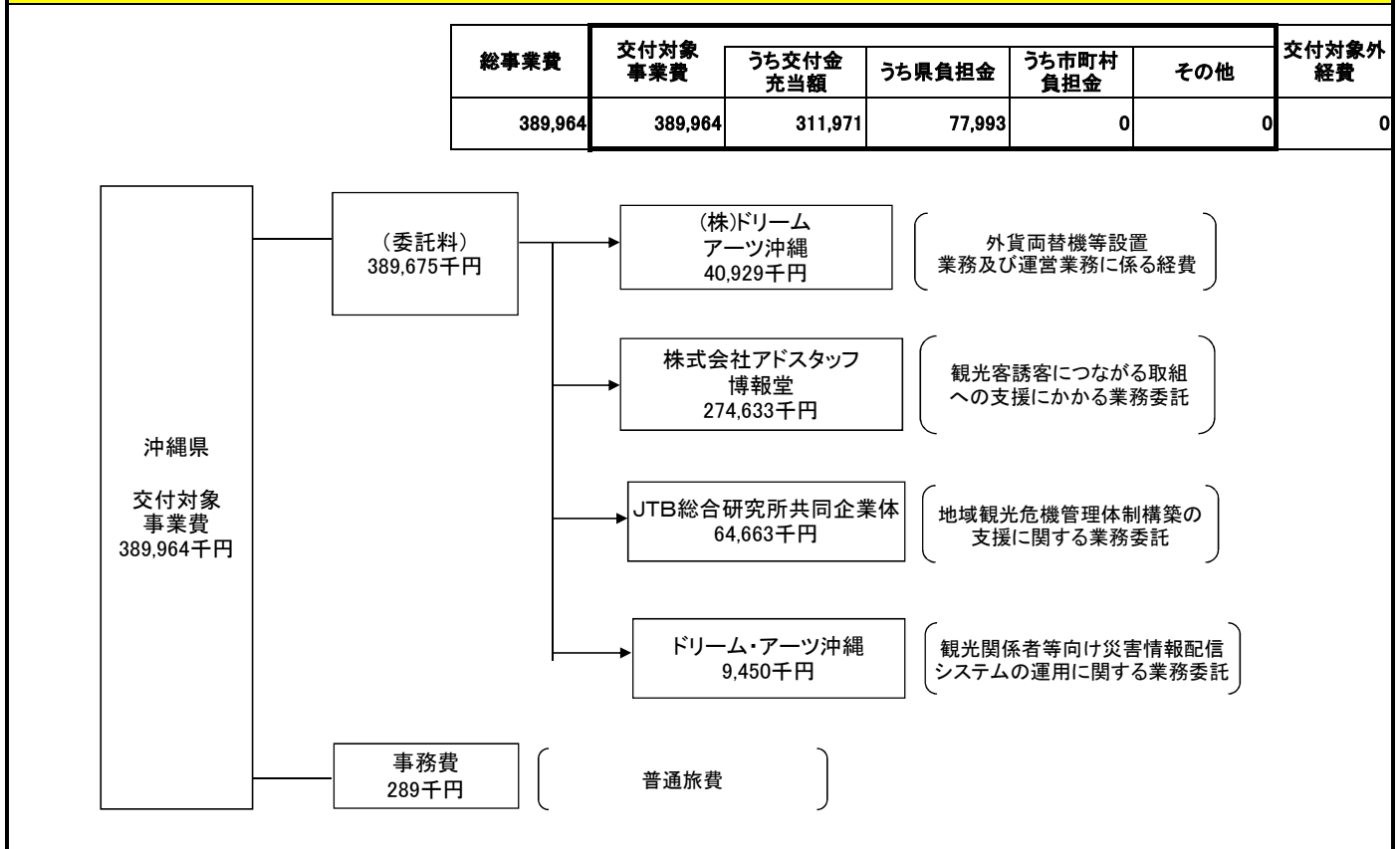
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	173 観光客受入体制整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ				
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施(予定)年度	平成 25 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	「世界最高水準の観光リゾート地の形成」に向け、外国人観光客の受入体制の充実、誘客拡大につながるエンターテインメントの創出・開催支援、観光危機管理に関する先導的な取組などを実施し、安全・安心・快適な観光地の形成を図る。 平成25年度は、海外カード対応ATM等導入支援、着地型観光メニューへの支援、観光危機管理モデル地域への支援、観光関係者等向け災害情報配信システムの運用を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	549,135	—	419,444		
		(b) 予算現額	549,135	—	400,623		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	▲ 18,821		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	549,135	—	400,623		
	B. 執行済額		507,970	—	389,964		
	うち交付金充当額		406,376	—	311,971		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		92.5%	—	97.3%		
予算の状況の説明		助成事業における採択事業者の減少により、18,821千円減額補正を行った。執行率は97.3%であり、適正に執行されたと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	海外カード対応ATM・外貨両替機導入支援件数	目標	12	12			
		実績	11	12			
	災害情報配信システムの利用促進を目的とする観光関係者等に対する説明会等の実施回数	目標	15	10			
		実績	15	20			
	観光危機管理のための説明会、セミナー等開催数	目標	15	10			
		実績	45	14			
	観光客誘客目的イベント等の企画に対する助成件数	目標	12	9			
		実績	24	21			
達成状況説明	【外国人対応基盤整備事業】 平成25年度より他で類似事業があるため、Wi-Fiの設置支援については廃止。 海外カード対応ATM・外貨両替機については、那覇空港国際線や県内主要観光地等をはじめとした県内の各施設に目標どおり12台設置を行った。 【観光危機管理モデル事業】 地域観光危機管理体制の構築を支援するとともに、観光関係者等向け災害情報配信システムを運用することにより、本県における観光危機管理に関する取組が拡大した。 【エンターテインメント創出・観光メニュー開発等支援事業】 助成額の上限(30,000千円)による助成事業件数を設定していたが、採択された助成事業において助成額が小規模となったものが多く、当初の想定よりも多く観光客誘客の取組を行う事業に助成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
	端末の年間利用回数	目標	—	—	43,800		80,300
		実績	—	—	34,363		
	観光関連業者の災害情報配信システム利用者数	目標	—	1,500	4,000		
		実績	—	約1,500(推計)	4,121		
	危機管理モデル地域支援への参加団体・企業数(累計)	目標	20団体・企業	80団体・企業	180団体・企業		
		実績	20団体・企業	143団体・企業	183団体・企業		
	当事業の支援を受けて実施した誘客イベントへの参加観光客数	目標	—	6,000人	6,000人		
		実績	4,306人	15,691人	64,516人		
	進捗状況説明	【外国人対応基盤整備事業】 ・端末利用回数が目標に満たなかったのは、新規設置が12月、2月と年度後半となったためである。 ・外国人観光客数は増加しており、引き続き当該事業を推進することにより、外国人観光客満足度は向上していくものと考えられる。 【観光危機管理モデル事業】 観光危機管理モデル地域支援への参加団体・企業数は、ワークショップ等の開催件数の増等に伴い、目標(180団体)を上回り、課題解決へ向け一定の効果が見込まれる。 【エンターテインメント創出・観光メニュー開発等支援事業】 助成事業への支援によりツアー客数、県外観光客数が多く参加し、目標人数を達成した。その結果、事業目的である入域観光客数の増加につながる誘客効果に寄与した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証 【外国人対応基盤整備事業】 ・Wi-Fi設置支援については、各市町村が実施している事業もあるため、平成25年度より廃止した。 ・離島への設置については、設置場所との調整ができなかった等の理由により申請に至らなかった。 ・活動実績は目標どおり12台設置したことから達成と評価する。 ・成果実績は設置が目標値に至らず、新規設置が年度後半となったことが要因と思われるが、目標値の約78%達成しており、今後利用実績の向上が図られると思われる。 【観光危機管理モデル事業】 ・本事業は主に観光関係者(観光事業者、観光協会、市町村観光担当課等)を対象に実施しているが、市町村防災担当、消防、警察、海保、自治会等、観光関係者以外の関係者との連携が課題である。 ・観光関係者等向け災害情報配信システムについては、利用者数の拡大と、利用者の利便性を高める継続的な機能強化が課題である。 【エンターテインメント創出・観光メニュー開発等支援事業】 ・観光シーズンとそうでない時期との間で、観光客数に差があり、年間を通して県外からの観光客数の平準化を目的として、観光客来客数の少ない時期に実施する事業を採択したことから誘客につながったが、引き続き、平準化を目的とした事業を支援する必要がある。 ・来場者数、参加者数は多いが県民の割合が多く、県外観光客数は目標よりも少ないという事業があるため、旅行社とのタイアップが必要がある。 ・過年度成果(開発商品等)の追跡調査(フォローアップ)を行う必要がある。	【外国人対応基盤整備事業】・外国人観光客が増加している離島についても設置する必要がある。 ・設置事業者と設置場所との交渉に時間を要することから、随時状況把握を行い、進捗管理を行う必要があると思われる。 【観光危機管理モデル事業】 ・平成25年度において、左記の観光関係者以外の関係者とも連携を図ってきたところだが、県庁担当部署(防災危機管理課、地域安全政策課、海岸防災課等)との連携については、一部の情報共有に留まっていたため、県庁内部の連携の体制を確保する必要がある。 ・また、緊急対応後の対策にかかる、OCVB、医療機関、在外公館等との連携についても、検討していく必要がある。 ・システムについては、これまでのワークショップ等で構築した関係者とのネットワーク等を活用し、効率的・効果的に利用の拡大を図ることが必要である。 【エンターテインメント創出・観光メニュー開発等支援事業】 ・観光客来客数の少ない時期及びイベント閑散時期に実施する事業を重視していく。 ・助成事業の内容について、観光客誘客及び観光客数の平準化につながるか、あるいは次年度以降自主財源により実施可能かという視点を重視していく。 ・過年度成果(開発商品等)の追跡調査(フォローアップ)を行う。

今後の取り組み方針
【外国人対応基盤整備事業】 ・外国人旅行者が増加している離島への設置を積極的に推進する。 ・外国人観光客は増加しており、外国人観光客の受入体制整備を推進し、両替利便性等の満足度の向上を図るためにも、金融インフラ整備を引き続き実施する。 【観光危機管理モデル事業】 ・観光危機管理に関する幅広い関係者の連携を図るため、国内外の先進事例等を参考に、「沖縄県観光危機管理基本計画」を策定する。 ・システムについては、あらゆる機会を捉えて利用登録の拡大を図るとともに、県の新たな防災危機管理システムと既存観光情報システム等との連携も視野に入れ、効率的な機能強化の方策を検討する。 【エンターテインメント創出・観光メニュー開発等支援事業】 ・観光客来客数の少ない時期及びイベント閑散時期に実施する事業を採択し、支援を行う。 ・助成事業の内容について、観光客誘客及び観光客数の平準化につながることを、また、助成終了後も自走可能な体制作りや収支計画などの提出を求める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各細事業において、過去の実績等に基づき委託先を選定しており、妥当と考えている。 ・費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

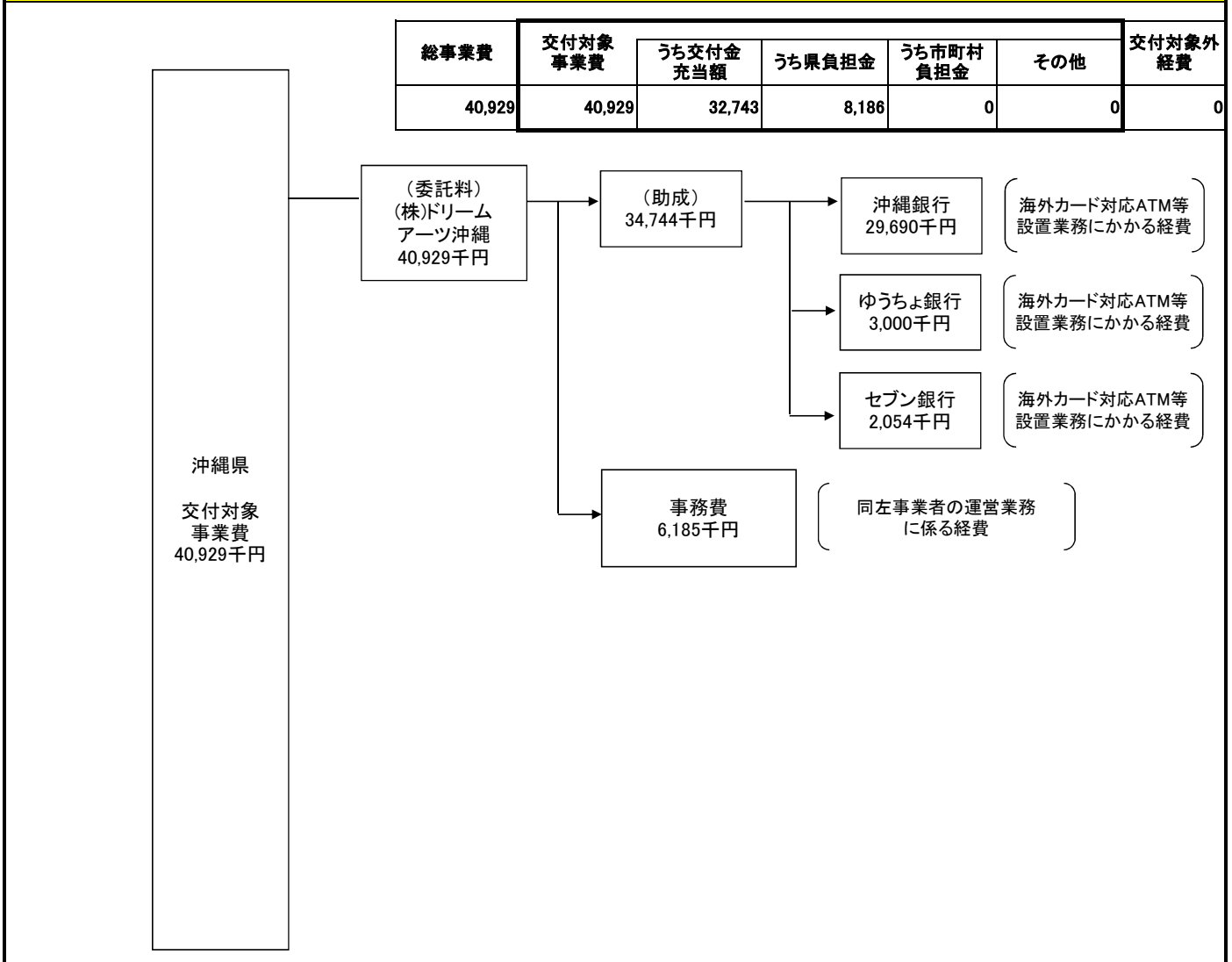
事業番号・事業名	173-1	観光客受入体制整備事業(外国人対応基盤整備事業)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	「世界水準の観光リゾート地の形成」に向け、外国人観光客の受入基盤の充実させ、快適な観光地の形成を図る。平成25年度は、海外カード対応ATM等導入支援を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	47,016	—	42,000		
		(b) 予算現額	47,016	—	42,000		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		47,016	—	42,000		
	B. 執行済額		37,061	—	40,929		
	うち交付金充当額		29,649	—	32,743		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		78.8%	—	97.5%		
予算の状況の説明		執行率は97.5%であり、不用は委託業務の確定減によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	海外カード対応ATM・外貨両替機導入支援件数	目標	12	12			
		実績	11	12			
	公共的施設等に対するWi-Fi導入支援件数	目標	15	—			
		実績	8	—			
達成状況説明	平成25年度より他で類似事業があるため、Wi-Fiの設置支援については廃止。 海外カード対応ATM・外貨両替機については、那覇空港国際線や県内主要観光地等をはじめとした県内の各施設に目標どおり12台設置を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
	端末の年間利用回数	目標	—	—	43,800回		80,300回(H26年度)
		実績	—	—	34,363回		
	【参考指標】外国人観光客の満足度(金融・経済の利便性)	目標	—	55.10%	—		65%(H27年度)
		実績	52.6%(H23年度)	53.50%	—		
進捗状況説明	・端末利用回数が目標に満たなかったのは、新規設置が12月、2月と年度後半となったためである。 ・外国人観光客数は増加しており、引き続き当該事業を推進することにより、外国人観光客満足度は向上していくものと考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi設置支援については、各市町村が実施している事業もあるため、平成25年度より廃止した。 ・離島への設置については、設置場所との調整ができなかった等の理由により申請に至らなかった。 ・活動実績は目標どおり12台設置したことから達成と評価する。 ・成果実績は設置が目標値に至らず、新規設置が年度後半となったことが要因と思われるが、目標値の約78%達成しており、今後利用実績の向上が図られると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客が増加している離島についても設置する必要がある。 ・設置事業者と設置場所との交渉に時間を要することから、随時状況把握を行い、進捗管理を行う必要があると思われる。

今後の取り組み方針

・外国人旅行者が増加している離島への設置を積極的に推進する。
 ・外国人観光客は増加しており、外国人観光客の受入体制整備を推進し、両替利便性等の満足度の向上を図るためにも、金融インフラ整備を引き続き実施する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営業務受託事業者は公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ・用途については事業目的達成に要する経費であるか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

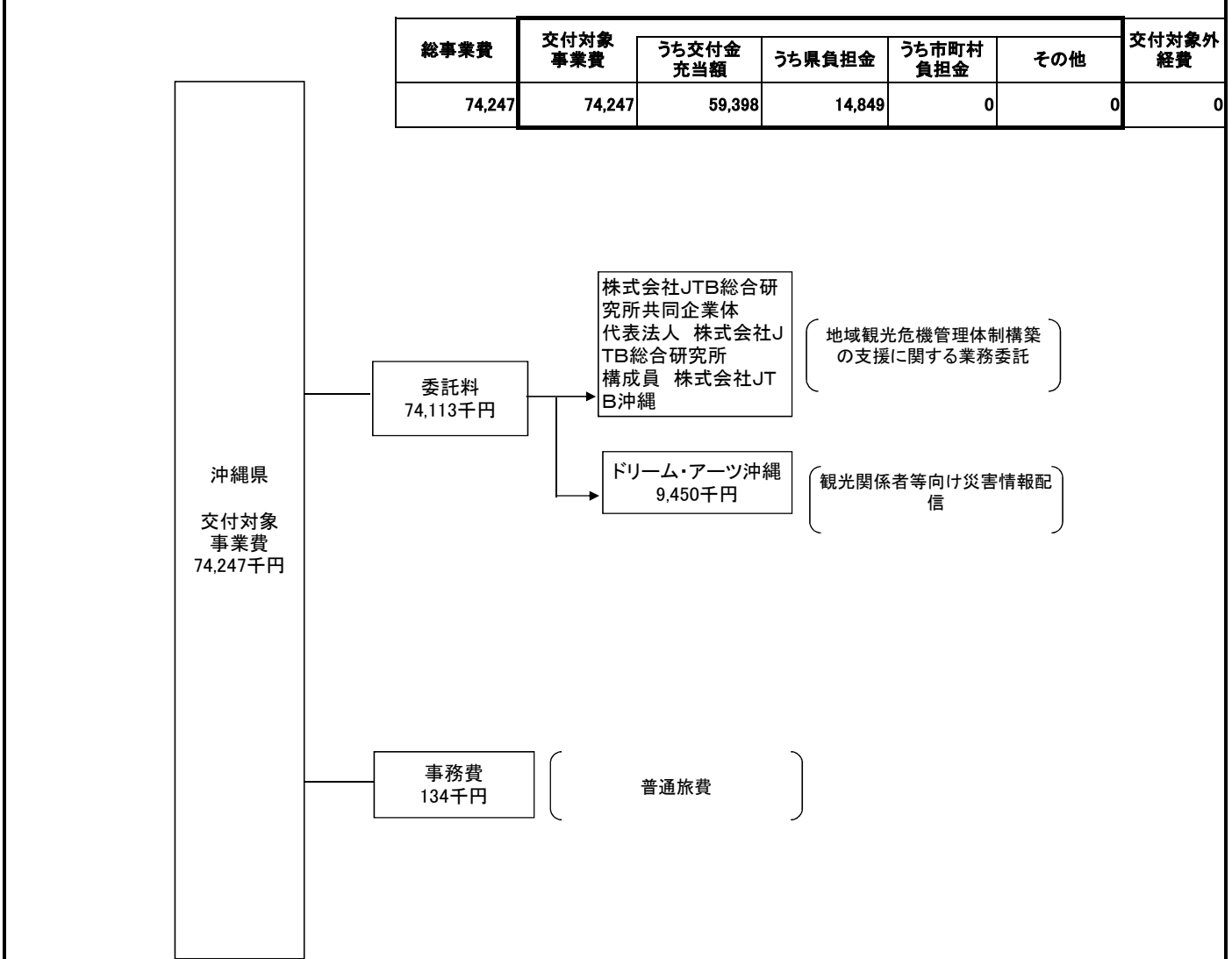
事業番号・事業名	173-2	エンターテイメント創出・観光メニュー開発等支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施(予定)年度		平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)
事業内容	国内外の観光誘客の拡大につながるエンターテイメントの創出や新たな着地型観光メニューについて、民間企業等の自主的な取り組みを促進するため、公募により有望なプロジェクトを選定し集中的に支援する経費						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	365,671	-	299,722		
		(b) 予算現額	365,671	-	280,901		
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	▲ 18,821		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計 (b+d)	365,671	-	280,901		
	執行率 (%) (B/A)	B. 執行済額	363,779	-	274,788		
		うち交付金充当額	291,023	-	219,830		
		C. 次年度繰越額	0	-	0		
	執行率 (%) (B/A)	99.5%	-	97.8%			
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・観光客誘客目的のイベント等の企画に対する助成件数	目標	12件	9件			
		実績	24件	21件			
	他指標173-1、173-3は別途追加	目標					
		実績					
達成状況説明	・助成額の上限(30,000千円)による助成事業件数を設定していたが、採択された助成事業において助成額が小規模となったものが多く、当初の想定よりも多く観光客誘客の取組を行う事業に助成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(〇〇年度)
	エンターテイメント創出・観光メニュー開発等支援事業の支援を受けて実施した誘客イベントへの参加観光客数	目標	-	6,000人	6,000人		
		実績	4,306人	15,691人	64,516人		
	[参考指標] 入域観光客数	目標	-	-	-		
		実績	553万人	592万人	658万人		
	進捗状況説明	助成事業への支援によりツアー客数、県外観光客数が多く参加し、目標人数を達成した。その結果、事業目的である入域観光客数の増加につながる誘客効果に寄与した。					

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	173-3	観光客受入体制整備事業(観光危機管理モデル事業)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	平成 25 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	「世界最高水準の観光リゾート地の形成」に向け、外国人観光客の受入体制の充実、誘客拡大につながるエンターテインメントの創出・開催支援、観光危機管理に関する先導的な取組などを実施し、安全・安心・快適な観光地の形成を図る。 観光危機管理に関する取組を進めるため、地域観光危機管理体制の構築を支援するとともに、観光関係者等向け災害情報配信システムを運用する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	121,448	—	77,722		
		(b) 予算現額	121,448	—	77,722		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		121,448	—	77,722		
	B. 執行済額		107,130	—	74,247		
	うち交付金充当額		85,704	—	59,398		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		88.2%	—	95.5%		
予算の状況の説明		・執行率は95.5%であり、危機管理講座の開催回数が予定より少なかったことなどによる委託料の執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	災害情報配信システムの利用促進を目的とする観光関係者等に対する説明会等の実施回数	目標	15回	10回			
		実績	15回	20回			
	観光危機管理のための説明会、セミナー等開催数	目標	15回	10回			
		実績	45回	14回			
達成状況説明	地域観光危機管理体制の構築を支援するとともに、観光関係者等向け災害情報配信システムを運用することにより、本県における観光危機管理に関する取組が拡大した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(〇〇年度)
	観光関連業者の災害情報配信システム利用者数	目標	—	1,500人	4,000人		
		実績	—	約1,500人(推計)	4,121人		
	危機管理モデル地域支援への参加団体・企業数(累計)	目標	20団体・企業	80団体・企業	180団体・企業		
		実績	20団体・企業	143団体・企業	183団体・企業		
	進捗状況説明	観光危機管理モデル地域支援への参加団体・企業数は、ワークショップ等の開催件数の増等に伴い、目標(180団体)を上回り、課題解決へ向け一定の効果が見込まれる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は主に観光関係者(観光事業者、観光協会、市町村観光担当課等)を対象に実施しているが、市町村防災担当、消防、警察、海保、自治会等、観光関係者以外の関係者との連携が課題である。 ・観光関係者等向け災害情報配信システムについては、利用者数の拡大と、利用者の利便性を高める継続的な機能強化が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度において、左記の観光関係者以外の関係者とも連携を図ってきたところだが、県庁担当部署(防災危機管理課、地域安全政策課、海岸防災課等)との連携については、一部の情報共有に留まっていたため、県庁内部の連携の体制を確保する必要がある。 ・また、緊急対応後の対策にかかる、OCVB、医療機関、在外公館等との連携についても、検討していく必要がある。 ・システムについては、これまでのワークショップ等で構築した関係者とのネットワーク等を活用し、効率的・効果的に利用の拡大を図ることが必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・観光危機管理に関する幅広い関係者の連携を図るため、国内外の先進事例等を参考に、「沖縄県観光危機管理基本計画」を策定する。 ・システムについては、あらゆる機会を捉えて利用登録の拡大を図るとともに、県の新たな防災危機管理システムや既存観光情報システム等との連携も視野に入れ、効率的な機能強化の方策を検討する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・使 途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はH23年度に公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定され、H24、H25と継続して事業を実施する必要があり、同事業者と随意契約とした。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	167	沖縄特例通訳案内士育成事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ				
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光政策課	事業実施 (予定)年度	平成 25 ~ 29 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	世界に通用する観光人材の育成 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	<p>外国人観光客に対する通訳案内士の絶対的不足に対応するため、沖縄振興特別措置法に盛り込まれた「沖縄特例通訳案内士(外国人観光客への外国語による通訳案内)」の育成研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄特例通訳案内士(中国語、韓国語、英語)の育成。 沖縄本島中南部・北部地域、宮古地域、八重山地域において育成研修を実施。 研修コース(時間・受講料)・内容 <ul style="list-style-type: none"> 一般コース(152h・93,000円) 速成コース(104h・63,000円) 語学(一般コースのみ)、地元学、ホスピタリティ、プレゼンテーション、旅程管理、現場実習等 育成目標数 <ul style="list-style-type: none"> 年間 中国語60人、韓国語10人、英語20人 計90人 (事業全体 中国語300人、韓国語50人、英語100人 計450人) 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度		
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	-	-	30,432			
		(b)予算現額	-	-	30,432			
		(c)増減額(b-a)	-	-	0			
		(d)繰越額	-	-	0			
		A. 計(b+d)	-	-	30,432			
	B. 執行済額		-	-	28,122			
	うち交付金充当額		-	-	13,679			
	C. 次年度繰越額		-	-	0			
	執行率(%) (B/A)		-	-	92.4%			
予算の状況の説明		・ 執行率は92.4%。旅費等事務費用を節減できたことにより不用額(2,309千円)が発生したことによるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況						
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	研修実施回数 ・ 速成コース(4回) ・ 一般コース(4回) 沖縄本島中南部、北部、宮古、八重山の4 地域で各1回ずつ実施	目標	-	速成4回・一般4回				
		実績	-	速成4回・一般3回				
		目標	-	-				
	実績	-	-					
達成 状況 説明	<ul style="list-style-type: none"> 速成コースは4回(沖縄本島中南部2回(中国語は受講者多数のため2回実施)、北部、八重山)、一般コースは3回(沖縄本島中南部、北部、宮古)実施。 (速成コースの宮古、一般コースの八重山は受講者がいなかったため開講していない) 							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (25年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (29年度)	
	沖縄特例通訳案内士登録者数	目標		-	100人		450人	
		実績			-	83人 (H26.5末現在 112人)		83人 (H26.5末現在 112人)
		目標						
		実績						
進 捗 状 況 説 明	<p>資格取得者 3月末現在 83人(中国語31人、韓国語17人、英語35人)、5月末現在112人(中国語55人、韓国語18人、英語39人)</p> <p>研修修了者は130人</p>							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>昨年度の外国人観光客数は過去最高の62.7万人に達し、引き続き外国人受入体制の強化を図るため本事業の推進を図る必要がある。</p> <p>沖縄特例通訳案内士登録者数は目標値を達成している(H26.5末現在登録者数は成果指標100人を上回る112人に達している)。</p> <p>資格取得後の活動状況についてアンケート調査を行ったところ、回答者(47名)の約半数(25名)がガイド活動をおこなっておらず、資格取得者の年間輩出目標数は達成できたが、その後のガイド活動にどのようにつなげるかが課題として明らかになった。</p>	<p>育成研修事業とあわせて、登録者に対するのフォローアップ支援(観光関連企業とのマッチング会の実施や旅行社でのOJT等)を実施することで課題解決を図る。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>委託事業者の企画提案によるフォローアップ支援(旅行社でのOJTや観光関連企業とのマッチング会等)を実施し、資格取得後の就業の機会を増やす。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
28,122	17,099	13,679	3,420	0	0	11,023


```

graph LR
    A[沖縄県  
総事業費  
17,099千円] --> B[委託料  
17,099千円]
    A --> C[事務費  
273千円]
    B --> D[沖縄特例通訳案内士育成研修事業協同企業体企業体  
(株式会社チャイナゲートウェイ、学校法人KBC学園)  
17,099千円]
    C --> E[研修応募者・受講料研修手数料  
(交付対象外経費)10,750千円]
    C --> F[需用費、役務費、備品購入費]
    C --> G[(交付対象外経費)273千円]
    
```

資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 委託事業者は公募型プロポーザル方式(書類審査を実施)により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。 沖縄県使用料及び手数料条例に基づく研修手数料を徴収しており、受益者との負担関係は妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	172	世界に通用する観光人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	世界に通用する観光人材育成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	「世界水準の観光リゾート地の形成」に向け、観光関連経営者向けの人材確保啓発セミナーの開催、人材育成を実施する観光関連企業・団体に対する助成等の実施により、沖縄を訪れる国内外の観光客が満足する質の高いサービスを提供できる人材の育成・確保を図る。 平成25年度は、観光関連経営者向けセミナーの実施、観光関連企業・団体等が実施する従業員向けの研修事業及び語学研修への支援を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	385,877	—	134,900		
		(b) 予算現額	301,565	—	90,749		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 84,312	—	▲ 44,151		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		301,565	—	90,749		
	B. 執行済額		249,819	—	82,414		
	うち交付金充当額		199,855	—	65,931		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		82.8%	—	90.8%		
予算の状況の説明		観光関連企業等が実施する研修事業及び語学研修事業への助成について、見込みより少額の採択事業が多かったことから、44,151千円減額補正を行った。また8,335千円の不用額が生じ、内訳は委託料7,630千円、旅費705千円でいずれも執行残である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光関連企業等が実施する研修への助成	目標	113件	70件			
		実績	83件	69件			
		目標					
実績							
進捗状況説明	観光関連企業等が実施する研修への助成件数は、目標70件に対し実績69件(語学研修45件、語学以外の研修24件)となり、ほぼ目標どおりとなった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	【参考指標】研修受講者数(累計)	目標	—	—	3,192名		
		実績	—	1,742名	3,615名		
	外国人観光客の満足度(外国語対応力)	目標	—	43.2%	—		
		実績	40.2%	37.7%	—		
進捗状況説明	平成24年度は外国人観光客の対応力向上を目的として重点的に事業を実施したため、成果目標として外国人観光客の満足度を採用したが、平成25年度は県内観光産業従事者の対応力向上を評価する一定の基準として、研修受講者数(累計)を設定した。平成25年度は、前年度の実績である1,742名を上回る1,873名が受講し、目標である3,192名を423名上回る実績となり、観光関連事業者への人材育成の取組を促進できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>県内の観光関連企業等は中小・零細企業等がほとんどであり、人材育成の必要性は感じつつも、自社の課題等が明確になっていない状況が見受けられ、応募申請書の作成に苦慮している状況にある。</p> <p>また、助成事業の公募については期間を設定しているため、観光関連企業の繁忙期と重なり応募に踏み切れない状況が見受けられる。</p>	<p>人材育成の必要性を感じつつも、社内の人材育成に時間と経費をかけられない観光関連企業等に対し、研修を実施しやすい仕組みに変更する必要がある。</p>

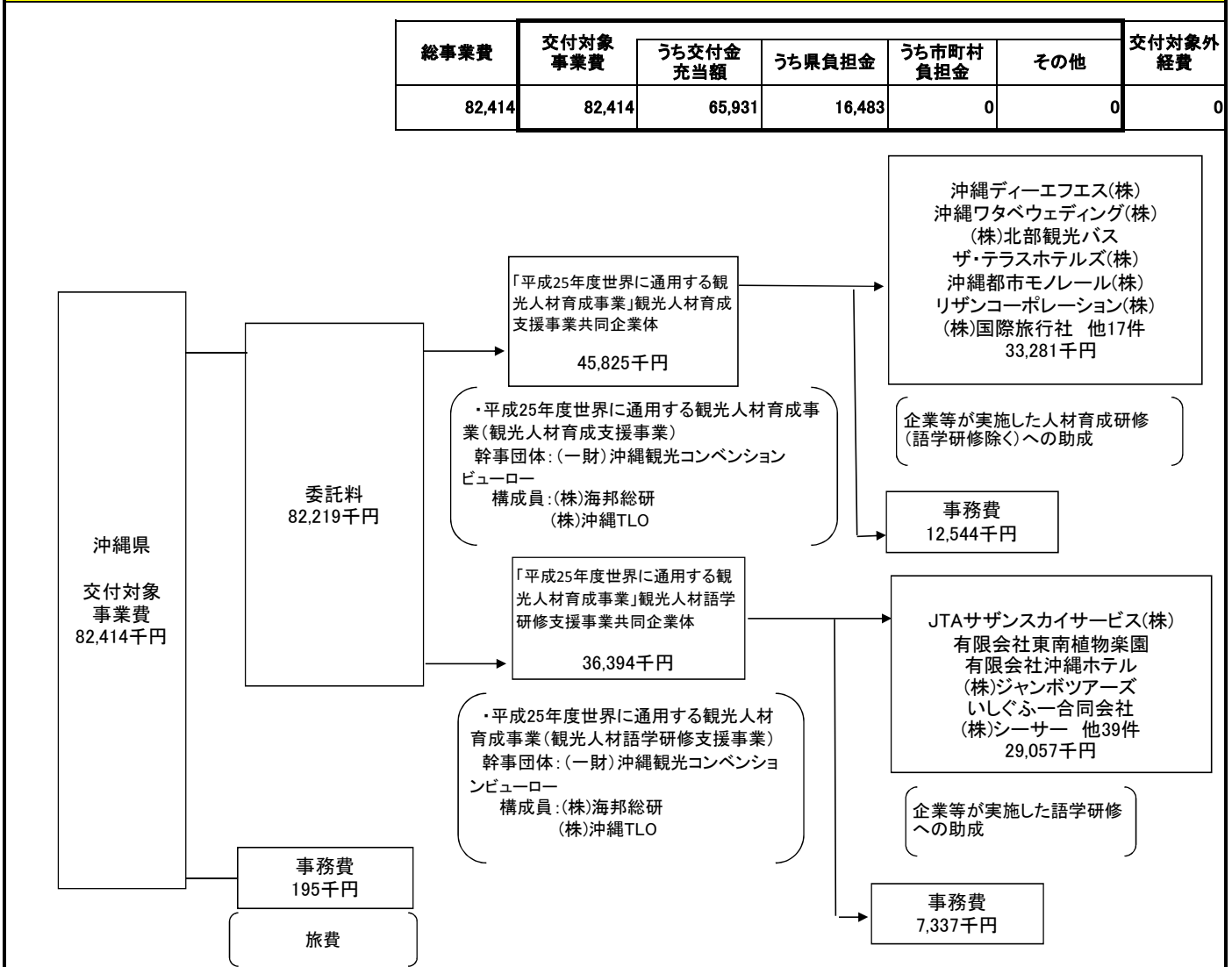
今後の取り組み方針

課題を踏まえて、これまでの「助成方式」から「派遣方式」へ事業スキームの変更を行う。

派遣方式に変更することにより、事務局による相談業務の強化、研修メニューの提供、通年を通じた研修の実現等により、県内観光関連企業等が受講しやすい環境を整備し、県内観光関連企業等のさらなる対応能力の向上を図る。また、企業が閑散期に研修に取り組めるよう、随時研修を実施できるように変更した。

また、短期の研修では十分な語学力向上を図ることが難しく、語学を継続的に学べる環境が必要である。そこで、県内観光関連企業等の外国語習得のみならず外国人対応能力を向上させることを目的として、企業等が語学力に長けた人材を採用する際に経費の助成を行うことで、日常的に他従業員へ実務研修を実施できる環境を整える。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、点検・費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○見込みより少額の採択事業が多かったことから、減額補正を行ったものの、企業等の申請内容に柔軟に対応できる予算規模として適正であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	